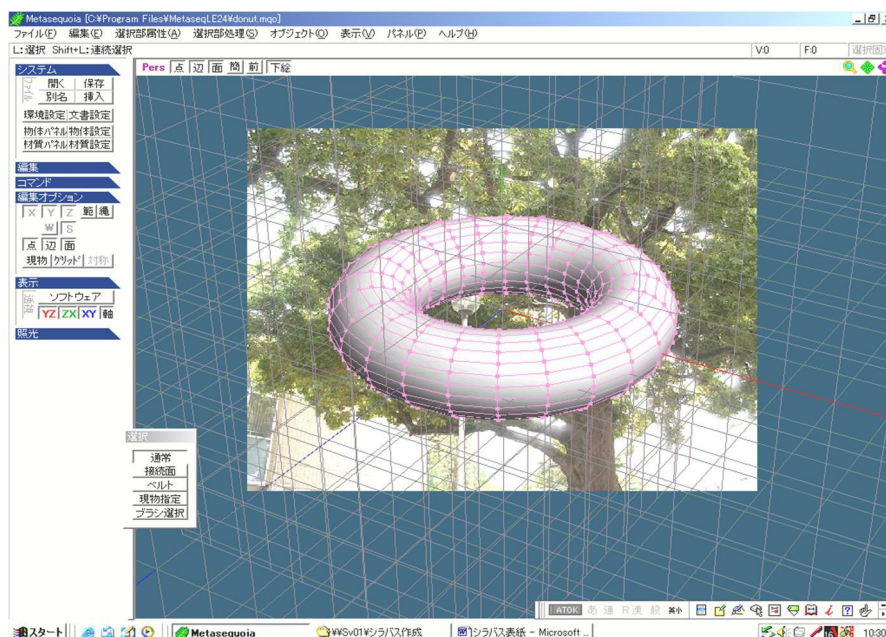


令和 8 (2026) 年度

# シラバス

*Syllabus*



埼玉県立川越高等学校



# 目 次

シラバスの利用方法について	1
本校の教育課程について	2
教育課程表	3
国語	4
地歴・公民	1 4
数学	3 5
理科	4 3
保健体育	6 2
芸術	6 7
外国語	7 6
家庭	8 4
情報	8 5

# シラバスの利用方法について

## 1 シラバスについて

シラバス (**syllabus**) とは、学校で開講される講座の内容や授業計画と目標などについてまとめた資料のことです。

シラバスには、各教科の概要および、各科目の学習内容と年間計画が月単位で書かれています。

また、詳細については授業時に担当教師から説明があります。

## 2 シラバスの利用方法について

高等学校の授業内容は、中学校よりも専門性が高く、進度も速くなります。したがって、高校の学習は、「予習 → 授業 → 復習」というサイクルを確立し、日々の授業を大切にすることが最も重要です。シラバスを参考にして、授業の予習や定期考査の準備に役立て、川越高校での勉学に励んでください。

さらに、シラバスは、文系・理系の選択や選択科目を決める際の参考にもなります。

文系・理系の選択についてのより具体的な資料は、HRや文理選択の説明会などで、配付します。

# 本校の教育課程について

本校の教育課程は、下図に示すように、

- 1 学年 34単位 (全員共通履修)
- 2 学年 34単位 (文系、理系)
- 3 学年 34単位 (国立文系、私立文系、理系)

となっています。

50分の授業を35回受けることを「1単位」といいます。

本校では、2週間(土曜授業ありA週、土曜授業なしB週)を1サイクルの時間割として授業を行っており、A週・B週を合わせると年間でおおよそ35回の授業があります。

※ A週・B週で68時間の授業があり、1週の平均が34時間なので1年間で34単位修得できます。

## 《令和8年度入学生 教育課程》

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語(2)	言語文化(3)	数学Ⅰ(4)			数学A(2)		英語コミュニケーションⅠ(3)		論理・表現Ⅰ(2)	化学基礎(2)	生物基礎(2)	歴史総合(2)	公共(2)	体育(3)		保健(1)	芸術Ⅰ(2)	情報Ⅰ(2)	総探(1)	L	H	R											
2年文系	論理国語(2)	古典探究(3)	数学Ⅱ(3)		数学B(1)	数学C(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)		論理・表現Ⅱ(2)	物理基礎 地学基礎 から1科目(3)		世界史探究 日本史探究 から1科目(4)		地理総合(2)		芸術Ⅱ(2)	保健(1)	体育(2)	家庭基礎(2)	総探(1)	L	H	R											
2年理系	論理国語(2)	古典探究(3)	数学Ⅱ(4)		数学B(1)	数学C(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)		論理・表現Ⅱ(2)	物理基礎(4)		化学 地学基礎 から1科目(3)		地理総合(3)		保健(1)	体育(2)	家庭基礎(2)	総探(1)	L	H	R												
3年国立文系	論理国語(3)	古典探究(3)	英語コミュニケーションⅢ(3)		論理・表現Ⅲ(3)		世界文化史 日本文化史 地理探究 から1科目(4)		総合理科(3)		(7) 世界史探究(4) (4) 日本史探究(4) (9) 地理探究(4) (1) 古典探究+アカデミック・イングリッシュ(2+2) (オ) 倫理(2) 古典探究アカデミック・イングリッシュから1科目(2) (ハ) 政経(2)		論理国語 数学B コンプリヘンシブ・イングリッシュ から2科目(2+2)		数学C(2)	体育(3)	総合的な探究の時間(1)		L	H	R													
3年私立文系	論理国語(3)	古典探究(3)	英語コミュニケーションⅢ(3)		論理・表現Ⅲ(3)		世界文化史+世界史探究 日本文化史+日本史探究 から1つ選択(4+2)		コンプリヘンシブ・イングリッシュ(3)		アカデミック・イングリッシュ(2)	古典探究(2)	論理国語 数学A 数学B から1科目(2)	現代の音楽 美術総合研究 実用の書 から1科目(2)	体育(3)	総合的な探究の時間(1)		L	H	R														
3年理系	論理国語(2)	古典探究(2)	数学Ⅲ(4)		数学C(3)		英語コミュニケーションⅢ(3)		論理・表現Ⅲ(3)	化学 地学 から1科目(3)	物理 生物 から1科目(5)		倫理 政経 地理探究 から1科目(2)	数学B 総合理科 アカデミック・イングリッシュ 情報Ⅱ から1科目(2)	体育(3)	総合的な探究の時間(1)		L	H	R														

2学年からの文系・理系コースでは、数学、地理歴史、理科、芸術で単位数や内容が異なります。各自の進路目標にあわせた学習が可能となりますが、文系・理系コースの選択を1学年で行う必要があります。入学当初から各自の進路希望等について十分な検討をしておきましょう。

### 3学年での国立文系・私立文系・理系コース選択

3学年は国立文系・私立文系・理系の各コースごとに履修科目が大きく異なり、各自の進路目標にあわせて深く掘り下げた学習が可能となります。

### 選択科目について

- 1 学年 芸術について、音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰの中から1科目を選択します。
- 2 学年 文系は理科と地理歴史、理系は理科に教科内の選択科目があります。
- 3 学年 国立文系・私立文系・理系の各コースに、教科をまたいで多くの選択科目があります。

令和8年度入学生 教育課程表

各教科・科目等		標準単位	1年	2年	3年	計	
教科等	科目等						
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	2			・5単位以上
		言語文化	2	3			
		論理国語	4		○2	○2	
					△2	△3	
					□2	□5	
		古典探究	4		○3	○2	
					△3	△3	
					□3	□5	
		地理歴史	地理総合	2		2	
					3		
	地理探究		3			2	
						4	
	歴史総合		2	2			
	日本史探究		3			2	
						4	
					△4	△2	
	世界史探究	3			2		
					4		
				△4	△2		
		世界文化史 2101	2~4			4	
		日本文化史 2102	2~4			4	
	公民	公民	2	2			・2単位以上
		倫理	2			2	
		政治・経済	2			2	
	数学	数学 I	3	4			・6単位以上
		数学 II	4		3		
					4		
		数学 III	3			4	
		数学 A	2	2			
		数学 B	2			1	
					●1	●2	
	数学 C	2			1		
				▲1	▲2		
理科	物理基礎	2		3		・7単位以上 ・「物理基礎」または「地学基礎」のいずれかを必ず履修 ・「物理」「地学」はそれぞれ対応する基礎を付した科目を履修した後に履修	
				4			
	物理	4			5		
	化学基礎	2	2				
	化学	4			○3		○3
							3
	生物基礎	2	2				
	生物	4			5		
	地学基礎	2		3			
地学	4			3			
(学)総合理科	2			2			
				3			
保健体育	体育	7~8	3	2	3	・10単位	
	保健	2	1	1			
芸術	音楽 I	2	※2			・2単位以上	
	音楽 II	2		2			
	現代の音楽 2407	2			2		
	美術 I	2	※2				
	美術 II	2		2			
	美術総合研究 2506	2			2		
	書道 I	2	※2				
	書道 II	2		2			
実用の書 2608	2			2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			・5単位以上	
	英語コミュニケーションⅡ	4		4			
	英語コミュニケーションⅢ	4			3		
	論理・表現Ⅰ	2	2				
	論理・表現Ⅱ	2		2			
	論理・表現Ⅲ	2			3		
	(特)コンプリヘンシブ・イングリッシュ	3			2		
					3		
(学)アカデミック・イングリッシュ	2			5			
				2			
家庭基礎	2		2		・2単位		
情報	情報Ⅰ	2	2			・2単位	
	情報Ⅱ				2		
小計			32	32	32	96	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
総合的な探究の時間		単位数	1	1	1	3	
合計 (週あたりの授業時間数)			34	34	34	102	
備考						・卒業までに履修させる各教科・科目および総合的な探究の時間の単位数の計99単位 ・卒業までに修得させる各教科・科目および総合的な探究の時間の単位数の計93単位	
・1年は※2から1科目を選択する。 ・各教科の科目にⅠⅡⅢとある場合、Ⅰの履修後にⅡ、Ⅱの履修後にⅢを履修する。 ・単位数に○、△、□、●、▲、■の付いた科目については、2ヶ年にわたり継続して履修するものとする。 ・(学)は学校設定科目である。							

(令和8年度入学 1年)

普通科

埼玉県立川越高等学校 全日制の課程

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的に考える力をつけ、自分の考えを深めたり、視野を広げたりすることができるようにする。</li> <li>・語彙力・文脈把握力を身につけ、文章を正確に理解したり、効果的に表現したりできるようにする。</li> <li>・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<p>ア 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりすることができるか。</p> <p>イ 様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすることができるか。</p> <p>ウ 読み取ったことをもとに自分の考えを文章にまとめることができるか。</p> <p>エ 多様な様式の章を読んで、情報を整理して理解することができるか。</p> <p>オ 未知の語句や漢字を積極的に学び、適切に使用する態度がみられるか。</p>
<b>評価の方法</b>	定期考査、読書報告、小テスト、課題提出、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や漢字は配布された副教材を計画的にすすめること。</li> <li>・日頃より社会の出来事に関心をもち、ニュース（新聞が望ましい）を読むこと。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	1 視点を変える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現や構成に注意して評論を読み、本文の内容を的確に理解する。</li> <li>・タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を養う。</li> </ul>	文章要約 読書報告
5月	1 視点を変える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。</li> </ul>	文章要約 読書報告  中間考査
6月	2 言葉へのまなざし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者独自の表現や具体例の働きに注意して読み、コミュニケーションの在り方について考える。</li> <li>・他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。</li> </ul>	文章要約 読書報告
7月	2 言葉へのまなざし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と解釈の関係における読者の創造性についての筆者の主張を、叙述に即して的確に読み取る。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	3 メディアを考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考える。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読
10月	3 メディアを考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取ることができる。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読  中間考査
11月	4 共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読
12月	4 共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩や具体例に注意して内容を読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深める。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	4 共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読
2月	5 科学から見た人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。</li> <li>・人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考える。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読
3月	5 科学から見た人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意味について理解を深める。</li> </ul>	文章要約 読書報告 漢文素読 学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。</li> <li>・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばす。</li> <li>・言葉が持つ価値への認識を深め、読書の習慣を身に付ける。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<p>ア 古文・漢文の読解に必要な文法事項を習得できたか。</p> <p>イ 作品の内容を叙述に即して的確に読み取り、登場人物の心情がどのように描写されているかを理解できたか。</p> <p>ウ 様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすることができたか。</p> <p>エ 日本文学史の大まかな流れを理解できたか。</p>
<b>評価の方法</b>	定期考査、読書報告、小テスト、課題提出、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典分野は予習が必須である。本文を自分で現代語訳して授業に臨むこと。</li> <li>・古文・漢文の文法事項は配布された補助教材を計画的にすすめて習得に努めること。</li> <li>・読書報告の課題図書だけでなく、日頃から読書に親しむこと。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	(古) 1 古文入門 (漢) 1 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。</li> <li>・品詞や活用を理解し、登場人物の心情・人物像を読み取る。</li> <li>・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解する。</li> <li>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れる。</li> </ul>	読書報告
5月	(現) 2 小説 1 (古) 2 随筆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取る。</li> <li>・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。</li> </ul>	読書報告 小テスト
6月	(古) 2 随筆 (漢) 1 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の表現を味わい、自分と関係づけながら読みを深める。</li> <li>・漢文の文体に慣れ、内容を理解する力を養う。</li> <li>・語句や句形を理解する。</li> </ul>	読書報告 小テスト
7月	(古) 3 歌物語 (漢) 詩文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</li> <li>・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現を味わう。</li> </ul>	読書報告 小テスト 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	(現) 小説 2 (古) 4 日記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々の描写に注意して、小説を読み味わう。</li> <li>・表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。</li> </ul>	読書報告 漢文素読 小テスト
10月	(漢) 詩文 (古) 5 和歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描かれた状況を考えながら、文を読み、作者の主張について考える。</li> <li>・表現の特色に注意しながら、和歌の基本的修辭について理解し内容を 読み取る。</li> </ul>	読書報告 漢文素読 小テスト 中間考査
11月	(漢) 4 史話 (古) 6 作り物語と軍記物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。</li> <li>・作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。</li> </ul>	読書報告 漢文素読 小テスト
12月	(漢) 4 史話 (古) 6 作り物語と軍記物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。</li> <li>・作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。</li> <li>・敬語について理解する。</li> </ul>	読書報告 漢文素読 小テスト 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	(漢) 史話 (古) 6 作り物語と軍記物語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。</li> <li>・軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の描かれ方を読み取る。</li> <li>・音便・敬語について理解する。</li> </ul>	読書報告 漢文素読 小テスト
2月	(漢) 思想 (古) 7 俳諧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『論語』を読むことを通して、孔子の思想に興味を持ち、日本での『論語』の受容について知る。</li> <li>・俳諧紀行文の内容を理解し、俳諧に託された人物の心情を読み取る。</li> </ul>	読書報告 漢文素読 小テスト
3月	(現) 随筆 言葉を届ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述に即して本文を読み取り、筆者のものの見方、感じ方、考え方を捉える。</li> </ul>	読書報告 小テスト 漢文素読 学年末考査

<b>学習目標</b>	近代以降の様々な文章を読み、読解力と思考力を高め、進んで表現し、読書する態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確に捉えることができるか。 イ 様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができるか。 ウ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉えることができるか。 エ 目的や課題に応じて様々な情報を収集し、それらを活用して進んで表現することができるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、課題提出、読書報告 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・教材に目を通し、意味の分からない語句の意味を調べておくこと。 ・漢字と現代文キーワードの学習については、副教材を使って自主的に学習すること。 ・日頃より広く読書に親しみ、多くの作品に触れること。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1章 架橋することば	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 読書報告 漢文素読
5月	第2章 日常の中の論点	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 読書報告 漢文素読 中間考査
6月	第3章〈私〉のいる場所	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。 ・立場の異なる読み手を説得するために筆者が用いている効果的な文章の構成や論理の展開に着目する。	文章要約 読書報告 漢文素読
7月	第3章〈私〉のいる場所	・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深める。	読書報告 漢文素読 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第4章 変貌する時代 変貌する人間	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 読書報告 漢文素読
10月	第5章 歴史に向き合う	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 漢文素読 読書報告 中間考査
11月	第6章 世界を見る位置	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 読書報告 漢文素読
12月	第7章〈伝統〉を見つめ直す	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化し、整理する方法について理解を深める。	文章要約 漢文素読 読書報告 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第8章 現代という課題	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 読書報告 漢文素読
2月	第9章〈私〉をひらくために	・論の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・評論読解に必要な語彙力を身に付ける。	文章要約 読書報告 漢文素読
3月	第9章〈私〉をひらくために	・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深める。	文章要約 漢文素読 読書報告 学年末考査

2年 必修

古典探究

3

<b>学習目標</b>	古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方を深め、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解しているか。 イ 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉えているか。 ウ 文章や作品に現れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に読みとれているか。 エ 文章や作品を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりすることができるか。 オ 文章や作品の表現上の特色を理解しているか。 カ 古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係についてまとめることができるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、課題提出、小テスト 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・予習に当たっては、予め教科書に目を通し、文章を口語訳し、疑問点を整理しておくことが重要である。 ・語彙の習得については、辞書、単語集等の副教材なども利用し、日頃から自主的に積み重ねの学習をしておくことが望まれる。 ・復習に当たっては、特に文法事項についての問題演習を中心とする繰り返しの学習を行うことが重要である。 ・文章読解、口語訳のみに拘らず、有職故実や先人の生活様式・感覚・感性などにも触れ、広く古典に親しむことが重要である。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	1 説話	・話の背景や、舞台となる場所についての知識を豊かにし、読解に役立てる。 ・係り結びなど、基本的文法事項について確認する。	小テスト 漢文素読
	2 随筆	・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・助詞・助動詞の基本的な意味、用法について確認する。	小テスト 漢文素読
5月	1 故事・寓話	・故事・寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 ・漢文訓読法が身に付いていることを確認する。	中間考査
6月	2 随筆	・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・助詞・助動詞の基本的な意味、用法について確認する。	小テスト 漢文素読
7月	2 漢詩	・漢詩の決まり、特に近体詩の詩型・押韻・構成・対句などについて理解する。 ・詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。	小テスト 漢文素読 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	3 物語と日記	・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・最高敬語など敬語の用法に理解を深める。	小テスト 漢文素読
	3 文章	・日記を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	小テスト 漢文素読
10月	3 文章	・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史の中の人間について考える。	中間考査
	4 歴史と軍記	・文章の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・音便について確認する。	小テスト 漢文素読
11月	4 史伝	・句法、用字法について理解を深める。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	小テスト 漢文素読 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	4 歴史と軍記	・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文章の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。	小テスト 漢文素読
	5 和歌と俳諧	・和歌の修辞技巧や、時代によって違う表現上の特色を理解する。 ・俳諧の修辞技巧を理解する。	小テスト 漢文素読
2月	5 思想	・句法、用字法について理解を深める。 ・中国の諸子百家のそれぞれの主張の概要を理解する。	小テスト 漢文素読
3月			学年末考査

3年文系 必修

論理国語

3

<b>学習目標</b>	近代以降の文章に対する読解・鑑賞の能力をいっそう向上させるとともに、認識力・思考力・感受性を高め、進んで表現し読解することによって人生を豊かにする態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 長い文章や論理展開の難解な文章を読み、要旨を的確に捉えることができるか。 イ 文芸思潮、手法を理解し、よりの確に人物関係、登場人物の心情、情景をとらえ、深く表現を味わうことができるか。 ウ 様々な文章に対する目的や内容に応じた読み方を学び、人間、社会、自然などに対する自分の考えを更に発展させることができるか。 エ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることができるか。 オ 読解した文章に対し自ら設定した課題を探求し、意見発表したり文章にまとめたりすることができるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、小テスト、授業への参加態度 他
<b>履修に当たったての留意事項</b>	・翻訳の文章や近代以降の文語文も取り上げていく。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1章 多様性のほうへ	・文章の構造を把握し、具象から抽象をつかむ。 ・随想的な評論の文章に親しみ、さまざまな文体の文章を読めるようになる。	文章要約 漢文素読
5月	第2章 抽象から具体へ	・本文の構成が明確な論理展開となっていることを理解する。 ・筆者が引用した他者のことばを通じて主張の根拠を深めていることを確認する。	文章要約 漢文素読 中間考査
6月	第3章 可視化する力	・筆者の描く議論の構造・図式を理解する。 ・文章校正に従って筆者の主張と根拠を正しく読み取る。	文章要約 漢文素読
7月			期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第4章 語りと世界	・身近な言語経験に訴え問いかける思考様式へ理解を深める。 ・筆者が例示する、言葉に関わる経験に対応する自分の経験を想起する。	文章要約 漢文素読
10月	第5章 「当たり前」を疑う	・「他人を理解すること」に対する筆者の考えを理解する。 ・本文における「具体」「抽象」等の語句の意味を理解する。	文章要約 漢文素読 中間考査
11月	第6章 「近代」を再読する	・近代の評論において、「自由」がどのように論じられてきたか考える。 ・漢文訓読体を含む文章に対して、脚注を参照しながら読解を進める。	文章要約 漢文素読
12月	実力養成	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年理系 必修

論理国語

2

<b>学習目標</b>	近代以降の文章に対する読解・鑑賞の能力をいっそう向上させるとともに、認識力・思考力・感受性を高め、進んで表現し読解することによって人生を豊かにする態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 長い文章や論理展開の難解な文章を読み、要旨を的確に捉えることができるか。 イ 文芸思潮、手法を理解し、よりの確に人物関係、登場人物の心情、情景をとらえ、深く表現を味わうことができるか。 ウ 様々な文章に対する目的や内容に応じた読み方を学び、人間、社会、自然などに対する自分の考えを更に発展させることができるか。 エ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることができるか。 オ 読解した文章に対し自ら設定した課題を探求し、意見発表したり文章にまとめたりすることができるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、小テスト、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・翻訳の文章や近代以降の文語文も取り上げていく。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1章 多様性のほうへ	・文章の構造を把握し、具象から抽象をつかむ。 ・随想的な評論の文章に親しみ、さまざまな文体の文章を読めるようになる。	文章要約 漢文素読
5月	第2章 抽象から具体へ	・本文の構成が明確な論理展開となっていることを理解する。 ・筆者が引用した他者のことばを通じて主張の根拠を深めていることを確認する。	文章要約 漢文素読 中間考査
6月	第3章 可視化する力	・筆者の描く議論の構造・図式を理解する。 ・文章構成に従って筆者の主張と根拠を正しく読み取る。	文章要約 漢文素読
7月			期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第4章 語りと世界	・身近な言語経験に訴え問いかける思考様式へ理解を深める。 ・筆者が例示する、言葉に関わる経験に対応する自分の経験を想起する。	文章要約 漢文素読
10月	第5章 「当たり前」を疑う	・「他人を理解すること」に対する筆者の考えを理解する。 ・本文における「具体」「抽象」等の語句の意味を理解する。	文章要約 漢文素読 中間考査
11月	第6章 「近代」を再読する	・近代の評論において、「自由」がどのように論じられてきたか考える。 ・漢文訓読体を含む文章に対して、脚注を参照しながら読解を進める。	文章要約 漢文素読
12月	実力養成	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	・講座別に問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年文系 選択

論理国語

2

<b>学習目標</b>	近代以降の文章に対する読解・鑑賞の能力をいっそう向上させるとともに、認識力・思考力・感受性を高め、進んで表現し読解することによって人生を豊かにする態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 長い文章や論理展開の難解な文章を読み、要旨を的確に捉えることができるか。 イ 文芸思潮、手法を理解し、よりの確に人物関係、登場人物の心情、情景をとらえ、深く表現を味わうことができるか。 ウ 様々な文章に対する目的や内容に応じた読み方を学び、人間、社会、自然などに対する自分の考えを更に発展させることができるか。 エ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることができるか。 オ 読解した文章に対し自ら設定した課題を探求し、意見発表したり文章にまとめたりすることができるか。
<b>評価の方法</b>	小テスト、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・大学入試を意識した実践的な能力の育成に取り組む。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	実力養成 問題演習	・1000～2000字程度の文章を読み、端的に要約する。 ・さまざまな大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。	
5月	実力養成 問題演習	・1000～2000字程度の文章を読み、端的に要約する。 ・さまざまな大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。	
6月	実力養成 問題演習	・1000～2000字程度の文章を読み、端的に要約する。 ・さまざまな大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。	
7月			

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	実力養成 問題演習	・1000～2000字程度の文章を読み、端的に要約する。 ・さまざまな大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。	
10月	実力養成 問題演習	・私立大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。 ・国公立大学の入試問題を解き、記述問題に対応できる能力を高める。	
11月	実力養成 問題演習	・私立大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。 ・国公立大学の入試問題を解き、記述問題に対応できる能力を高める。	
12月	実力養成 問題演習	・私立大学の入試過去問題に取り組み、実践的な能力を高める。 ・国公立大学の入試過去問題を解き、記述問題に対応できる能力を高める。	

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年文系 必修

古典探究

3

<b>学習目標</b>	古典としての古文と漢文をより深く読む能力を定着させるとともに、思考力、感受性をさらに広め、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を確実に理解し、やや複雑な文章も読みとることができるか。 イ 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえることができるか。 ウ 文章や作品に現れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読みとり、思考力、感受性をさらに豊かにすることができるか。 エ 文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わうことができるか。 オ 古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について理解し、考えを深めることができるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、小テスト、課題の提出、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・ 2学年で使用した教科書を引き続き使用する。 ・ 1、2学年に学習した古典文法、漢文句法をはじめ、古典の基本的な事柄については再確認をしておくことが望ましい。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	古文編 歴史を紡ぐ-物語	・ 登場人物の言動に即して、それぞれの人物像を理解する。 ・ 敬語に注意し、人物関係を把握しながら展開を理解する。	漢文素読 小テスト
	漢文編 評価する視点-故事成語	・ 故事成語の意味を理解する。 ・ 同じ故事成語を扱った文章を比較することで、古代中国の思想の違いを理解する。	
5月	古文編 自己を語る-日記	・ 人物間の関係性とそれぞれの思いを理解する。 ・ 敬語表現の種類と用法を理解する。	漢文素読 小テスト 中間考査
6月	古文編 長編の魅力-物語	・ 場面の展開を的確に読み取り、物語の流れを把握する。 ・ 和歌、自然描写などの表現に注意して文章を読み味わう。	漢文素読 小テスト
	漢文編 思想の展開-諸子	・ 中国古典における典型的な思想について理解する。 ・ 漢文における逆説的思考法や比較による論証法を理解する。	
7月			期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	古文編 文学を論じる-評論	・ 和歌や連歌についての評論を読み、その思想を理解する。 ・ 各時代における芸術の様式と関連させながら、本文の批評性を読み取る。	漢文素読 小テスト
	漢文編 言動の真意-史伝	・ 『史記』の文章を読み、文学作品としての史伝の魅力を理解する。 ・ 長い文章を読み、本文の展開の要点を把握する。	
10月	古文編 歴史を紡ぐ-物語	・ 登場人物の言動に即して、それぞれの人物像を理解する。 ・ 敬語に注意し、人物関係を把握しながら展開を理解する。	中間考査 小テスト
	問題演習	・ 講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
11月	問題演習	・ 講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	小テスト
	問題演習	・ 講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
12月	問題演習	・ 講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	・ 講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年理系 必修

古典探究

2

<b>学習目標</b>	古典としての古文と漢文をより深く読む能力を定着させるとともに、思考力、感受性をさらに広め、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	ア 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を確実に理解し、やや複雑な文章も読みとることができるか。 イ 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえることができるか。 ウ 文章や作品に現れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読みとり、思考力、感受性をさらに豊かにすることができるか。 エ 文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現を味わうことができるか。 オ 古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について理解し、考えを深めることができるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、小テスト、課題の提出、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・2学年で使用した教科書を引き続き使用する。 ・1、2学年で学習した古典文法、漢文句法をはじめ、古典の基本的な事柄については再確認をしておくことが望ましい。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	古文編 歴史を紡ぐ-物語 漢文編 評価する視点-故事成語	・登場人物の言動に即して、それぞれの人物像を理解する。 ・敬語に注意し、人物関係を把握しながら展開を理解する。  ・故事成語の意味を理解する。 ・同じ故事成語を扱った文章を比較し、古代中国の思想の違いを理解する。	漢文素読 小テスト
5月		・敬語表現の種類と用法を理解する。	小テスト 中間考査
6月	古文編 長編の魅力-物語 漢文編 思想の展開-諸子	・場面の展開を的確に読み取り、物語の流れを把握する。 ・和歌、自然描写などの表現に注意して文章を読み味わう。  ・中国古典における典型的な思想について理解する。 ・漢文における逆説的思考法や比較による論証法を理解する。	漢文素読 小テスト
7月			期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	古文編 文学を論じる-評論 漢文編 言動の真意-史伝	・和歌や連歌についての評論を読み、その思想を理解する。 ・各時代における芸術の様式と関連させながら、本文の批評性を読み取る。  ・『史記』の文章を読み、文学作品としての史伝の魅力を理解する。 ・長い文章を読み、本文の展開の要点を把握する。	漢文素読 小テスト
10月	古文編 歴史を紡ぐ-物語 問題演習	・登場人物の言動に即して、それぞれの人物像を理解する。 ・敬語に注意し、人物関係を把握しながら展開を理解する。  ・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	漢文素読 小テスト 中間考査
11月	問題演習	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	漢文素読 小テスト
12月	問題演習	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	・講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

## 3年国立文系 選択

## 古典探究

2

学習目標	古典としての古文と漢文を読解し鑑賞することによって、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を育てる。
評価の観点	ア 音読、朗読を通して作品の読解鑑賞を深めることができるか。 イ 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わうことができるか。 ウ 文章や作品にあらわれた思想や感情を的確に読みとり、生活や人生について考えることができるか。 エ 古典を読んで、日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考えることができるか。
評価の方法	小テスト、授業への参加態度 他
履修に当たっての留意事項	・まとまりのある古典作品を、じっくりと時間をかけて読解、鑑賞する。したがって文法や有職故実など、古典の基礎的な事項についてはしっかりと身につけておくことが望まれる。

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	
5月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	
6月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	
7月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	
10月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	
11月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな古典作品を読み、内容を読解する。</li> <li>古典作品を通じて人々の生き方、考え方に対する理解を深める。</li> </ul>	
12月	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。</li> </ul>	

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座ごとに問題演習等を行い、実践的な能力を高める。</li> </ul>	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸現象に関する諸資料から、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。</li> <li>・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、それらを説明したり議論する力を養う。</li> <li>・近現代の歴史の変化に関わる諸現象について、多面的・多角的な考察や理解を通して涵養される日本国民としての自覚や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を含む世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解しているか。</li> <li>・歴史的考察力が培われているか。</li> <li>・資料(史料)を適切に活用できているか。</li> <li>・歴史的諸現象について適切に説明したり、議論することができているか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、出席状況、授業態度等を総合的に判断し、評価する。</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、政治・経済・社会・文化などの観点から歴史的事象を把握し、多角的で柔軟な見方を身に付ける努力をすること。</li> <li>・地球世界の課題について考察し、民主的で平和な国際社会の実現を目指すことが重要な課題であることを認識すること。</li> <li>・授業の進め方については、担当者の指示に従うこと。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第I部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界	○アジア諸地域の繁栄と日本について理解する。 ○ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出について理解する。	
5月	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○産業革命について理解する。 ○アメリカ独立革命とフランス革命について理解する。 ○19世紀のヨーロッパ・アメリカ大陸について理解する。 ○西アジアの変容とアジアの植民地化について理解する。 ○中国の開港と日本の開国について理解する。	中間考査
6月	第3章 明治維新と日本の立憲体制 第4章 帝国主義の展開とアジア	○明治維新と諸改革、明治初期の対外関係について理解する。 ○自由民権運動と立憲体制について理解する。 ○条約改正と日清戦争について理解する。 ○日本の産業革命と教育の普及について理解する。 ○帝国主義と列強の展開、世界分割と列強の対立について理解する。 ○日露戦争とその影響について理解する。	
7月	引き続き第4章を学習する		期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	○第一次世界大戦とロシア革命について理解する。 ○国際平和と安全保障について理解する。 ○アジア・アフリカ地域の民族運動について理解する。 ○大衆消費社会と市民生活の変容について理解する。 ○社会・労働運動の進展と大衆の政治参加について理解する。	
10月	第6章 経済危機と第二次世界大戦	○世界恐慌の発生と各国の対応について理解する。 ○ファシズムの台頭について理解する。 ○日本の恐慌と満州事変について理解する。 ○日中戦争と国内外の動きについて理解する。 ○第二次世界大戦と太平洋戦争について理解する。	中間考査
11月	引き続き第6章を学習する 第7章 戦後の国際秩序と日本の改革	○新たな国際秩序と冷戦の始まりについて理解する。 ○アジア諸地域の独立について理解する。 ○占領下の日本と民主化について理解する。	
12月	引き続き第7章を学習する	○占領政策の転換と日本の独立について理解する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第III部 グローバル化と私たち 第8章 冷戦と世界経済	○集団防衛体制と核開発について理解する。 ○米ソ両大国と平和共存について理解する。 ○西ヨーロッパの経済復興について理解する。 ○55年体制の成立と高度経済成長について理解する。 ○核戦争の恐怖と軍縮について理解する。 ○冷戦構造のゆらぎと世界経済の転換について理解する。 ○アジア諸地域の経済発展と市場開放について理解する。	
2月	第9章 グローバル化する世界 第10章 現代の課題	○冷戦の終結と国際情勢について理解する。 ○ソ連の崩壊と経済のグローバル化について理解する。 ○開発途上国の民主化と独裁政権の動揺について理解する。 ○地域紛争の激化について理解する。 ○国際社会のなかの日本について理解する。	
3月	引き続き第10章を学習する		学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる国家及び社会の形成者に必要な資質・能力を育成する。</li> <li>・現代の諸課題を捉えるために必要となる概念や理論を理解するとともに、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付け、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間や社会に関する問題について、基本的な知識を理解しているか。</li> <li>・社会の在り方に関わる情報を収集し、適切に活用できているか。</li> <li>・自分の意見を表現し、他者と議論することができているか。</li> <li>・よりよい社会の実現のために問題意識を持ち、主体的に取り組んでいるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、出席状況、授業態度等を総合的に判断し、評価する。</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者の視点で諸事象をとらえ、現代社会のしくみや問題について、主体的に学習する姿勢で参加する。</li> <li>・日常より新聞やTV等のニュースに関心を持ち、社会の様々な出来事について考え判断する意識を持つ。</li> <li>・授業担当者により、展開や内容等を変更する場合がある。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	〈第1編 公共の扉〉 1. 社会を作る私たち	○青年期とは人生においてどのような時期かを理解し、望ましい自己とはどのようなものか考察する。	
5月	2. 人間としてよく生きる	○先哲の思想を通じて、幸福や宗教、人間の尊重、自由、個人と社会、主体性、他者の尊重、公正などのテーマについて考察をする。	中間考査
6月	3. 民主社会の倫理 4. 民主国家における基本原理	○平等、権利と義務について学習し、望ましい社会とは何か考察する。 ○政治とは何か理解した上で、各国の政治体制を比較し、民主主義について考察する。	
7月	〈第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち〉 1. 日本国憲法の基本的性格	○日本国憲法の内容を理解し、憲法の重要性について考察するとともに、日本の平和主義、基本的人権について多面的・多角的に捉える。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	2. 日本の政治機構と政治参加	○日本の政治機構や地方自治、選挙制度に関する基本的な知識を理解するとともに、政治参加の意義を考察する。	
10月	3. 現代の経済社会	○経済の基本原則を基に、市場経済の機能や金融や財政の役割などを相互に関連づけて理解し、望ましい経済活動について考察する。	中間考査
11月	4. 経済活動のあり方と国民福祉	○現代における中小企業問題、環境問題、消費者問題、労働問題、社会保障について基本的な知識を踏まえて、人口減少社会における課題について考察する。	
12月	5. 国際政治の動向と課題	○日本を世界の枠組みで捉え、安全保障の仕組みについて基本的な考え方を理解し、今後の国際社会の課題と解決方法を考察する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	6. 国際経済の動向と課題	○国際経済の仕組みと動向に関する知識を理解し、国際社会の経済格差の是正と国際協力について考察する。	
2月	〈第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち〉	○第1編、第2編の学習を踏まえ、プレゼンテーションやディベートの基本的技法を理解し、持続可能な社会を実現するための課題を探究する。	
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	・歴史総合で学んだ事項を前提として、先史、古代、中世、近世、および近代初期の世界の歴史について、概略を理解する。
<b>評価の観点</b>	・世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解しているか。 ・歴史的思考力が培われているか。 ・国際化に対応した日本人としての自覚と資質が養われているか。
<b>評価の方法</b>	・定期考査、出席状況・授業態度、提出物などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・歴史は用語の暗記だけでなく、歴史的出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかを追求する学習であるという考え方を身に付ける努力をすること。 ・教科書以外の史料・資料も多用するので、歴史を総合的に把握する視点をもつこと。 ・授業を大切にすること。世界史は復習が重要になるので、授業中にメモを取り、後で復習しやすくなるよう工夫する。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	序章 先史の世界 第1章 オリエン特と地中海世界	○先史時代の流れや特徴について理解する。 ○オリエン特世界の民族攻防について理解する。 ○オリエン特世界の文化について理解する。 ○ギリシア世界の動きについて理解する。 ○ギリシア文化について理解する。 ○ローマ世界の動きについて理解する。 ○ローマ文化について理解する。 ○キリスト教の成立から発展の流れについて理解する。	中間考査
5月			
6月	第2章 アジア・アフリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	○インダス文明について理解する。 ○インドの古代宗教について理解する。 ○インドの古代王朝の変遷について理解する。 ○東南アジアの各地域の特徴について理解する。 ○中国の古代文明の特徴について理解する。 ○中国の殷から唐までの王朝変遷について理解する。 ○古代中国の文化について理解する。 ○南北アメリカの諸文明の特徴について理解する。	
7月	第4章 イスラーム世界の形成と発展	○草原地帯の遊牧民の特徴について理解する。 ○東アジア文化圏の形成について理解する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	引き続き第4章を学ぶ 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	○ゲルマン人の動きについて理解する。 ○ローマ=カトリック教会の動きについて理解する。 ○ノルマン人などの外部勢力の動きについて理解する。 ○東ローマ(ビザンツ)帝国の動きについて理解する。 ○封建社会について理解する。 ○十字軍について理解する。 ○商業の発展・都市の発展について理解する。 ○封建社会の衰退について理解する。 ○中世後半期の各地域の動きについて理解する。 ○西ヨーロッパの中世文化について理解する。	中間考査
10月	引き続き第5章について学習する 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	○トルキスタンの形成について理解する。 ○モンゴル帝国について理解する。	
11月	第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	○明・清代の特徴について理解する。 ○ポスト=モンゴル(ティムール帝国、オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国)の特徴について理解する。	
12月	引き続き第8章について学習する	○大航海時代について理解する。 ○ルネサンスの特徴と展開について理解する。 ○宗教改革について理解する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	○絶対王政の特徴について理解する。 ○絶対王政期の各国の特徴について理解する。 ○17~18世紀のヨーロッパ文化と社会について理解する。	
2月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○産業革命について理解する。 ○アメリカ独立革命について理解する。 ○フランス革命について理解する。 ○ナポレオンの動きについて理解する。	
3月	引き続き第10章について学習する		学年末考査

## 2年文系 社会選択

## 日本史探究

4

<b>学習目標</b>	原始から近代までの日本社会の展開を、世界史的視野にたつて考察させる。 歴史の過程を実証的に考察させることによって、歴史的思考力を育成する。 民主的・平和的な国家社会を形成する自覚と、国際社会に主体的に対応できる資質を養う。
<b>評価の観点</b>	基礎的知識を習得しているか。(歴史認識) 基礎的知識をもとに基本的知識に到達しているか。(社会認識) 諸課題に対して、問題関心を持っているか。(問題意識) 批判的精神や探究心、自己主張を表現できているか。(自己表現力)
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、出席状況、授業への取り組み姿勢などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	2年次の授業では、基礎的知識の育成・確立を目的として、政治・経済史を中心に履修する。 歴史は用語の暗記だけでなく、歴史的出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという考え方や姿勢を身に付けさせたい。 教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。 興味のある本も沢山読むと良い。

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成	旧石器時代から平安時代までの日本列島における社会・文化について東アジア世界の動向を踏まえて、原始社会の時期、国家の形成と律令体制の確立の時期、律令国家の変質の時期の3つの構成から理解する。飛鳥時代から奈良時代にかけて、仏教文化の発展とともに確立する天皇中心の中央集権国家の成り立ちとその仕組みについて理解を深める	
5月	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進	摂関政治から武士団の成長にいたる、古代後期の政治・文化・社会の変質の背景について深く考察する。	中間考査
6月	第6章 武家政権の成立	武家政権の成立から戦国時代までの社会・文化における武士が政治力をつけていく過程について、武家政権の成立期と武家政権の成長期の構成の中、世界的視野と国内諸地域への視点を踏まえて考察する。	
7月	第6章 武家政権の成立		期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第7章 武家社会の成長	室町幕府の成立から、南北朝の対立を通じての守護大名の台頭期、さらには戦国大名が割拠するまでの動きと、その間の社会・経済・文化の変化について深く考察する。	
10月	第8章 近世の幕開け	織豊政権から江戸時代における社会・文化について、封建的支配体制が作り上げられる幕藩体制の確立、町人文化が生み出された幕藩体制の展開、列強の接近に伴う幕藩体制の動揺の3つの構成から世界史的な流れと関連させて考察する。	中間考査
11月	第9章 幕藩体制の成立と展開	文治政治への転換から、農業・商業・交通・諸産業の発達など近世社会の成熟期について深く考察する。	
12月	第9章 幕藩体制の成立と展開		期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第10章 幕藩体制の動揺	領主経済の動揺から幕政改革に至る過程、さらにこの間の社会・文化の動向についても深く考察する。	
2月	第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ	領主経済の動揺から幕政改革に至る過程、さらにこの間の社会・文化の動向についても深く考察する。 ペリー来航から幕末の動乱、明治維新に至るまでの、政治・外交・社会経済の動きなどを考察する。	
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	世界の各地は、それぞれ固有な文化・歴史を持ち、伝統を大切に守りながら人々は生活している。一方、世界は今、急速に変化しており、一体化が進んでいる。現在、世界がどのような状況にあり、その中で私たちが考えていかなければならないことは何か。どのような課題があり、その解決のために私たちがしなければならないことは何か。それらを理解するために、地理を学ぶのである。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を、きちんと理解できているか。</li> <li>・地理的、地域的な背景を考えて、判断ができたか。</li> <li>・提出課題は、きちんとやり終えているか。</li> <li>・世界の大地形の名称・位置や、主な国の位置・首都名を理解しているか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出課題、小テスト、授業への取り組みの姿勢等を総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、様々な資料を用い、地理的な見方、考え方ができるようにする。</li> <li>2、日常の新聞やテレビのニュース等を通じ、常に世界に関する関心を持つ。</li> <li>3、教科書の掲載順序と、授業展開の順序が異なる場合がある。</li> <li>4、授業担当者によって、展開の順序、内容等に多少の変更がある場合がある。</li> </ol>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	地図と地理情報システム 1、地球上の位置と時差 2、地図の役割と種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緯度・経度や時差の基本的なしくみを理解し、緯度や時差の違いが生活に与える影響について考察する。</li> <li>○さまざまな図法や主題図と一般図の用途、統計地図の使い分けを理解する。</li> </ul>	
5月	結びつきを深める現代社会 1、現代社会の国家と領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土を巡る諸問題について考察する。</li> <li>○国家間の紛争の変化と国連の役割、貿易と国際分業、世界を結ぶ交通の発達と変化について考察する</li> </ul>	中間考査
6月	2、グローバル化と結びつき 生活文化の多様性と国際理解 (生活文化の多様性) 1、世界の地形と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について理解する。</li> <li>○大地形を構成する変動帯と安定地域の生活への影響と、各種地形と生活との関わりについて考察する。</li> </ul>	
7月		○大地形を構成する変動帯と安定地域の生活への影響と、各種地形と生活との関わりについて考察する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	2、世界の気候と人々の生活	○気候のしくみと分布やケッペンの気候区分について理解し、気候が生活に与える影響について考察する。	
10月	3、世界の産業と人々の生活 4、歴史的背景と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業や工業の発展を理解し、農業の課題や工業の地域差について考察する。また、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響について考察する。</li> <li>○歴史的背景、冷戦時代の体制が生活文化に与えた影響について考察する。</li> </ul>	中間考査
11月	5、多様な生活文化と地理的環境	○衣食住をはじめとする生活文化の地域的差異と世界的な画一化について考察する。	
12月	地球的課題と国際協力 (複雑に絡み合う地球的課題)	○地球的課題の背景にある経済格差、人口、食料、都市、公衆衛生、資源・エネルギーに関わる問題など現代における様々な地球的課題についてその過程や背景について理解し、それらの解決に向けた取り組みについて多角的に考察する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	自然環境と防災 1、日本の自然環境 2、自然現象による災害と防災	○日本の地形や気候などの特徴について理解し、メカニズムについて考察する。	
2月	3、気象災害と防災 4、自然災害への備え 生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大雨による水害など気象災害に対する理解を深め、防災のあり方を考察する。</li> <li>○防災および減災の取り組みについて理解し、災害への準備について考察する。</li> <li>○生活圏における地理的課題について考え、地域調査の手順や方法について理解し、課題解決に向けた考察を行う。</li> </ul>	
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	世界の各地は、それぞれ固有な文化・歴史を持ち、伝統を大切に守りながら人々は生活している。一方、世界は今、急速に変化しており、一体化が進んでいる。現在、世界がどのような状況にあり、その中で私たちが考えていかなければならないことは何か。どのような課題があり、その解決のために私たちがしなければならないことは何か。それらを理解するために、地理を学ぶのである。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を、きちんと理解できているか。</li> <li>・地理的、地域的な背景を考えて、判断ができたか。</li> <li>・提出課題は、きちんとやり終えているか。</li> <li>・世界の大地形の名称・位置や、主な国の位置・首都名を理解しているか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出課題、小テスト、授業への取り組みの姿勢等を総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、様々な資料を用い、地理的な見方、考え方ができるようにする。</li> <li>2、日常の新聞やテレビのニュース等を通じ、常に世界に関する関心を持つ。</li> <li>3、教科書の掲載順序と、授業展開の順序が異なる場合がある。</li> <li>4、授業担当者によって、展開の順序、内容等に多少の変更がある場合がある。</li> </ol>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<b>地図と地理情報システム</b> 1、地球上の位置と時差 2、地図の役割と種類 <b>結びつきを深める現代社会</b> 1、現代社会の国家と領域	○緯度・経度や時差の基本的なしくみを理解し、緯度や時差の違いが生活に与える影響について考察する。 ○さまざまな図法や主題図と一般図の用途、統計地図の使い分けを理解する。 ○国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土を巡る諸問題について考察する。	
5月	2、グローバル化と結びつき 生活文化の多様性と国際理解	○国家間の紛争の変化と国連の役割、貿易と国際分業、世界を結ぶ交通の発達と変化について考察する。 ○生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について理解する。	中間考査
6月	1、世界の地形と人々の生活	○大地形を構成する変動帯と安定地域の生活への影響と、各種地形と生活との関わりについて考察する。	
7月	2、世界の気候と人々の生活	○気候のしくみと分布やケッペンの気候区分について理解し、気候が生活に与える影響について考察する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	3、世界の産業と人々の生活 4、歴史的背景と人々の生活	○農業や工業の発展を理解し、農業の課題や工業の地域差について考察する。また、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響について考察する。 ○生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について考察する。	
10月	5、多様な生活文化と地理的環境 地球的課題と国際協力 (複雑に絡み合う地球的課題)	○衣食住をはじめとする生活文化の地域的差異と世界的な画一化について考察する。 ○地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みについて考察する。	中間考査
11月	1、人口問題 2、食料問題 3、感染症・衛生問題	○世界の人口分布と増加傾向、国や地域人口の特徴について理解し、各地域の人口問題や移民について考察する。 ○発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について考察する。 ○感染症や解決の動きについて、グローバル化や衛生環境を踏まえ考察する。	
12月	4、資源・エネルギー問題	○エネルギーの種類と利用の変化、鉱産資源の利用について理解し、エネルギー問題やその解決に向けての取り組みについて考察する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	5、都市・居住問題 自然環境と防災 1、日本の自然環境 2、自然現象による災害と防災	○都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について理解する。また各地域の都市・居住問題について考察する。 ○日本の地形や気候などの特徴について理解し、メカニズムについて考察する。 ○地震や火山噴火など自然現象による災害について、防災のあり方を考察する。	
2月	3、気象災害と防災 4、自然災害への備え 生活圏の調査と地域の展望	○大雨による水害など気象災害に対する理解を深め、防災のあり方を考察する。 ○防災および減災の取り組みについて理解し、災害への準備について考察する。 ○生活圏における地理的課題について考え、地域調査の手順や方法について理解し、課題解決に向けた考察を行う。	
3月			学年末考査

3年国立文系 必修社会選択

世界文化史

4

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを理解させる。</li> <li>・ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発になり、新たな地域世界の形成や再編を促したことを理解させる。</li> <li>・科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、現代世界は地球規模で一体化し相互依存を強めたことを理解させる。</li> <li>・国際対立と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から、20世紀の歴史の特質を考察させ、未来を展望させる。</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解しているか。</li> <li>・歴史的思考力が培われているか。</li> <li>・国際化に対応した日本人としての自覚と資質が養われているか。</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、出席状況・授業態度、提出物などを総合的に判断し、評価する。</li> </ul>
履修に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史は用語の暗記だけでなく、歴史の出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという姿勢を身につけること。</li> <li>・教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。</li> <li>・興味のある本も沢山読むと良い。</li> <li>・政治史のみでなく、各時代の人々の生活や意識を具体的に理解できるようにする。</li> <li>・比較文明的視点から世界の歴史の中の日本の位置付けにも着目する。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウィーン体制の意味と、その展開について理解する。</li> <li>○ヨーロッパ内の対立構造と、独伊の統一について理解する。</li> <li>○アメリカの発展過程について理解する。</li> <li>○19世紀欧米文化について理解する。</li> </ul>	
5月	第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア各地域の植民地化の背景とその展開について理解する。</li> <li>○中国の衰退の要因、およびその展開について理解する。</li> </ul>	中間考査
6月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帝国主義の定義と、それぞれの列強の展開について理解する。</li> <li>○欧州の国際関係の変遷について理解する。</li> <li>○列強の侵略とアジア諸国の改革・抵抗などについて理解する。</li> </ul>	
7月	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一次大戦に至る国際関係、および第一次世界大戦の展開について理解する。</li> <li>○ロシア革命の背景とその展開について理解する。</li> <li>○アジア・アフリカ地域のそれぞれの展開について、1学期で学んだ内容を踏まえて理解する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦間期の状況について、世界的な協調ムードに向かう過程を理解する。</li> <li>○世界恐慌の背景とその影響について理解する。</li> <li>○第二次世界大戦に至る各地の状況および大戦について理解する。</li> </ul>	
10月	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦の展開や各国の状況について理解する。</li> <li>○冷戦終結に至るまでの過程について理解する。</li> </ul>	中間考査
11月	第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦後の世界構造の変化について理解する。</li> <li>○現代が抱える諸課題について理解する。</li> </ul>	
12月	引き続き、第19章を学習する		期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	これまでの学習の振り返り	○全時代の復習を問題演習を通して行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年国立文系 必修社会選択

日本文化史

4

<b>学習目標</b>	近代から現代までの日本社会の展開を、世界史的視野に立って考察させる。 文化史学習・部門史学習・史料講読などを通じて、これまでの通史的な学習を補強する多角的・発展的な学力を養成する。 歴史の過程を実証的に考察させることによって、歴史的思考力を育成する。 民主的・平和的な国家社会を形成する自覚と、国際社会に主体的に対応できる資質を養う。
<b>評価の観点</b>	基礎的知識を習得しているか。(歴史認識) 基礎的知識をもとに基本的知識に到達しているか。(社会認識) 諸課題に対して、問題関心を持っているか。(問題意識) 批判的精神や探究心、自己主張を表現できているか。(自己表現力)
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、出席状況、授業への取り組み姿勢などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	前半では、2年次の授業では十分に行えなかった、近代以後の政治・経済史を中心に学習する。 後半は、文化史・部門史・史料講読などを通じて、これまでの学習を補強する総合的な学力を身につけるように努める。 歴史は用語の暗記だけでなく、歴史的出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという考え方や姿勢を身に付けさせたい。 教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	近代国家の成立	明治維新・自由民権運動・立憲政体の樹立・条約改正・産業革命などを経て、近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する。	
5月	近代国家の成立	明治維新・自由民権運動・立憲政体の樹立・条約改正・産業革命などを経て、近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する。	中間考査
6月	近代国家の展開	条約改正・日清日露戦争・産業革命に至る、日本が欧米に匹敵する近代国家として確立して行く過程を、国際関係の推移に着目して考察する。	
7月	近代の産業と生活	日本の産業革命は、どのような特色を持ち、国内や貿易にどのような影響を及ぼしたのかに着目して考察する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	恐慌と第二次世界大戦 占領下の日本	第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる日本の歴史の展開について、国際社会における日本の立場と対外政策の変化を、近代国家として発展を遂げた日本が全体主義の台頭により戦争に突入していく点を踏まえて理解する。 民主化・非軍事化を基調とした占領政策が、冷戦を契機にして大きく転換されていく過程を、国際関係との関連の中で深く学習し、今日的な外交上の諸課題の意義を理解できるようにする。	
10月	高度成長の時代 激動する世界と日本	高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 オイルショック後の経済大国日本とその後の平成不況への展開という経済的な側面と、冷戦後の国際関係の激変という政治・外交上の側面から、今日の日本がおかれている状況についての理解を深める。	中間考査
11月	部門史学習	2年次から3年1学期までの学習をふまえ、外交史・法制史・土地制度史・社会経済史など、さまざま分野を切り口に、多角的・立体的に日本史をとらえなおし、その理解を一層深いものにしていく。	
12月	史料演習	これまでの学習であまり取り上げることのできなかった史料のうち、時代・分野ごとに何点かを取り上げ、その講読をする。 また、史料から復元できる歴史的事実を、これまでの学習と照合していくことで、日本史の成り立ちの根拠についても理解を深めていく。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習などを通じ、全時代の復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	世界の各地は、それぞれ固有な文化・歴史を持ち、伝統を大切に守りながら人々は生活している。一方、世界は今、急速に変化しており、一体化が進んでいる。現在、世界がどのような状況にあり、その中で私たちが考えていかなければならないことは何か。どのような課題があり、その解決のために私たちがしなければならないことは何か。それらを理解するために、地理を学ぶのである。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を、きちんと理解できているか。</li> <li>・提出課題は、きちんとやり終えているか。</li> <li>・世界の大地形の名称・位置や、主な国の位置・首都名を理解しているか。</li> <li>・2年間の地理学習を通じて、地理的思考力が身についたかどうか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出課題、授業への取り組みの姿勢等を総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、様々な資料を用い、地理的な見方、考え方ができるようにする。</li> <li>2、視聴覚教材を利用する場合がある。</li> <li>3、教科書の掲載順序と、授業展開の順序が異なる場合がある。</li> <li>4、授業担当者によって、展開の順序、内容等に変更のある場合がある。</li> </ol>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する。</li> <li>・世界の人口問題を大観し、途上国・先進国・日本の事例を考察する。</li> </ul>	
5月	人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村落・都市の立地・発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。</li> <li>・世界の都市・居住問題の要因と発生のしくみを、事例を挙げ考察するとともに、問題の解決には何が必要かを考察する。</li> </ul>	中間考査
6月	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。</li> <li>・世界の民族・領土問題を大観し、民族共生についての課題を考察する。</li> </ul>	
7月	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	現代世界の諸地域 1. 中国 2. 韓国 3. 東南アジア 4. 南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例として世界の主な国々・地域を学習する。</li> <li>・中国は、多様な自然環境・文化、変化した産業などを学習する。</li> <li>・朝鮮半島は日本に近いが、生活・文化は異なることを学習する。</li> <li>・多様な民族と文化、ASEAN諸国の発展について学習する。</li> <li>・多様な生活・文化や、近年発展しているインドの産業について学習する。</li> </ul>	
10月	5. 西アジアと中央アジア 6. アフリカ 7. ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通性の多い自然環境や文化、恵まれた資源について学習する。</li> <li>・大陸の南北で大きく異なる自然環境や、文化・産業について学習する。</li> <li>・EUによる政治経済の統合や、進んだ産業について学習する。</li> </ul>	中間考査
11月	8. ロシア 9. アングロアメリカ 10. ラテンアメリカ 11. オセアニア 12. 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広大な国土の多様性と、近年の変化について学習する。</li> <li>・民族・文化・自然環境の多様性と、発展した産業、世界に与える影響について学習する。</li> <li>・南北や標高で異なる自然環境・産業・文化などについて学習する。</li> <li>・多様な文化とアジア諸国との結びつきを学習する。</li> <li>・日本の地方ごとの自然、産業などについて学習する。</li> </ul>	
12月	地理学習のまとめ	大学入試問題の演習などを通じて、これまでの地理学習のまとめを行う。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	地理学習のまとめ	大学入試問題の演習などを通じて、これまでの地理学習のまとめを行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年国立文系 教科間選択①

世界史探究

4

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを理解させる。</li> <li>・ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発になり、新たな地域世界の形成や再編を促したことを理解させる。</li> <li>・科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、現代世界は地球規模で一体化し相互依存を強めたことを理解させる。</li> <li>・国際対立と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から、20世紀の歴史の特質を考察させ、未来を展望させる。</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解しているか。</li> <li>・歴史的思考力が培われているか。</li> <li>・国際化に対応した日本人としての自覚と資質が養われているか。</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、出席状況・授業態度、提出物などを総合的に判断し、評価する。</li> </ul>
履修に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史は用語の暗記だけでなく、歴史の出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという姿勢を身につけること。</li> <li>・教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。</li> <li>・興味のある本も沢山読むと良い。</li> <li>・政治史のみでなく、各時代の人々の生活や意識を具体的に理解できるようにする。</li> <li>・比較文明的視点から世界の歴史の中の日本の位置付けにも着目する。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウィーン体制の意味と、その展開について理解する。</li> <li>○ヨーロッパ内の対立構造と、独伊の統一について理解する。</li> <li>○アメリカの発展過程について理解する。</li> <li>○19世紀欧米文化について理解する。</li> </ul>	
5月	第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア各地域の植民地化の背景とその展開について理解する。</li> <li>○中国の衰退の要因、およびその展開について理解する。</li> </ul>	中間考査
6月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帝国主義の定義と、それぞれの列強の展開について理解する。</li> <li>○欧州の国際関係の変遷について理解する。</li> <li>○列強の侵略とアジア諸国の改革・抵抗などについて理解する。</li> </ul>	
7月	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一次大戦に至る国際関係、および第一次世界大戦の展開について理解する。</li> <li>○ロシア革命の背景とその展開について理解する。</li> <li>○アジア・アフリカ地域のそれぞれの展開について、1学期で学んだ内容を踏まえて理解する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦間期の状況について、世界的な協調ムードに向かう過程を理解する。</li> <li>○世界恐慌の背景とその影響について理解する。</li> <li>○第二次世界大戦に至る各地の状況および大戦について理解する。</li> </ul>	
10月	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦の展開や各国の状況について理解する。</li> <li>○冷戦終結に至るまでの過程について理解する。</li> </ul>	中間考査
11月	第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦後の世界構造の変化について理解する。</li> <li>○現代が抱える諸課題について理解する。</li> </ul>	
12月	引き続き、第19章を学習する		期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	これまでの学習の振り返り	○全時代の復習を問題演習を通して行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年国立文系 教科間選択①

日本史探究

4

<b>学習目標</b>	近代から現代までの日本社会の展開を、世界史的視野に立って考察させる。 文化史学習・部門史学習・史料講読などを通じて、これまでの通史的な学習を補強する多角的・発展的な学力を養成する。 歴史の過程を実証的に考察させることによって、歴史的思考力を育成する。 民主的・平和的な国家社会を形成する自覚と、国際社会に主体的に対応できる資質を養う。
<b>評価の観点</b>	基礎的知識を習得しているか。(歴史認識) 基礎的知識をもとに基本的知識に到達しているか。(社会認識) 諸課題に対して、問題関心を持っているか。(問題意識) 批判的精神や探究心、自己主張を表現できているか。(自己表現力)
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、出席状況、授業への取り組み姿勢などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	前半では、2年次の授業では十分に行えなかった、近代以後の政治・経済史を中心に学習する。 後半は、文化史・部門史・史料講読などを通じて、これまでの学習を補強する総合的な学力を身につけるように努める。 歴史は用語の暗記だけでなく、歴史的出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという考え方や姿勢を身に付けさせたい。 教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第12章 近代国家の成立	明治維新・自由民権運動・立憲政体の樹立・条約改正・産業革命などを経て、近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する。	
5月	第12章 近代国家の成立	明治維新・自由民権運動・立憲政体の樹立・条約改正・産業革命などを経て、近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する。	中間考査
6月	第13章 近代国家の展開	条約改正・日清日露戦争・産業革命に至る、日本が欧米に匹敵する近代国家として確立して行く過程を、国際関係の推移に着目して考察する。	
7月	第14章 近代の産業と生活		期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本	第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる日本の歴史の展開について、国際社会における日本の立場と対外政策の変化を、近代国家として発展を遂げた日本が全体主義の台頭により戦争に突入していく点を踏まえて理解する。 民主化・非軍事化を基調とした占領政策が、冷戦を契機にして大きく転換されていく過程を、国際関係との関連の中で深く学習し、今日的な外交上の諸課題の意義を理解できるようにする。	
10月	第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 オイルショック後の経済大国日本とその後の平成不況への展開という経済的な側面と、冷戦後の国際関係の激変という政治・外交上の側面から、今日の日本がおかれている状況についての理解を深める。	中間考査
11月	部門史学習	2年次から3年1学期までの学習をふまえ、外交史・法制史・土地制度史・社会経済史など、さまざま分野を切り口に、多角的・立体的に日本史をとらえなおし、その理解を一層深いものにしていく。	
12月	史料演習	これまでの学習であまり取り上げることのできなかった史料のうち、時代・分野ごとに何点かを取り上げ、その講読をする。 また、史料から復元できる歴史的事実を、これまでの学習と照合していくことで、日本史の成り立ちの根拠についても理解を深めていく。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習などを通じ、全時代の復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	世界の各地は、それぞれ固有な文化・歴史を持ち、伝統を大切に守りながら人々は生活している。一方、世界は今、急速に変化しており、一体化が進んでいる。現在、世界がどのような状況にあり、その中で私たちが考えていかなければならないことは何か。どのような課題があり、その解決のために私たちがしなければならないことは何か。それらを理解するために、地理を学ぶのである。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を、きちんと理解できているか。</li> <li>・提出課題は、きちんとやり終えているか。</li> <li>・世界の大地形の名称・位置や、主な国の位置・首都名を理解しているか。</li> <li>・2年間の地理学習を通じて、地理的思考力が身についたかどうか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出課題、授業への取り組みの姿勢等を総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、様々な資料を用い、地理的な見方、考え方ができるようにする。</li> <li>2、視聴覚教材を利用する場合がある。</li> <li>3、教科書の掲載順序と、授業展開の順序が異なる場合がある。</li> <li>4、授業担当者によって、展開の順序、内容等に変更のある場合がある。</li> </ol>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	自然環境 資源と産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の大地形、小地形を学習し、人間生活との関わりを考察する。</li> <li>・世界の気候区分の成り立ちと、それぞれの特徴と生活への影響を考察する。</li> <li>・日本の自然・人々の生活と、地形・気候や自然災害・防災について考察する。</li> <li>・世界と日本の環境問題の成因や特徴について、事例を考察する。</li> <li>・農業地域区分と、世界と日本の農林水産業の現状・食料問題を考察する。</li> </ul>	
5月	交通・通信と観光、貿易	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のエネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。</li> <li>・工業の発達・立地、世界と日本の工業地域・現状と課題について考察する。</li> <li>・第3次産業の特徴と特に観光産業の現状と課題について考察する。</li> <li>・世界を取りまく交通網や通信網、貿易の現状と課題について考察する。</li> </ul>	中間考査
6月	人口、村落・都市 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する。</li> <li>・世界の人口問題を大観し、途上国・先進国・日本の事例を考察する。</li> <li>・村落・都市の立地・発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。</li> <li>・世界の都市・居住問題の要因と発生のおそろろきを、事例を挙げ考察するとともに、問題の解決には何が必要かを考察する。</li> <li>・民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。</li> <li>・世界の民族・領土問題を大観し、民族共生についての課題を考察する。</li> </ul>	
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	1. 中国 2. 韓国 3. 東南アジア 4. 南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例として世界の主な国々・地域を学習する。</li> <li>・中国は、多様な自然環境・文化、変化した産業などを学習する。</li> <li>・朝鮮半島は日本に近いが、生活・文化は異なることを学習する。</li> <li>・多様な民族と文化、ASEAN諸国の発展について学習する。</li> <li>・多様な生活・文化や、近年発展しているインドの産業について学習する。</li> </ul>	
10月	5. 西アジアと中央アジア 6. アフリカ 7. ヨーロッパ 8. ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通性の多い自然環境や文化、恵まれた資源について学習する。</li> <li>・大陸の南北で大きく異なる自然環境や、文化・産業について学習する。</li> <li>・EUによる政治経済の統合や、進んだ産業について学習する。</li> <li>・広大な国土の多様性と、近年の変化について学習する。</li> </ul>	中間考査
11月	9. アングロアメリカ 10. ラテンアメリカ 11. オセアニア 12. 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族・文化・自然環境の多様性と、発展した産業、世界に与える影響について学習する。</li> <li>・南北や標高で異なる自然環境・産業・文化などについて学習する。</li> <li>・多様な文化とアジア諸国との結びつきを学習する。</li> <li>・日本の地方ごとの自然、産業などについて学習する。</li> </ul>	
12月	地理学習のまとめ	問題演習などを通じて、これまでの地理学習のまとめを行う。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	地理学習のまとめ	問題演習などを通じて、これまでの地理学習のまとめを行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年国立文系 教科間選択①

倫理

<b>学習目標</b>	1年次の「公共」の授業のうち倫理的分野を探究する。「倫理(りんり; ethics)」とは、善悪の基準や人としてあるべき生き方などのことをあらわす。道徳・モラル(moral)ともいうが、小中学生の「道徳」の授業とは異なる。小中学校では、物語を読んで自分ならどうするかを考えるとといった授業などが行われたはずだ。高校では古今東西の哲学・思想や理論・概念を主に学ぶ。ただし、これらを単なる知識として覚えるだけでなく、様々な人生観・倫理観・世界観を通して自己を見つめ直し、自分の生き方や社会のあり方、現代の倫理的な課題について多面的・多角的に考察できるようになることを目標とする。
<b>評価の観点</b>	人間や社会に関する問題について、倫理的な見方や考え方ができるか。 倫理が扱う問題について、自己の問題として思索しているか。 先哲の思想について理解したものを、自分なりに再生産し表現できるか。 自己の探求内容を合理的・客観的に報告できるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、レポート等の提出物、授業への参加状況など
<b>履修に当たっての留意事項</b>	自分の人生を豊かにするために、多くの知識や考え方を学ぶという姿勢で取り組んでほしい。 先哲の著作そのものや哲学史の様な難解な書物なども授業を通じて読んでいく。 日常生活のなかで起きている様々な出来事に関心を持ち、それに対して自分の問題意識をもつようにしてほしい。 授業担当者によって、展開の順序、内容等の変更がある。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	〈人間の心のあり方〉 1. 人間とは何か 2. 人間の心の働き 3. 青年期の発達課題	心理学の知見をもとに人間の心のあり方を学ぶ。 様々な人間の定義(先哲の人間観)を通して人間について思索する。 認知・学習・記憶・推論・感情・個性・発達など。 発達段階の中でも特に青年期が人生にとってどんな意味があるかを考える。	
5月	〈様々な人生観・倫理観・世界観Ⅰ〉 1. 人生における哲学 2. 人生における宗教	思想の源流を辿りながら哲学の扉を自ら開いてみる。 神話から哲学へ(古代ギリシアの思想: 自然哲学者・ソクラテス・プラトン・アリストテレス・ヘレニズムの思想) ユダヤ教とキリスト教の内容、キリスト教の発展史 イスラム 啓示と戒律の宗教	中間考査
6月	3. インド思想・仏教 4. 中国思想 5. 日本の風土と人々の考え方	古代インド思想と釈迦の思想、仏教の発展史 儒教(とその発展史)・道教を中心に諸子百家の思想 日本の風土と人々の考え方。日本の古代人の考え方・古代の神話。	
7月	〈様々な人生観・倫理観・世界観Ⅱ〉 1. 近代と人間尊重の精神 2. 人間の尊厳	西洋近代において醸成された考え方や原理、世界観を学ぶ。 自己肯定の精神、ルネサンスの担い手達とヒューマンイズム ルターとカルヴァンに見る宗教改革、人間の偉大と限界、モラリストたち	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	3. 新しい学問の技法 4. 民主社会の原理 5. 自己実現と幸福 6. 幸福と功利 7. 創造的知性と幸福	自然への目と科学的なものの見方、イギリス経験論と大陸合理論 民主社会の原理。人権思想。社会契約論(ホッブス、ロック、ルソーの思想) ドイツ観念論(カント～ヘーゲル)の思想 功利主義(ベンサム、ミル)の思想 プラグマティズム(パース・ジェームス・デューイ)の思想	
10月	8. 個人と社会とのかかわり 9. 現代社会における理性的問題	人間性の回復を求めて(空想的社会主義・科学的社会主義・社会民主主義) 理性的人間像が揺らぎ始め、多様な価値観が混在している現代社会に生きる私たちの抱えている問題を思索する 実存主義(キルケゴール・ニーチェ・ハイデgger・サルトルなど) 構造主義(ソシュール・レヴィ=ストロース・フーコーなど) その他、アーレント・ハーバーマス・ロールズ・レヴィナス・ベルグソン・ウェーバー・ヴィトゲンシュタインなどの20世紀以降の思想	中間考査
11月	〈国際社会に生きる日本人としての自覚〉 1. 仏教の伝来と隆盛 2. 儒教の日本化 3. 近世町人文化と民衆の思想 4. 国学と伝統文化 5. 西洋近代思想の受容	日本人の伝統的な考え方の源泉をさぐる。 奈良・平安仏教の特色、鎌倉時代に日本で独自に発展した仏教思想の特色。 朱子学、陽明学、古学の思想。 町人の思想、農民の思想。 神道の発展史や国学とは何か。 幕末の思想から文明開化後の啓蒙思想の展開。キリスト教の受容。 国家主義の高まりと社会主義。近代的自我の確立。近代日本哲学の成立。	
12月	〈現代の諸課題と倫理〉 1. 生命 2. 自然 3. 科学技術 4. 福祉	現代の様々な課題を、これまでの学習内容をもとに思索する。 生命倫理学 環境倫理学 科学技術と倫理の問題 ケアの倫理	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	5. 文化と宗教 6. 戦争と平和	異文化理解・多文化共生の倫理 戦争倫理学	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年国立文系 教科間選択①

政治・経済

2

<b>学習目標</b>	民主社会の主権者として必要な教養を深めるために、現代における政治・経済・国際関係等についての基礎的知識を理解する。 様々な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治、経済、国際関係などについての基礎的な知識を理解しているか。</li> <li>社会の在り方に関わる情報を収集し、適切に活用できているか。</li> <li>自分の意見を表現し、他者と議論することができているか。</li> <li>よりよい社会の実現のために問題意識を持ち、主体的に取り組んでいるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査を中心に、出席状況・授業態度・提出物などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	主権者の視点で諸事象をとらえ、現代社会のしくみや問題について、主体的に学習する姿勢で参加する。 そのためには、日常より新聞やTV等のニュースに関心を持ち、社会の様々な出来事について考え判断する意識を持つ。 問題演習を通して、基礎力・応用力を養っていく。 授業担当者により、展開や内容等を変更する場合がある。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界政治制度 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>法とはなにか個人や集団の権利をもとに理解する。</li> <li>世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。</li> <li>日本国憲法は民主政治の諸原理と関連させて理解する。</li> </ul>	
5月	2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり 第3章 日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法が保障する基本的人権について社会と関連させて理解する。</li> <li>日本国憲法の平和主義を理解し、日本の安全保障について理解を深める。</li> <li>日本の統治機構や政治制度の特徴を理解し課題を考える。</li> <li>主権者としての政治参加の在り方について理解する。</li> <li>地方自治は、民主政治の基盤をなすものであることを理解する。</li> </ul>	中間考査
6月	第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の基本的な原則について、さまざまな理論をもとに理解する。</li> <li>企業のしくみについて身近な事例をもとに理解する。</li> <li>インフレやデフレについて国民生活と関連させて理解する。</li> <li>経済成長と景気変動を図る様々な指標の特色を理解する。</li> <li>財政のしくみを社会への影響に関連させて理解する。</li> </ul>	
7月	第3章 現代経済と福祉の向上 1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の日本経済の特徴を踏まえ、今後の日本経済についても理解する。</li> <li>日本の中小企業の現状を踏まえ、現代日本の経済状況について理解する。</li> <li>環境問題について理解し、世界規模の課題に対して考える。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の労使関係の特色や、勤労の権利と義務、などについて理解する。</li> <li>日本の社会保障制度の歩みや特色を理解する。</li> <li>日本の農業・食料問題について理解する</li> <li>国際法の基本的なしくみと国際機構の意義や役割を理解する。</li> </ul>	
10月	3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮 5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際政治の動向として、冷戦後の動向について理解する。</li> <li>日本の安全保障と防衛について国家間の対立ももとに理解を深める。</li> </ul>	中間考査
11月	第1章 現代の国際政治 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較優位の考え方とともに自由貿易論と保護貿易論との違いを理解する。</li> <li>変動相場制について基本的なしくみを理解する。</li> <li>世界貿易機関などの国際経済機関が果たす役割や課題について理解する。</li> </ul>	
12月	4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済統合などについて学び、これからの世界経済への影響を理解する。</li> </ul>	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	これまでの学習の振り返り	問題演習などを通じ、全範囲の振り返りを行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年私立文系 必修社会選択

世界文化史

4

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを理解させる。</li> <li>・ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発になり、新たな地域世界の形成や再編を促したことを理解させる。</li> <li>・科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、現代世界は地球規模で一体化し相互依存を強めたことを理解させる。</li> <li>・国際対立と国際協調、科学技術と現代文明などの観点から、20世紀の歴史の特質を考察させ、未来を展望させる。</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解しているか。</li> <li>・歴史的思考力が培われているか。</li> <li>・国際化に対応した日本人としての自覚と資質が養われているか。</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、出席状況・授業態度、提出物などを総合的に判断し、評価する。</li> </ul>
履修に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史は用語の暗記だけでなく、歴史の出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという姿勢を身につけること。</li> <li>・教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。</li> <li>・興味のある本も沢山読むと良い。</li> <li>・政治史のみでなく、各時代の人々の生活や意識を具体的に理解できるようにする。</li> <li>・比較文明的視点から世界の歴史の中の日本の位置付けにも着目する。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウィーン体制の意味と、その展開について理解する。</li> <li>○ヨーロッパ内の対立構造と、独伊の統一について理解する。</li> <li>○アメリカの発展過程について理解する。</li> <li>○19世紀欧米文化について理解する。</li> </ul>	
5月	第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジア各地域の植民地化の背景とその展開について理解する。</li> <li>○中国の衰退の要因、およびその展開について理解する。</li> </ul>	中間考査
6月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帝国主義の定義と、それぞれの列強の展開について理解する。</li> <li>○欧州の国際関係の変遷について理解する。</li> <li>○列強の侵略とアジア諸国の改革・抵抗などについて理解する。</li> </ul>	
7月	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一次大戦に至る国際関係、および第一次世界大戦の展開について理解する。</li> <li>○ロシア革命の背景とその展開について理解する。</li> <li>○アジア・アフリカ地域のそれぞれの展開について、1学期で学んだ内容を踏まえて理解する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦間期の状況について、世界的な協調ムードに向かう過程を理解する。</li> <li>○世界恐慌の背景とその影響について理解する。</li> <li>○第二次世界大戦に至る各地の状況および大戦について理解する。</li> </ul>	
10月	第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦の展開や各国の状況について理解する。</li> <li>○冷戦終結に至るまでの過程について理解する。</li> </ul>	中間考査
11月	第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	<ul style="list-style-type: none"> <li>○冷戦後の世界構造の変化について理解する。</li> <li>○現代が抱える諸課題について理解する。</li> </ul>	
12月	引き続き、第19章を学習する		期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	これまでの学習の振り返り	○全時代の復習を問題演習を通して行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

## 3年私立文系 必修社会選択

## 世界史探究

2

学習目標	各時代の文化について学ぶと同時に、問題演習を通して知識の定着を図る。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解しているか。</li> <li>歴史的思考力が培われているか。</li> <li>国際化に対応した日本人としての自覚と資質が養われているか。</li> </ul>
評価の方法	定期考査、出席状況・授業態度、提出物などを総合的に判断し、評価します。
履修に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史は用語の暗記だけでなく、出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという因果関係を追究していくという考え方や姿勢を身につけるよう努めること。</li> <li>問題演習を通して、知識の定着とともに、歴史を総合的に俯瞰する視点を持たせたい。配布した問題は解答した上で授業に臨むこと。</li> <li>その他、授業担当者の指示を仰ぐこと。</li> </ul>

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	
5月	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	中間考査
6月	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	
7月	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	
10月	第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	中間考査
11月	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	
12月	第18章 冷戦と第三世界の台頭	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第19章 冷戦の終結と今日の世界	基本的な内容を振り返りつつ、近年の入試問題を中心とした問題演習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年私立文系 必修社会選択

日本文化史

4

<b>学習目標</b>	近代から現代までの日本社会の展開を、世界史的視野に立って考察させる。 文化史学習・部門史学習・史料講読などを通じて、これまでの通史的な学習を補強する多角的・発展的な学力を養成する。 歴史の過程を実証的に考察させることによって、歴史的思考力を育成する。 民主的・平和的な国家社会を形成する自覚と、国際社会に主体的に対応できる資質を養う。
<b>評価の観点</b>	基礎的知識を習得しているか。(歴史認識) 基礎的知識をもとに基本的知識に到達しているか。(社会認識) 諸課題に対して、問題関心を持っているか。(問題意識) 批判的精神や探究心、自己主張を表現できているか。(自己表現力)
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、出席状況、授業への取り組み姿勢などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	前半では、2年次の授業では十分に行えなかった、近代以後の政治・経済史を中心に学習する。 後半は、文化史・部門史・史料講読などを通じて、これまでの学習を補強する総合的な学力を身につけるように努める。 歴史は用語の暗記だけでなく、歴史的出来事がなぜ起こり、各時代の文化がどのように形成されたのかという根本を追求する学習であるという考え方や姿勢を身に付けさせたい。 教科書以外の史料・資料も多用しつつ、歴史を総合的に把握する視点ももたせたい。教科書は自分で予習することが重要。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	近代国家の成立	明治維新・自由民権運動・立憲政体の樹立・条約改正・産業革命などを経て、近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する。	
5月	近代国家の成立	明治維新・自由民権運動・立憲政体の樹立・条約改正・産業革命などを経て、近代日本が形成されていく過程を、アジアにおける国際環境の変化や国際関係の推移に着目して考察する。	中間考査
6月	近代国家の展開	条約改正・日清日露戦争・産業革命に至る、日本が欧米に匹敵する近代国家として確立して行く過程を、国際関係の推移に着目して考察する。	
7月	近代の産業と生活	日本の産業革命は、どのような特色を持ち、国内や貿易にどのような影響を及ぼしたのかに着目して考察する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	恐慌と第二次世界大戦 占領下の日本	第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる日本の歴史の展開について、国際社会における日本の立場と対外政策の変化を、近代国家として発展を遂げた日本が全体主義の台頭により戦争に突入していく点を踏まえて理解する。 民主化・非軍事化を基調とした占領政策が、冷戦を契機にして大きく転換されていく過程を、国際関係との関連の中で深く学習し、今日的な外交上の諸課題の意義を理解できるようにする。	
10月	高度成長の時代 激動する世界と日本	高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 オイルショック後の経済大国日本とその後の平成不況への展開という経済的な側面と、冷戦後の国際関係の激変という政治・外交上の側面から、今日の日本がおかれている状況についての理解を深める。	中間考査
11月	部門史学習	2年次から3年1学期までの学習をふまえ、外交史・法制史・土地制度史・社会経済史など、さまざま分野を切り口に、多角的・立体的に日本史をとらえなおし、その理解を一層深いものにしていく。	
12月	史料演習	これまでの学習であまり取り上げることのできなかった史料のうち、時代・分野ごとに何点かを取り上げ、その講読をする。 また、史料から復元できる歴史的事実を、これまでの学習と照合していくことで、日本史の成り立ちの根拠についても理解を深めていく。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習などを行い、全時代の復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年私立文系 必修社会選択

日本史探究

2

<b>学習目標</b>	日本の文化の各時代の代表的な事例について、映像等を通じてじっくり鑑賞し、時代ごとの特徴の理解に努める。 日本の文化の分野ごとの画像・史料などに数多く触れることで、日本文化について多角的・発展的な学力を養成する。 時代を映し出す文化の諸要素を解きほぐすことで、これまで学んできた各時代ごとの特徴を再認識する。 前提として全員が4単位の日本文化史を選択していることから、その中での文化史学習との重複を避け、状況に応じて様々な分野の演習も行う。
<b>評価の観点</b>	基礎的知識を習得しているか。(歴史認識) 基礎的知識をもとに基本的知識に到達しているか。(社会認識) 諸課題に対して、問題関心を持っているか。(問題意識) 批判的精神や探究心、自己主張を表現できているか。(自己表現力) 演習を通じて基礎力を裏付けとしてどんな問題にも対応できるような応用力を身につけているか。(問題解決力)
<b>評価の方法</b>	演習、試験、レポート、出席状況、授業への取り組み姿勢などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	これまで使った教科書・図表・史料集などを活用するが、独自に作成した教材、演習課題、視聴覚教材なども適宜用いながら学習をする。 授業への参加状況・出席状況も評価の重要な指標になる。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	飛鳥文化 白鳳文化 天平文化 総合問題・分野別問題演習	法隆寺・薬師寺・興福寺・東大寺などの諸寺・諸仏を鑑賞し、仏教が導入され、それが古代国家の形成上に利用されていったことを中心に考察する。	
5月	弘仁・貞観文化 国風文化 院政期の文化 総合問題・分野別問題演習	東寺・比叡山・高野山・平等院・中尊寺などの諸寺・諸仏、さらには平安末期の絵巻物などを鑑賞し、密教から浄土教へと仏教の中心が時代とともに変遷する過程を考察する。 また国風文化や貴族文化の展開についても考察する。	
6月	鎌倉文化 室町文化 総合問題・分野別問題演習	東大寺・三十三間堂などの鎌倉仏、禅宗寺院や庭園・水墨画などを鑑賞し、仏教が庶民や武士にまで普及したこと、また今日の日本文化の多くの特色がこの時代にはぐくまれていったことを考察する。	
7月	桃山文化 総合問題・分野別問題演習	姫路城などの城郭建築、狩野派による障壁画などを鑑賞し、近世封建国家形成期の豪華で壮大な文化について考察する。	

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	寛永期の文化 元禄文化 宝暦・天明期の文化 化政文化 総合問題・分野別問題演習	琳派の装飾画や工芸品、浮世絵作品などを鑑賞し、江戸期の町人文化の発展について考察する。 また江戸時代に登場するさまざまな学問・思想についても史料などの原典に多く触れ、その特徴を考察する。	
10月	明治の文化 大衆文化 総合問題・分野別問題演習	西洋の影響を受けた、美術・文学などを多く鑑賞し、近代人としての自我の形成について考察する。 また国家主義思想、民主主義・社会主義の思想などの史料・原典に触れ、日本人の近代思想の変遷についても考察する。	
11月	彫刻史 絵画史 工芸史 総合問題・分野別問題演習	美術関連の図版を数多く鑑賞し、分野ごとにその変遷ぶりを考察する。	
12月	思想史 総合問題・分野別問題演習	中世から近世にかけて、日本に多くの影響を与えた儒学の系譜について整理して理解を深めていく。	

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習などを通じ、全時代の復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

# 3年理系 必修社会選択

# 倫理

2

<b>学習目標</b>	1年次の「公共」の授業のうち倫理的分野を探究する。「倫理(りんり; ethics)」とは、善悪の基準や人としてのあるべき生き方などのことをあらわす。道徳・モラル(moral)ともいうが、小中学生の「道徳」の授業とは異なる。小中学校では、物語を読んで自分ならどうするかを考えるといった授業などが行われたはずだ。高校では古今東西の哲学・思想や理論・概念を主に学ぶ。ただし、これらを単なる知識として覚えるだけでなく、様々な人生観・倫理観・世界観を通して自己を見つめ直し、自分の生き方や社会のあり方、現代の倫理的な課題について多面的・多角的に考察できるようになることを目標とする。
<b>評価の観点</b>	人間や社会に関する問題について、倫理的な見方や考え方ができるか。 倫理が扱う問題について、自己の問題として思索しているか。 先哲の思想について理解したものを、自分なりに再生産し表現できるか。 自己の探求内容を合理的・客観的に報告できるか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、レポート等の提出物、授業への参加状況など
<b>履修に当たっての留意事項</b>	自分の人生を豊かにするために、多くの知識や考え方を学ぶという姿勢で取り組んでほしい。 先哲の著作そのものや哲学史の様な難解な書物なども授業を通じて読んでいく。 日常の生活のなかで起きている様々な出来事に関心を持ち、それに対して自分の問題意識をもつようにしてほしい。 授業担当者によって、展開の順序、内容等の変更がある。

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	〈人間の心のあり方〉 1. 人間とは何か 2. 人間の心の働き 3. 青年期の発達課題	心理学の知見をもとに人間の心のあり方を学ぶ。 様々な人間の定義(先哲の人間観)を通して人間について思索する。 認知・学習・記憶・推論・感情・個性・発達など。 発達段階の中でも特に青年期が人生にとってどんな意味があるかを考える。	
5月	〈様々な人生観・倫理観・世界観Ⅰ〉 1. 人生における哲学 2. 人生における宗教	思想の源流を辿りながら哲学の扉を自ら開いてみる。 神話から哲学へ(古代ギリシアの思想: 自然哲学者・ソクラテス・プラトン ・アリストテレス・ヘレニズムの思想) ユダヤ教とキリスト教の内容、キリスト教の発展史 イスラム 啓示と戒律の宗教	中間考査
6月	3. インド思想・仏教 4. 中国思想 5. 日本の風土と人々の考え方	古代インド思想と釈迦の思想、仏教の発展史 儒教(とその発展史)・道教を中心に諸子百家の思想 日本の風土と人々の考え方。日本の古代人の考え方・古代の神話。	
7月	〈様々な人生観・倫理観・世界観Ⅱ〉 1. 近代と人間尊重の精神 2. 人間の尊厳	西洋近代において醸成された考え方や原理、世界観を学ぶ。 自己肯定の精神、ルネサンスの担い手達とヒューマニズム ルターとカルヴァンに見る宗教改革、人間の偉大と限界、モラリストたち	期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	3. 新しい学問の技法 4. 民主社会の原理 5. 自己実現と幸福 6. 幸福と功利 7. 創造的知性と幸福	自然への目と科学的なものの見方、イギリス経験論と大陸合理論 民主社会の原理。人権思想。社会契約論(ホッブス、ロック、ルソーの思想) ドイツ観念論(カント～ヘーゲル)の思想 功利主義(ベンサム、ミル)の思想 プラグマティズム(パース・ジェームス・デューイ)の思想	
10月	8. 個人と社会とのかかわり 9. 現代社会における理性の問題	人間性の回復を求めて(空想的社会主義・科学的社会主義・社会民主主義) 理性的人間像が揺らぎ始め、多様な価値観が混在している現代社会に生きる私たちの抱えている問題を思索する 実存主義(キルケゴール・ニーチェ・ハイデッガー・サルトルなど) 構造主義(ソシュール・レヴィ=ストロース・フーコーなど) その他、アーレント・ハーバーマス・ロールズ・レヴィナス・ベルグソン・ウェーバー・ヴィトゲンシュタインなどの20世紀以降の思想	中間考査
11月	〈国際社会に生きる日本人としての自覚〉 1. 仏教の伝来と隆盛 2. 儒教の日本化 3. 近世町人文化と民衆の思想 4. 国学と伝統文化 5. 西洋近代思想の受容	日本人の伝統的な考え方の源泉をさぐる。 奈良・平安仏教の特色、鎌倉時代に日本で独自に発展した仏教思想の特色。 朱子学、陽明学、古学の思想。 町人の思想、農民の思想。 神道の発展史や国学とは何か。 幕末の思想から文明開化後の啓蒙思想の展開。キリスト教の受容。 国家主義の高まりと社会主義。近代的自我の確立。近代日本哲学の成立。	
12月	〈現代の諸課題と倫理〉 1. 生命 2. 自然 3. 科学技術 4. 福祉	現代の様々な課題を、これまでの学習内容をもとに思索する。 生命倫理学 環境倫理学 科学技術と倫理の問題 ケアの倫理	期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	5. 文化と宗教 6. 戦争と平和	異文化理解・多文化共生の倫理 戦争倫理学	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年理系 必修社会選択

政治・経済

2

<b>学習目標</b>	民主社会の主権者として必要な教養を深めるために、現代における政治・経済・国際関係等についての基礎的知識を理解する。 様々な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治、経済、国際関係などについての基礎的な知識を理解しているか。</li> <li>社会の在り方に関わる情報を収集し、適切に活用できているか。</li> <li>自分の意見を表現し、他者と議論することができているか。</li> <li>よりよい社会の実現のために問題意識を持ち、主体的に取り組んでいるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査を中心に、出席状況・授業態度・提出物などを総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	主権者の視点で諸事象をとらえ、現代社会のしくみや問題について、主体的に学習する姿勢で参加する。 そのためには、日常より新聞やTV等のニュースに関心を持ち、社会の様々な出来事について考え判断する意識を持つ。 問題演習を通して、基礎力・応用力を養っていく。 授業担当者により、展開や内容等を変更する場合がある。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>法とはなにか個人や集団の権利をもとに理解する。</li> <li>世界の政治体制と比較することで民主政治の本質を理解する。</li> <li>日本国憲法は民主政治の諸原理と関連させて理解する。</li> </ul>	
5月	2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり 第3章 日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法が保障する基本的人権について社会と関連させて理解する。</li> <li>日本国憲法の平和主義を理解し、日本の安全保障について理解を深める。</li> <li>日本の統治機構や政治制度の特徴を理解し課題を考える。</li> <li>主権者としての政治参加の在り方について理解する。</li> <li>地方自治は、民主政治の基盤をなすものであることを理解する。</li> </ul>	中間考査
6月	第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の基本的な原則について、さまざまな理論をもとに理解する。</li> <li>企業のしくみについて身近な事例をもとに理解する。</li> <li>インフレやデフレについて国民生活と関連させて理解する。</li> <li>経済成長と景気変動を図る様々な指標の特色を理解する。</li> <li>財政のしくみを社会への影響に関連させて理解する。</li> </ul>	
7月	第3章 現代経済と福祉の向上 1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の日本経済の特徴を踏まえ、今後の日本経済についても理解する。</li> <li>日本の中小企業の現状を踏まえ、現代日本の経済状況について理解する。</li> <li>環境問題について理解し、世界規模の課題に対して考える。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の労使関係の特色や、勤労の権利と義務、などについて理解する。</li> <li>日本の社会保障制度の歩みや特色を理解する。</li> <li>日本の農業・食料問題について理解する</li> <li>国際法の基本的なしくみと国際機構の意義や役割を理解する。</li> </ul>	
10月	3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮 5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際政治の動向として、冷戦後の動向について理解する。</li> <li>日本の安全保障と防衛について国家間の対立をもとに理解を深める。</li> </ul>	中間考査
11月	第1章 現代の国際政治 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較優位の考え方とともに自由貿易論と保護貿易論との違いを理解する。</li> <li>変動相場制について基本的なしくみを理解する。</li> <li>世界貿易機関などの国際経済機関が果たす役割や課題について理解する。</li> </ul>	
12月	4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済統合などについて学び、これからの世界経済への影響を理解する。</li> </ul>	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	これまでの学習の振り返り	問題演習などを通じ、全範囲の振り返りを行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	世界の各地は、それぞれ固有な文化・歴史を持ち、伝統を大切に守りながら人々は生活している。一方、世界は今、急速に変化しており、一体化が進んでいる。現在、世界がどのような状況にあり、その中で私たちが考えていかなければならないことは何か。どのような課題があり、その解決のために私たちがしなければならないことは何か。それらを理解するために、地理を学ぶのである。 以上のような内容に関して、前提として2年次から選択履修していることを踏まえ、2年次の学習と継続性をもって進めていく。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を、きちんと理解できているか。</li> <li>・提出課題は、きちんとやり終えているか。</li> <li>・世界の大地形の名称・位置や、主な国の位置・首都名を理解しているか。</li> <li>・2年間の地理学習を通じて、地理的思考力が身についたかどうか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出課題、授業への取り組みの姿勢等を総合的に判断し、評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、様々な資料を用い、地理的な見方、考え方ができるようにする。</li> <li>2、教科書の掲載順序と、授業展開の順序が異なる場合がある。</li> <li>3、授業担当者によって、展開の順序、内容等に多少の変更がある場合がある。</li> <li>4、視聴覚教材を利用する場合がある。</li> </ol>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察する。</li> <li>・世界の人口問題を大観し、途上国・先進国・日本の事例を考察する。</li> </ul>	
5月	人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村落・都市の立地・発達・機能や、日本の都市の特徴を考察する。</li> <li>・世界の都市・居住問題の要因と発生のしくみを、事例を挙げ考察するとともに、問題の解決には何が必要かを考察する。</li> </ul>	中間考査
6月	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。</li> <li>・世界の民族・領土問題を大観し、民族共生についての課題を考察する。</li> </ul>	
7月	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国境と領域のきまりやさまざまな国家の分類について考察する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	現代世界の諸地域 1. 中国 2. 韓国 3. 東南アジア 4. 南アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例として世界の主な国々・地域を学習する。</li> <li>・中国は、多様な自然環境・文化、変化した産業などを学習する。</li> <li>・朝鮮半島は日本に近いが、生活・文化は異なることを学習する。</li> <li>・多様な民族と文化、ASEAN諸国の発展について学習する。</li> <li>・多様な生活・文化や、近年発展しているインドの産業について学習する。</li> </ul>	
10月	5. 西アジアと中央アジア 6. アフリカ 7. ヨーロッパ 8. ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通性の多い自然環境や文化、恵まれた資源について学習する。</li> <li>・大陸の南北で大きく異なる自然環境や、文化・産業について学習する。</li> <li>・EUによる政治経済の統合や、進んだ産業について学習する。</li> <li>・広大な国土の多様性と、近年の変化について学習する。</li> </ul>	中間考査
11月	9. アングロアメリカ 10. ラテンアメリカ 11. オセアニア 12. 日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民族・文化・自然環境の多様性と、発展した産業、世界に与える影響について学習する。</li> <li>・南北や標高で異なる自然環境・産業・文化などについて学習する。</li> <li>・多様な文化とアジア諸国との結びつきを学習する。</li> <li>・日本の地方ごとの自然、産業などについて学習する。</li> </ul>	
12月	地理学習のまとめ	大学入試問題の演習などを通じて、これまでの地理学習のまとめを行う。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	地理学習のまとめ	大学入試問題の演習などを通じて、これまでの地理学習のまとめを行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

1年必修

数学 I, 数学A

学習目標	・数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
評価の観点	・数学的活動を通して、考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 ・数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるときに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。 ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。 ・基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。
評価の方法	定期考査、レポート、学習態度等
履修に当たっての留意事項	・数学 I (4単位)と数学A(2単位)を合わせて、6単位分の内容を下記の計画に沿って行う。 ・授業の内容、繋がりを考え、必要に応じて発展的な内容も扱う。 ・数学 I および数学Aの内容が終わり次第、数学 II の内容を学習する。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1章 ◇数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式 第2章 ◇集合と命題	・多項式の四則計算や因数分解をし、目的に応じて式を適切に変形する。 ・有理数と無理数の違いを理解して無理数の四則演算の計算をする。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式を解く。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを証明に活用する。	◇数学 I (入学前課題) 課題確認テスト  ◇数学 I
5月	第3章 ◇2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次方程式と2次不等式	・2次関数のグラフの特徴を理解し、最大値や最小値を求める。 ・2次方程式の解や2次不等式の解の意味を理解し、それらを解く。	◇数学 I  中間考査
6月	第1章 ◆場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	・数え上げの原則や順列・組合せの考えを利用して場合の数を求める。 ・確率の意味や性質を理解し、様々な事象の確率を求める。	◆数学A
7月	第2章 ◆図形の性質	・平面図形(三角形の諸性質、円の諸性質、方べきの定理、作図) ・空間図形(直線と平面、オイラーの多面体定理)	期末考査 ◆数学A

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第3章 ◆数学と人間の活動	・素因数分解を用いて公約数や公倍数の求め方を理解する。 ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、1次不定方程式を解く。	◆数学A 課題確認テスト
10月	第4章 ◇図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用  第5章 ◇データの分析	・三角比の基本的概念を理解し、諸性質を利用して計算をする。 ・正弦定理・余弦定理を理解し、それらを用いて図形の計量を求める。  ・統計の考えを理解し、データの整理・分析により傾向を把握する。	◇数学 I  中間考査 ◇数学 I
11月	第1章 ◎式と証明 第1節 式と計算  第2節 等式と不等式の証明	・整式の乗法・除法、分数式の四則計算及び恒等式の意味を理解する。  ・等式や不等式を基本的な性質や実数の性質を用いて証明する。	◎数学 II
12月	第2章 ◎複素数と方程式	・複素数の四則演算の計算や、2次方程式の解の諸性質を理解する。	◎数学 II 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第3章 ◎図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	・座標や式を用いて、平面上の点や直線の方程式の性質を理解する。 ・座標や式を用いて、円の方程式や円と直線の関係などを理解する。 ・座標平面上において、点の軌跡や不等式の表す領域を理解する。	◎数学 II 課題確認テスト
2月	第4章 ◎三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	・弧度法を用いて三角関数のグラフの特徴や基本的性質を理解する。  ・三角関数の加法定理を理解し様々な問題に応用する。	◎数学 II
3月			学年末考査

学習目標	・数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
評価の観点	・数学的考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしたか。 ・数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り発展的に考えられたか。 ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できたか。 ・基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けられたか。
評価の方法	・定期考査、レポート、学習態度等
履修に当たっての留意事項	・数学Ⅱ(3単位)と数学B(1単位)と数学C(1単位)を合わせて、5単位の内容を下記の計画に沿って行う。 ・授業の内容、繋がりを考え、必要に応じて発展的な内容も扱う。

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第5章 ◇指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	指数関数とそのグラフの性質を理解し応用する。 対数関数とそのグラフの性質を理解し応用する。	◇数学Ⅱ 課題確認テスト
5月	第6章 ◇微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 導関数の応用	微分の定義やその性質を理解し導関数を求める。 導関数を接線や関数の増減に応用する。	◇数学Ⅱ 中間考査
6月	第3節 積分法	積分の定義やその性質を理解し積分計算を行う。	◇数学Ⅱ
7月			期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第1章 ◆数列 第1節 数列とその和 第2節 数学的帰納法	数列を定義し数列の一般項・数列の和やその性質を理解する。 数列の性質を利用して漸化式や数学的帰納法に応用する。	◆数学B 課題確認テスト
10月	第2章 ◆統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	確率分布の概念を理解し、統計的な見方、考え方を伸ばす。 統計的に推測する手法を理解し、応用する。	◆数学B 中間考査
11月	第1章 ◎平面上のベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平行四辺形 第2章 ◎空間のベクトル	平面上のベクトルとその性質を理解する。 ベクトルの性質を利用して平面図形へ応用する。 空間内のベクトルとその性質を理解し空間図形へ応用する。	◎数学C
12月			期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数ⅡBCの総復習(共通テストの対策)を行う。	◎数学C 課題確認テスト
2月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数ⅡBCの総復習(共通テストの対策)を行う。	
3月			学年末考査

学習目標	・数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
評価の観点	・数学的考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしたか。 ・数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、論理的に考えるときにも思考の過程を振り返り発展的に考えられたか。 ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できたか。 ・基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けられたか。
評価の方法	・定期考査、レポート、学習態度等
履修に当たっての留意事項	・数学Ⅱ(4単位)と数学B(1単位)と数学C(1単位)を合わせて、6単位の内容を下記の計画に沿って行う。 ・授業の内容、繋がりを考え、必要に応じて発展的な内容も扱う。 ・学習進度を速め「数学Ⅲ」の一部も学習する。

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第5章 ◇指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 ◇微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	指数関数とそのグラフの性質を理解し応用する。 対数関数とそのグラフの性質を理解し応用する。 微分の定義やその性質を理解し導関数を求める。	◇数学Ⅱ 課題確認テスト ◇数学Ⅱ
5月	第2節 導関数の応用	導関数を接線や関数の増減に応用する。	中間考査
6月	第3節 積分法 第1章 ◆数列 第1節 数列とその和 第2節 数学的帰納法	積分の定義やその性質を理解し積分計算を行う。 数列を定義し数列の一般項・数列の和やその性質を理解する。 数列の性質を利用して漸化式や数学的帰納法に応用する。	◇数学Ⅱ ◆数学B
7月			期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第2章 ◆統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 第1章 ◎平面上のベクトル	確率分布の概念を理解し、統計的な見方、考え方を伸ばす。 統計的に推測する手法を理解し、応用する。	◆数学B 課題確認テスト ◎数学C
10月	第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平行四辺形 第2章 ◎空間のベクトル	平面上のベクトルとその性質を理解する。 ベクトルの性質を利用して平面図形へ応用する。 空間内のベクトルとその性質を理解し空間図形へ応用する。	中間考査 ◎数学C
11月	第3章 ◎複素数平面 第4章 ◎式と曲線 第1節 2次曲線	複素数を複素数平面上で表し、図形的な性質を理解する。 方程式の表す曲線を図示し基本的な性質を理解する。	◎数学C ◎数学C
12月	第2節 媒介変数表示と極座標	曲線を媒介変数や極座標を用いて表し、その性質を理解する。	期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第1章 ◎関数 第2章 ◎極限	さまざまな関数の性質やグラフを学ぶ。	◎数学Ⅲ 課題確認テスト ◎数学Ⅲ
2月	第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	極限の概念を導入し、数列の極限について理解する。 極限の概念を関数値の極限の考察に活用できるようにする。	
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。</li> <li>・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> <li>・ 様々な事象を数学的に考察し処理する能力を身に付け、数学的思考力の育成を図る。</li> <li>・ 数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、的確に応用できる能力を身に付ける。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な概念・定義を理解し、数学的事象を考察できるか。</li> <li>・ 各定理・公式・法則を的確に応用し、様々な数学的問題に対応できるか。</li> <li>・ 数学的事象を処理する過程において、論理的な思考ができるか。</li> <li>・ 様々な場面において数学的な思考を的確に応用できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査、レポート、学習態度等</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学 I、A の内容の学習を演習形式中心に行う。</li> <li>・ 演習の授業前半は生徒各自が問題を解き、後半に解答の解説を行う。</li> <li>・ 大学入学共通テスト程度の問題演習を行う。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月～7月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数 IA の総復習（共通テストの対策）を行う。	中間考査 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月～12月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数 IA の総復習（共通テストの対策）を行う。	中間考査 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	◇選択講座	個々の状況・ニーズに合わせた選択講座を実施する。 ・ 問題演習などを通じ、数 IA の総復習（共通テストの対策）を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1, 2年で学習した内容をさらに深化し、より高度なレベルの内容に取り組む。</li> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> <li>様々な事象を数学的に考察し処理する能力を身に付け、数学的思考力の育成を図る。</li> <li>数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、的確に応用できる能力を身に付ける。</li> <li>記述試験に対応できる能力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な概念・定義を理解し、数学的事象を考察できるか。</li> <li>各定理・公式・法則を的確に応用し、様々な数学的問題に対応できるか。</li> <li>数学的事象を処理する過程において、論理的な思考ができるか。</li> <li>様々な場面において数学的な思考を的確に応用できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、レポート、学習態度等</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学Bの範囲に加え、数学Ⅰ、A、Ⅱ、Cの内容の入試対策演習を行う。</li> <li>予め指定された問題を生徒が解答して発表、教員が補足説明する形式で行う。</li> <li>授業時間内に問題を解く時間は取らないので、かなりの予習が必要となる。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月～7月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数ⅠAⅡBCの総復習を行う。	中間考査 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月～12月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数ⅠAⅡBCの総復習を行う。	中間考査 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	◇選択講座	個々の状況・ニーズに合わせた選択講座を実施する。 ・統一的・発展的な問題演習を通じ、数ⅠAⅡBCの分野の総復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。</li> <li>・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> <li>・様々な事象を数学的に考察し処理する能力を身に付け、数学的思考力の育成を図る。</li> <li>・数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、的確に応用できる能力を身に付ける。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念・定義を理解し、数学的事象を考察できるか。</li> <li>・各定理・公式・法則を的確に応用し、様々な数学的問題に対応できるか。</li> <li>・数学的事象を処理する過程において、論理的な思考ができるか。</li> <li>・様々な場面において数学的な思考を的確に応用できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、レポート、学習態度等</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Cの範囲に加え、数学Ⅰ、A、Ⅱ、Bの内容の学習を演習形式中心に行う。</li> <li>・演習の授業前半は生徒各自が問題を解き、後半に解答の解説を行う。</li> <li>・大学入学共通テスト程度の問題演習を行う。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月～7月	◇問題演習	問題演習などを通じ、共通テストの対策を行う。	中間考査 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月～12月	◇問題演習	問題演習などを通じ、共通テストの対策を行う。	中間考査 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	◇選択講座	個々の状況・ニーズに合わせた選択講座を実施する。 ・統一的・発展的な問題演習を通じ、数ⅠAⅡBCの分野の総復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極限、微分法、積分法、ベクトル、複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図る。</li> <li>・様々な事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> <li>・入試レベルの高度な問題に対応できる能力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念・定義を理解し、数学的事象を考察できるか。</li> <li>・各定理・公式・法則を的確に応用し、様々な数学的問題に対応できるか。</li> <li>・数学的事象を処理する過程において、論理的な思考ができるか。</li> <li>・様々な場面において数学的な思考を的確に応用できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、レポート、学習態度等</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容、繋がりを考え、必要に応じて発展的な内容も扱う。</li> <li>・2学期以降は数学Ⅲ、数学Cの範囲に加え、数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの内容の演習を行う。</li> <li>・数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの演習では、大学入学共通テスト程度の問題演習を行う。</li> <li>・数学ⅢCの演習では、予め指定された問題を生徒が解答し発表する形式で行う。</li> <li>・数学ⅢCの演習では、授業時間内に問題を解く時間は取らないので、かなりの予習が必要となる。</li> </ul>

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第3章◇微分法 1微分係数と導関数 2導関数の計算 3いろいろな関数の導関数 4第n次導関数 5関数のいろいろな表し方と導関数	<b>微分の定義を確認し様々な関数の導関数を求める</b> ・積・商の導関数 合成関数の導関数 逆関数の導関数 ・三角関数の導関数 指数関数の導関数 対数関数の導関数 ・第n次導関数、高次導関数 ・媒介変数表示と導関数	◇数学Ⅲ
	第4章◇微分法的应用 1接線と法線 2平均値の定理	<b>導関数を応用し関数の増加減少を調べグラフを書く</b> ・接線、法線 ・平均値の定理	◇数学Ⅲ
5月	3関数の値の変化 4関数の最大最小 5関数のグラフ 6方程式・不等式への応用	・関数の増加・減少 極大・極小 ・関数の最大・最小 ・上に凸、下に凸、変曲点 曲線のグラフ ・方程式・不等式への応用	中間考査
	7速度と加速度	・速度、加速度	
6月	8近似値 第5章◇積分法とその応用 1不定積分とその基本性質 2置換積分法 3部分積分法 4いろいろな関数の不定積分 5定積分とその基本性質 6定積分の置換積分法 7部分積分	<b>不定積分を定義し様々な積分法を学習する</b> ・不定積分、積分定数、三角関数・指数関数の不定積分 ・置換積分 部分積分 部分分数分解 ・いろいろな関数の不定積分 ・定積分 ・定積分の置換積分 定積分の部分積分	◇数学Ⅲ
	8定積分の種々の問題 第6章◇積分法的应用 9面積 10体積	・関数の定積分 定積分の和 定積分と不等式 ・定積分を使った求積 立体の体積 回転体の体積	◇数学Ⅲ 期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月~12月	◇問題演習	クラス内展開授業を活かし、下記の内容をバランスよく実施する。 ・問題演習などを通じ、数ⅠAⅡBCの総復習(共通テストの対策)を行う。 ・問題演習などを通じ、全分野の総復習(2次試験記述式の対策)を行う。	中間考査 期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	◇選択講座	個々の状況・ニーズに合わせた選択講座を実施する。 ・統一的・発展的な問題演習を通じ、全分野の総復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1, 2年で学習した内容をさらに深化し、より高度なレベルの内容に取り組む。</li> <li>・ 理系国公立大学・私立大学の入試にも対応できる能力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な概念・定義を踏まえ、より高度な数学的概念に応用できるか。</li> <li>・ 各定理・公式・法則を的確に応用し、より複雑な数学的事象に対応できるか。</li> <li>・ 数学的事象を処理する過程において、論理的かつ明確に思考できるか。</li> <li>・ 様々な場面において数学的な思考を的確に応用できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査、レポート、学習態度等</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学Bの範囲に加え、数学I、A、II、Cの内容の入試対策演習を行う。</li> <li>・ 予め指定された問題を生徒が解答して発表、教員が補足説明する形式で行う。</li> <li>・ 授業時間内に問題を解く時間は取らないので、かなりの予習が必要になる。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月～7月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数I A II BCの総復習を行う。	中間考査 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月～12月	◇問題演習	問題演習などを通じ、数I A II BCの総復習を行う。	中間考査 期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	◇選択講座	個々の状況・ニーズに合わせた選択講座を実施する。 ・ 統一的・発展的な問題演習を通じ、全分野の総復習を行う。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	物質の基本粒子である原子の構造、原子間の結合及び物質を構成している粒子の量的関係を理解する。 化学反応を理解し化学反応式、関係する物質の量的関係を理解する。 各種化学反応を理解する。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子の構造について理解しているか。</li> <li>・粒子の相対質量を理解しているか。</li> <li>・化学反応を理解しているか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	授業の理解を確認するための定期考査を重視します。その他に、提出物等も参考にします。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元素記号等理解以前の項目があります。</li> <li>・化学の計算は、代入と比例計算が主になります。</li> <li>・演習時間が少ないので、副教材を利用して各自行ってください。</li> <li>・実験を行います。結果の整理や考察する力を発揮してください。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	物質の構成と化学結合 純物質と混合物 物質とその成分	基本的用語を理解する。 物質の分類、分離精製法を理解する。 成分元素の検出やその方法について理解する。	元素記号の確認  混合物の分離実験
5月	物質の三態と熱運動 三態変化 物質の構成粒子 原子とその構造 イオン	粒子の熱運動と状態の関係を理解する。 熱の出入り、絶対温度を理解する。  原子の構造、電子配置等を理解する。 イオンと電子配置の関係を理解する。	状態変化と温度の関係   中間考査
6月	周期表 粒子の結合 イオン結合 分子と共有結合 分子の極性と電気陰性度 共有結合でできた物質	元素の分類や特徴を理解する。  イオンからなる組成式や物質名を理解する。 物質を電子式・構造式を用いて理解する。 分子の構造と極性を理解する。 共有結合でできた物質の性質を理解する。	周期表の概要を覚える  イオン式、組成式を覚える 電子式・構造式 極性分子と無極性分子 分子結晶・共有結合の結晶
7月	金属結合と金属	金属の特徴を理解する。	金属結晶 期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	物質の変化 原子量・分子量・式量 物質質量 物質質量と化学反応式 溶液の濃度	相対質量を理解する。 物質質量の定義を理解する。 相対質量を理解し、物質質量による量的関係を理解する。 物質質量と濃度の関係を理解する。	比例計算 アボガドロの法則 物質質量の計算 濃度の計算
10月	化学反応式と物質質量 酸と塩基の反応	化学変化を化学反応式で表し、量的関係を理解する。  酸と塩基の定義や性質について理解する。	化学反応式 中間考査
11月	水の電離と水溶液のpH 中和反応	電離度や液性について理解する。 酸・塩基の中和反応における量的関係を理解する。	中和滴定実験
12月	塩	塩の加水分解を理解する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	酸化還元反応 酸化と還元 酸化・還元と酸化数 酸化剤・還元剤	酸化・還元の定義、電子の動きを理解する。 酸化数を理解し、電子を用いたイオン反応式を活用する。 酸化還元反応の量的関係を理解する。	
2月	金属のイオン化傾向 酸化還元反応と日常生活	イオン化傾向と金属の反応性の関係について理解する。 電池の仕組みを理解する。	イオン化傾向を覚える 酸化還元滴定実験
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対しての興味・関心を高める。</li> <li>観察、実験を通して生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>実験・実習を通して、生物現象を科学的に分析する力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物現象の基本的概念や生物学的に探求する方法を習得しているか。</li> <li>実験・実習を通して、基本的な生物現象を科学的に理解する方法を習得しているか。</li> <li>「探究活動」を通し、仮説の設定、実験の工夫、結果の分析、考察等ができているか。</li> <li>実験器具の取り扱いやデータの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、授業態度 等
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物現象を分子レベルで扱うので、中学校で学んだ理科の生物分野は勿論、化学分野も必要に応じて復習しておく必要がある。</li> <li>名称や語句を羅列的に覚えるのではなく、生物現象を体系的に理解していくことが必要である。</li> <li>身近な生物や生物現象について、日頃から学んだこととの関連を深く考察する態度が重要である。</li> <li>復習は、副教材等を使って継続的かつ積極的に行うようにする。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物が共通に持つ特徴をあげることによって、「生きている」とはどのようなことであるか理解する。</li> <li>細胞の構造を理解し、水のほか、タンパク質、炭水化物、脂質、核酸などの有機物を含んでいることを理解する。</li> </ul>	
5月	2章 生物とエネルギー  2編 遺伝子とのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞内では酵素によって分解や合成などの代謝が行われることや、ATPを利用したエネルギー変換を伴うことを理解する。</li> <li>光合成と呼吸で有機物にエネルギーが蓄えられることを理解する。</li> <li>葉緑体とミトコンドリアが原核生物に由来することを理解する。</li> <li>遺伝子の本体がDNAであることを確認する。</li> </ul>	<観察実験①> マイクロメーター  中間考査
6月	1章 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの二重らせん構造、塩基間の相補性について理解する。</li> <li>DNAの構造が遺伝情報を担える特徴を持っていることを理解する。</li> <li>DNAの塩基配列が遺伝情報であることを理解する。</li> <li>体細胞分裂の過程について染色体の動きを追いながら理解する。</li> <li>体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。</li> </ul>	<観察実験②> 体細胞分裂の観察
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞周期の間期にDNAが複製され、分裂期にDNAが等しく分配され、どの細胞でもDNAの量と質が均一になることを理解する。</li> <li>塩基の配列を正確に複製する方法について理解する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	2章 遺伝情報とタンパク質  3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンパク質合成に際して、DNAの塩基配列がアミノ酸配列に置き換えられることを理解する。</li> <li>個体の部位に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。</li> <li>恒常性の維持に循環系・自律神経系・内分泌系が関わることを理解する。</li> <li>血液の組成とはたらきについて理解する。</li> </ul>	<観察実験③> た腺染色体の観察
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>肝臓と腎臓の機能について理解する。</li> <li>自律神経系の分布とはたらきを理解する。</li> <li>交感神経と副交感神経が拮抗的にはたらいっていることを理解する。</li> <li>自律神経系による体内環境の維持について理解する。</li> <li>ホルモン分泌量の調節は、フィードバック調節であることを理解する。</li> <li>血糖値が、自律神経やホルモンにより保たれていることを理解する。</li> </ul>	中間考査 <観察実験④> 腎臓の解剖
11月	2章 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然免疫と適応免疫の概略を理解する。</li> <li>適応免疫の特質として、記憶細胞による二次応答が存在することを学ぶ</li> <li>細胞性免疫と体液性免疫のしくみを理解する。</li> <li>免疫機能の応用として、予防接種について理解する。</li> </ul>	<観察実験⑤> 血液凝固
12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫機能の応用として、抗血清療法について理解する。</li> <li>アレルギーについて理解し花粉症などの身近な疾患例を知る。</li> <li>免疫システムがはたらかなくなるエイズについて理解する。</li> </ul>	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系が生物の集団と非生物的環境から形成されることを理解する。</li> <li>生態系の多様な生物と、その多様な役割とを理解する。</li> <li>陸上には見られる様々な植生が、長期的には変化することを理解する。</li> <li>森林生態系を例にとり、その植生が変化する遷移の過程を理解する。</li> </ul>	
2月	2章 生態系と生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温と降水量の違いによるバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>植物を中心とした世界と日本のバイオームについて理解するとともに、緯度と標高に応じたバイオームの変化についても理解する。</li> <li>生態系において物質が循環すること、及びそれに伴ってエネルギーが循環することを理解する。</li> </ul>	
3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。</li> </ul>	学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の自然にある物理現象に興味を持ち、探究する態度を持つ。</li> <li>・ 物理現象の基本原理・法則を理解する。</li> <li>・ 基礎的な物理的現象に対して、基本法則をあてはめて適切に数値処理できる力を養う。</li> <li>・ 実験を通して、各種の計測器具を正しく扱い、データの処理を適切に行えるようにする。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さまざまな物理現象の原理・法則を理解できているか。</li> <li>・ 基本的な物理現象を、原理・法則を応用して数値的に処理できるか。</li> <li>・ 計測器具を正しく扱えるか。</li> <li>・ データの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、実験レポート、授業に取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結果だけを覚えるのではなく、物理法則の意義や、そこにあらわれる公式の成り立ちについて理解すること。</li> <li>・ 身近な物理現象について、日頃から学んだこととの関連を深く考察する態度が重要。</li> <li>・ 三角関数、ベクトルなどの基本的な数学知識が必要。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○物体の運動 ・ 物体の運動の表し方 ・ 速さ、速度 ・ 加速度 ・ 等加速度運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物体の運動を表す物理量を定義し、等加速度運動の式を導く</li> <li>・ 平面内の運動について、速度・加速度の成分の扱い</li> <li>・ 加速度の定義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な数学基礎 三角関数・ベクトル</li> </ul>
5月	・ 落下運動 ・ 鉛直投げ上げ、投げ下ろし ○力のはたらきとつり合い ・ 力のつりあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由落下運動について理解する</li> <li>・ つりあったり、物体を回転させたりする力のはたらきを理解する</li> </ul>	○中間考査
6月	・ 作用・反作用の法則 ・ いろいろな力 ○運動の法則 ・ 運動の3法則 ・ 運動方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作用、反作用について理解する</li> <li>・ 物体の直線運動を中心に、力と運動に関する3法則について理解する</li> <li>・ 運動の法則について学習し、力と質量の意味を理解する</li> </ul>	
7月	・ 運動方程式の利用 ・ 抵抗を受ける運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動方程式の検証実験</li> <li>○期末考査</li> </ul>

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○仕事と力学的エネルギー ・ 運動エネルギー ・ 位置エネルギー ・ 保存力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事とエネルギーの物理的定義を理解する</li> <li>・ 仕事の大きさ、仕事率の大きさを求める</li> <li>・ 保存力の性質と位置エネルギーの存在との関係の理解する</li> </ul>	
10月	・ 力学的エネルギー保存則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 力学的エネルギー保存の法則の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 力学的エネルギー保存の実験</li> <li>○中間考査</li> </ul>
11月	○熱とエネルギー ・ 熱と温度 ・ 比熱と熱容量 ・ 気体の変化と熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温度と熱との関係を理解する</li> <li>・ 熱量保存の法則による熱量の計算</li> </ul>	
12月	・ エネルギーの変換と保存 ・ 熱力学第一法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろなエネルギーと熱の利用について学習する</li> </ul>	○期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○波の性質 ・ 波の表し方とその要素 ・ 波の重ね合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな波に共通な性質について学習する</li> <li>・ 合成波・定常波の作図ができるようにする</li> </ul>	
2月	○音波 ・ 音の速さと性質 ・ 固有振動 ○電気 ・ 静電気と電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音の速さと様々な性質の関係と波としての音の性質の理解する</li> <li>・ 弦の固有振動と気柱の共鳴について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気柱共鳴の実験</li> </ul>
3月	・ 電流と磁場 ・ エネルギーとその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弦の固有振動と気柱の共鳴について理解する</li> </ul>	○学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固体地球、宇宙、気象現象について、基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>・ 地球環境、自然災害など日常生活や社会に関わるテーマを通して、地球科学に対する興味・関心を高める。</li> <li>・ 宇宙や地球物理、生命の歴史などのテーマを通して地球科学に対する興味、関心を高める。</li> <li>・ 観察、実験を通して科学に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。また、実験・実習を通して、科学的に分析する力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固体地球、宇宙、気象の基本的概念や科学的に探究する方法を習得しているか。</li> <li>・ 実験・実習を通して、基本的な地学的現象を科学的に理解する方法を習得しているか。</li> <li>・ 「探究活動」を通し、仮説の設定、実験の工夫、結果の分析、考察等ができているか。</li> <li>・ 実験器具の取り扱いやデータの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査 実験レポート等
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地学は理科のあらゆる分野と体系的に結びついているので、中学校で学んだ理科の他分野についても必要に応じて復習する。</li> <li>・ 復習は、副教材等を使って積極的に行うようにする。</li> <li>・ 名称や語句、数値等を覚えるのみではなく、その仕組みについて理解していくことが重要である。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造	・ 地球の形と大きさ、地球の構造について学習する。	
5月	第2章 プレートの運動 第3章 地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレートテクトニクスと地殻変動、プレート運動のしかたについて学習する。</li> <li>・ 地震、地震の分布、地震災害について学習する。</li> </ul>	中間考査
6月	第4章 火山	・ 火山活動、火成岩、火山がもたらす恵みと災害について学習する。	
7月	第4章 火山	・ 火山活動、火成岩、火山がもたらす恵みと災害について学習する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成	・ 堆積作用と堆積岩、地層の形成について学習する。	
10月	第2章 古生物の変遷と地球環境	・ 化石と地質時代の区分、古生物の変遷について学習する。	中間考査
11月	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大気の構造、地球全体の熱収支について学習する。</li> <li>・ 大気の大循環、海水の運動、日本の天気と気象災害について学習する。</li> </ul>	
12月	第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と日本の自然環境	・ 気候の自然変動、人間活動による環境変化、自然災害について学習する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽	・ 太陽系の天体の特徴、太陽の構造・エネルギー源、惑星の形成過程などについて学習する。	
2月	第2章 宇宙の誕生	・ 銀河系の構造、宇宙の誕生から現在までに起こった出来事について学習する。	
3月	第2章 宇宙の誕生	・ 銀河系の構造、宇宙の誕生から現在までに起こった出来事について学習する。	学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の自然にある物理現象に興味を持ち、探究する態度を持つ。</li> <li>・物理現象の基本原則・法則を理解する。</li> <li>・基礎的な物理的現象に対して、基本法則をあてはめて適切に数値処理できる力を養う。</li> <li>・実験を通して、各種の計測器具を正しく扱い、データの処理を適切に行えるようにする。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな物理現象の原理・法則を理解できているか。</li> <li>・基本的な物理現象を、原理・法則を応用して数理的に処理できるか。</li> <li>・計測器具を正しく扱えるか。</li> <li>・データの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、実験レポート、授業に取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習単元で(発展)とあるところは3年次科目「物理」の内容を含む。</li> <li>・結果だけを覚えるのではなく、物理法則の意義や、そこにあらわれる公式の成り立ちについて理解すること。</li> <li>・身近な物理現象について、日頃から学んだこととの関連を深く考察する態度が重要。</li> <li>・三角関数、ベクトルなどの基本的な数学知識が必要。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物体の運動</li> <li>・物体の運動の表し方</li> <li>・速さ、速度</li> <li>・加速度</li> <li>・等加速度運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物体の運動を表す物理量を定義し、等加速度運動の式を導く</li> <li>・平面内の運動について、速度・加速度の成分の扱い</li> <li>・加速度の定義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な数学基礎</li> <li>三角関数・ベクトル</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落下運動</li> <li>・鉛直投げ上げ、投げ下ろし</li> <li>・斜方投射、水平投射（発展）</li> <li>○力のはたらきとつり合い</li> <li>・力、力の合成・分解</li> <li>・さまざまな力</li> <li>・力のつりあい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由落下運動について理解する</li> <li>・水平投射、斜方投射について理解する</li> <li>・つりあったり、物体を回転させたりする力のはたらきを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重力加速度測定実験</li> <li>○中間考査</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作用・反作用の法則</li> <li>・いろいろな力</li> <li>○運動の法則</li> <li>・運動の3法則</li> <li>・運動方程式とその利用</li> <li>・抵抗を受ける運動</li> <li>○剛体にはたらく力（発展）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作用、反作用について理解する</li> <li>・物体の直線運動を中心に、力と運動に関する3法則について理解する</li> <li>・運動の法則について学習し、力と質量の意味を理解する</li> <li>・静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力について理解する</li> <li>・剛体にはたらく力のモーメントの理解する</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事と力学的エネルギー</li> <li>・仕事と仕事の原理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事とエネルギーの定義を理解する</li> <li>・仕事の大きさ、仕事率の大きさを求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○期末考査</li> <li>・運動方程式の検証実験</li> </ul>

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動エネルギー</li> <li>・位置エネルギーと保存力</li> <li>・力学的エネルギー保存則</li> <li>○熱とエネルギー</li> <li>・熱と温度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存力の性質と位置エネルギーの存在との関係を理解する</li> <li>・力学的エネルギー保存の法則の使い方</li> <li>・熱が熱運動によるエネルギーであり、そこから温度が定義されることを理解する</li> <li>・比熱・熱容量の概念を用いて、熱量保存の法則を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力学的エネルギー保存の実験</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平面の運動と運動量</li> <li>・平面の運動</li> <li>・運動量と力積</li> <li>・運動量の保存</li> <li>・反発係数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変位、速度、加速度、力の2次元空間での定義を理解する</li> <li>・力積により運動量の変化が生じることを、運動方程式から導ける</li> <li>・内力のみの場合、運動量の総和が変化の前後で保存することを理解する</li> <li>・反発係数で衝突が分類でき、衝突による力学的エネルギーの損失が導ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中間考査</li> <li>・運動量保存の実験</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○円運動と単振動（発展）</li> <li>・等速円運動</li> <li>・単振動</li> <li>・慣性力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円運動や往復運動など周期的な運動をする現象について学習する</li> <li>・円運動を表す量の定義をもとに、等速円運動を引き起こす力の性質を理解する</li> <li>・単振動が円運動から定義され、復元力が導けることを理解する</li> <li>・復元力から角振動数が導け、周期等単振動の諸量が求められることを理解する</li> <li>・非慣性系では、座標系の加速度による慣性力の導入が必要であることを理解する</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○波の性質</li> <li>・波の表し方とその要素</li> <li>・波の式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな波に共通な性質について学習する</li> <li>・波長、振幅、周期等、波を表現する物理量の定義を理解する</li> <li>・波の運動を、波形全体の動きと媒質各点の運動の2パターンで理解する</li> <li>・媒質各点が単振動することをもとに、波の式を導くことのできることを理解する</li> </ul>	○期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重ね合わせの原理</li> <li>・反射</li> <li>・波の干渉・反射・屈折・回折</li> <li>○音波</li> <li>・音の速さ・波としての性質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波の独立性から重ね合わせの原理を理解し、合成波を作図、波の式で表現できる</li> <li>・反射のエネルギー保存の観点での理解、自由端・固定端による反射波が表現できる</li> <li>・1次元の波の干渉として定常波を理解し、2次元の波に生じる現象がホイヘンスの原理で理解する</li> <li>・音の速さが温度で表せること、音の波としての性質、反射、屈折、干渉を理解する</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固有振動</li> <li>・ドップラー効果（発展）</li> <li>○光波</li> <li>・光の性質</li> <li>・光の回折と干渉</li> <li>・レンズと鏡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弦の固有振動と気柱の共鳴について理解する</li> <li>・音源や観測者の運動が音の聞こえ方に及ぼす影響について理解する</li> <li>・光速の測定と光速不変の原理を学ぶ</li> <li>・屈折の法則を絶対屈折率で表現し直し、浮き上がりや、全反射の仕組みを理解する</li> <li>・ヤングの実験や回折格子による分光が、光の回折による干渉で生じ、干渉条件を定式化できることを理解する。また薄膜の干渉が光路差および反射による位相ずれで理解できることを学ぶ</li> <li>・レンズの公式が屈折の法則から導けること、凹凸面鏡の公式が反射の法則から導けることを学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気柱共鳴の実験</li> </ul>
3月			○学年末考査

<b>学習目標</b>	粒子の結合を理解する。 気体の諸法則及び溶解のメカニズムと溶液の性質を理解する。 化学反応と化学平衡を理解する。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原理や法則を理解しているか。</li> <li>・物質の概念を元に、反応における量的関係を教的処理できるか。</li> <li>・実験において器具の扱い、操作、測定、観察ができるか。</li> <li>・実験における現象を既習の内容から考察できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	授業の理解を確認するために定期考査を重視します。その他に提出物等も参考にします。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価電子数等を理解する必要があります。化合物の名称と化学式を理解する必要があります。</li> <li>・化学の計算は、代入と比例計算が主になります。演習時間が少ないので、副教材等を利用して各自で行ってください。</li> <li>・実験を行います。結果の整理や考察する力を発揮して下さい。</li> <li>・教科書レベルにとどまらない内容を行います。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	電池・電気分解 原子とイオン、イオン結合と結晶 分子と共有結合、共有結合の結晶	イオン化傾向と電池、電気分解、ファラデーの法則を理解する。 結晶構造の繰り返し単位である単位格子を理解する	電気分解の実験
5月	金属結合と金属 粒子の熱運動 分子間力と三態変化 状態変化とエネルギー	物質の熱運動と粒子間にはたらく力の関係を理解する。	中間考査
6月	物質の種類と物理的性質 気体の体積、気体の状態方程式 混合気体の圧力 実在気体	気体の体積、圧力、温度の関係、気体の状態方程式を理解する。 理想気体の概念を理解する。	
7月	気体の溶解度	ヘンリーの法則を理解する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	希薄溶液の性質 コロイド溶液	蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧を理解する。 コロイド溶液を理解する。	コロイドの実験
10月	化学反応と熱、光 化学反応の速さとしくみ 反応条件と反応速度	エンタルピー、ヘスの法則、結合エネルギーなどについて理解する。 反応条件を理解する。 活性化状態を理解する。	中間考査
11月	可逆反応と化学平衡、平衡の変化 電解質水溶液の化学平衡	正反応、逆反応を理解する。化学平衡を理解する。 ルシャトリエの平衡原理を理解する。 電離定数、水のイオン積、pHを理解する。	
12月	電解質水溶液の化学平衡 難溶性塩の水溶液中の平衡	塩の加水分解、緩衝液、溶解度積を理解する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	難溶性塩の水溶液中の平衡 無機物質 非金属元素	溶解度積について理解する。 元素の分類と周期律について理解する。 各元素の単体と化合物の性質を理解する。	
2月	金属元素(I) 典型元素 金属元素(II) 遷移元素	各元素の単体と化合物の性質を理解する。	金属イオンの反応性の実験
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固体地球、宇宙、気象現象について、基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>・地球環境、自然災害など日常生活や社会に関わるテーマを通して、地球科学に対する興味・関心を高める。</li> <li>・宇宙や地球物理、生命の歴史などのテーマを通して地球科学に対する興味、関心を高める。</li> <li>・観察、実験を通して科学に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。また、実験・実習を通して、科学的に分析する力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固体地球、宇宙、気象の基本的概念や科学的に探究する方法を習得しているか。</li> <li>・実験・実習を通して、基本的な地学的現象を科学的に理解する方法を習得しているか。</li> <li>・「探究活動」を通し、仮説の設定、実験の工夫、結果の分析、考察等ができているか。</li> <li>・実験器具の取り扱いやデータの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査 実験レポート等
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地学は理科のあらゆる分野と体系的に結びついているので、中学校で学んだ理科の他分野についても必要に応じて復習する。</li> <li>・復習は、副教材等を使って積極的に行うようにする。</li> <li>・名称や語句、数値等を覚えるのみではなく、その仕組みについて理解していくことが重要である。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造	・地球の形と大きさ、地球の構造について学習する。	
5月	第2章 プレートの運動 第3章 地震	・プレートテクトニクスと地殻変動、プレート運動のしかたについて学習する。 ・地震、地震の分布、地震災害について学習する。	中間考査
6月	第4章 火山	・火山活動、火成岩、火山がもたらす恵みと災害について学習する。	
7月	第4章 火山	・火山活動、火成岩、火山がもたらす恵みと災害について学習する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成	・堆積作用と堆積岩、地層の形成について学習する。	
10月	第2章 古生物の変遷と地球環境	・化石と地質時代の区分、古生物の変遷について学習する。	中間考査
11月	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海水の運動 第4編 地球の環境 第1章 地球の環境と日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気の構造、地球全体の熱収支について学習する。</li> <li>・大気の大循環、海水の運動、日本の天気と気象災害について学習する。</li> <li>・気候の自然変動、人間活動による環境変化、自然災害について学習する。</li> </ul>	
12月	第1章 地球の環境と日本の自然環境	・気候の自然変動、人間活動による環境変化、自然災害について学習する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽	・太陽系の天体の特徴、太陽の構造・エネルギー源、惑星の形成過程などについて学習する。	
2月	第2章 宇宙の誕生	・銀河系の構造、宇宙の誕生から現在までに起こった出来事について学習する。	
3月	第2章 宇宙の誕生	・銀河系の構造、宇宙の誕生から現在までに起こった出来事について学習する。	学年末考査

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の自然にある物理現象に興味を持ち、探究する態度を持つ。</li> <li>・ 物理現象の基本原理・法則を理解する。</li> <li>・ 基礎的な物理的現象に対して、基本法則をあてはめて適切に数値処理できる力を養う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物理現象の基本原理・法則を理解できているかどうか。</li> <li>・ 基礎的な物理的現象に対して、基本法則をあてはめて適切に数値処理できるかどうか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、課題レポート、授業に取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結果だけを覚えるのではなく、物理法則の意義や、そこにあらわれる公式の成り立ちについて理解する。</li> <li>・ 復習では副教材等を使って、計算練習を多くこなすこと。</li> <li>・ 身近な物理現象について、日頃から学んだこととの関連を深く考察する態度が重要。</li> <li>・ 三角関数、ベクトルなどの基本的な数学知識が必要。</li> <li>・ 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎のうち2科目を選択するものとする。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<b>力と運動</b> 1. 物体の運動	2学年で学習した内容を整理・復習し、副教材を通して、実践的な問題を解くことにより、今まで学習してきた内容の理解を深める。	中間考査
5月	2. 力のはたらきとつりあい 3. 運動の法則		
6月	<b>エネルギー</b> 1. 仕事と力学的エネルギー		
7月	2. 熱とエネルギー		

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<b>波動</b>	2学年で学習した内容を整理・復習し、副教材を通して、実践的な問題を解くことにより、今まで学習してきた内容の理解を深める。	中間考査
10月	<b>電磁気</b>		
11月	まとめ		
12月	まとめ		

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	まとめ	実践的な問題を解くことにより、今まで学習してきた内容の理解を深める。	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の自然にある物理現象に興味を持ち、探究する態度を持つ。</li> <li>・物理現象の基本原理・法則を理解する。</li> <li>・基礎的な物理的現象に対して、基本法則をあてはめて適切に数理解理できる力を養う。</li> <li>・実験を通して、各種の計測器具を正しく扱い、データの処理を適切に行えるようにする。</li> <li>・教科書「Plus」、「参考」は、大学の個別試験必須の知識であり、原則全て扱う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理現象の基本原理・法則を理解できているかどうか。</li> <li>・基礎的な物理的現象に対して、基本法則をあてはめて適切に数理解理できるかどうか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、課題・実験レポート、授業に取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果だけを覚えるのではなく、物理法則の意義や、そこにあらわれる公式の成り立ちについて理解する。</li> <li>・復習では副教材等を使って、計算練習を多くこなすこと。</li> <li>・身近な物理現象について、日頃から学んだこととの関連を深く考察する態度が重要。</li> <li>・三角関数、ベクトルなどの基本的な数学知識が必要。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○円運動と単振動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・万有引力による運動</li> </ul> </li> <li>○気体の性質と分子の運動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の法則</li> <li>・気体の分子運動</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケプラーの法則、万有引力の法則、万有引力による位置エネルギー</li> <li>・気体の圧力、大気圧、ボイル・シャルルの法則、理想気体状態方程式、温度と分子運動</li> <li>・気体の内部エネルギーと仕事、熱力学第1法則、熱機関</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体の内部エネルギーと仕事</li> <li>○電気                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・静電気</li> <li>・電場、電位</li> <li>・コンデンサー</li> </ul> </li> <li>○電流                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電流と抵抗</li> <li>・直流回路</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱力学第2法則</li> <li>・帯電と電荷の保存、静電誘導、クーロンの法則を理解する</li> <li>・電場、点電荷のつくる電場、電場の合成、電気力線、ガウスの法則を理解する</li> <li>・一様な電場と点電荷のまわりの電位、等電位面と電気力線、電場中の導体・不導体</li> <li>・コンデンサー、電気容量、誘電率、接続、静電エネルギー</li> <li>・電荷と電流、オームの法則と電圧降下、抵抗率、電池の起電力と内部抵抗</li> <li>・キルヒホッフの法則、未知抵抗測定、コンデンサーを含む直流回路</li> </ul>	中間考査
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体</li> <li>○電流と磁場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・磁場</li> <li>・電流が受ける力</li> <li>・ローレンツ力</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気と仕事、ジュール熱、電力と電力量、半導体、種類、ダイオード、トランジスタ</li> <li>磁気に関わる3つの基本法則を学び、全ての電磁気現象が4つの基本法則で説明できることを知る。</li> <li>・磁石と磁極、磁場、磁力線、直線電流・円形電流・ソレノイドの磁場</li> <li>・磁場中で電流が受ける力、磁束密度と磁場、平行電流間にはたらく力</li> <li>ローレンツ力、磁場中での荷電粒子の運動</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電磁誘導と交流                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁誘導</li> <li>・交流</li> <li>・電磁波</li> </ul> </li> <li>○電子と光                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電磁誘導の法則、磁場中を動く導体に生じる誘導起電力、自己誘導</li> <li>コイルのエネルギー、相互誘導、変圧器</li> <li>・交流の発生、交流と抵抗・コイル・コンデンサー、電気振動</li> <li>R L C 直列回路、共振回路、電磁波</li> <li>・電磁気の4基本法則、電磁波の発生と性質、種類</li> <li>・陰極線、電子、電子比電荷、電気素量</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の粒子性                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・X線</li> <li>・粒子の波動性</li> </ul> </li> <li>○原子と原子核                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子の構造</li> <li>・原子核と放射線</li> <li>・核反応とエネルギー</li> <li>・素粒子と宇宙</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光電効果、仕事関数、光子、X線の発見・発生・回折・干渉、コンプトン効果</li> <li>・粒子としての光、波動としての電子</li> <li>・物質波、粒子性と波動性の二重性</li> <li>・原子と原子核・素粒子、宇宙に関する現象を、観察や実験結果より学び、その基礎となる原理・法則と基本的な概念を理解する。</li> <li>・ボーアの原子模型と水素原子のスペクトル</li> <li>・放射線と半減期、特殊相対性理論と質量欠損、核反応、核分裂、核融合</li> <li>・素粒子の標準理論・宇宙の標準理論</li> </ul>	中間考査
11月	演習	問題演習などを通じて、これまでの学習内容のまとめを行う	
12月	演習	問題演習などを通じて、これまでの学習内容のまとめを行う	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習などを通じて、これまでの学習内容のまとめを行う	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理実験および演習を通して、物理学をより深く身につけることをめざす</li> <li>物理公式が単なる数式ではなく、自然現象を定量的に表現していることを、実験・演習を通して理解する</li> <li>測定値や計算値の持つ誤差を把握しながら、実験結果に基づき物理現象を解釈する力を身につける</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>力のモーメントと重心実験・演習</li> <li>パソコンを用いたデータ処理</li> <li>斜面上の力学台車の運動実験・演習</li> <li>光(屈折、反射、干渉、偏光、スペクトル)実験・演習</li> <li>等電位線実験・演習</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、実験レポート、演習レポート、授業に取り組む姿勢
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験に先立ち、内容の復習と大学入学共通テストレベルの問題演習をおこなう。実験終了後、該当分野の大学入試2次試験の問題演習をおこなう。</li> <li>実験、考察において、指示された以上のことを行うことが望ましく、その度合いに応じて評価を高める</li> <li>理学部物理・物理化学系、工学部物理系(電気、電子、機械、制御(ロボット)、情報、建築、土木)への進学希望者は特に受講を勧める</li> <li>パソコンを用いたデータ処理では、ソフトの使い方、誤差の処理方法、速度・加速度等の計算方法等を実習する</li> </ul>

**[1学期 指導計画]**

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	測定と誤差	物理学とはすべての自然現象を最小限の数学的法則で定量的に表現することをめざす学問である。従って理論(仮説)が正しいかどうかは最終的に実験で判定される。実験は有限の目盛を持った測定器でなされるため必然的に測定限界を持つ。また対象自体のゆらぎもある。このため測定結果はどの程度まで信頼できるか、すなわち誤差(不確かさ)の把握が実験を評価する上できわめて重要になる。ここでは誤差の定義と評価方法を本校独自のテキストを用いて学ぶ。	講義1時間
	力のモーメントと重心	円形、正方形等の図形を工作用紙で作成し、物体の重心の位置を力のモーメントの考え方を用いて割り出し、重心の特徴を調べる。やじるべえを作成し、重心と安定性の関係を見いだす。これらの実験結果を、力のモーメントの考え方で理論的に解釈する。	講義と演習1時間 実験1時間
	表計算ソフトExcel	表計算ソフトExcelを用いて、多項式や三角関数、指数関数等の計算をし結果をグラフ化する。数値微分・数値積分の方法を用いて測定データを処理する。最小自乗法で誤差の計算をおこなう方法を学ぶ。	実習3時間
5月	力学演習	運動方程式、慣性力、運動量保存、エネルギー保存則を復習し、関連入試問題演習を行う。	講義と演習1時間
	斜面台と台上の物体の運動	大学入試2次試験で頻出する斜面台の問題を実際に実験し、慣性力や相対加速度の考え方を用いて運動を考察する力を養う。具体的には、① 斜面台を固定し台上で力学台車を走らせる。② 斜面台を動ける様にし台上で力学台車を走らせるという2種類の実験を行い結果を運動方程式を用いて分析する。測定は紙テープタイマー、分析はExcelを用いる。	実験2時間 データ解析1時間 中間考査
6月	光4実験	波動の中心概念である干渉現象、物質中の光の振る舞いについて光学機器を用いて実験・解析する。 ① 光学ガラスを用いて光の屈折、全反射の性質を調べる ② 上記ガラスで反射による偏光、偏光板による偏光について調べる ③ レーザー光源を用いて、ヤングの干渉実験をおこなう ④ 回折格子を用いて白熱電灯、水銀灯、ナトリウム灯の光のスペクトルを観察、波長同定をおこなう	講義と演習1時間 実験3時間
	等電位線	入試頻出の内容であり実験を行っていないと理解しづらい分野である。導体紙に様々なパターンの電位分布をつくり等電位線を測定、導体紙上の電位分布と電場分布を突きとめ分析する。	講義と演習1時間 実験1時間
	波動・電場電位演習		自己採点で理解を深める
7月	定期考査		期末考査

**[2学期 指導計画]**

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	力学演習	力学に関する2次試験問題の演習	
10月	電磁気学演習	電磁気学に関する2次試験問題の演習	中間考査
11月	波動演習 熱力学演習	波動に関する2次試験問題の演習 熱と気体分子について2次試験問題の演習	
12月	演習		期末考査

**[3学期 指導計画]**

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	まとめ	大学入学共通テスト向け演習	
2月、3月	家庭学習		

学習目標	化学を深く理解するために問題演習を行う。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成について正しく理解しているか。</li> <li>物質の変化について正しく理解しているか。</li> </ul>
評価の方法	授業の理解を確認するために定期考査を重視します。
履修に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習は、化学を理解するために共通テストを意識したものを実施する。</li> <li>物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎のうち2科目を選択するものとする。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	物質の構成	混合物と純物質 物質とその成分 物質の三態と熱運動	
5月	物質の構成粒子	原子とその構造 イオン 周期表	中間考査
6月	粒子の結合	イオン結合とイオン結合からなる物質 分子と共有結合 分子の極性と分子間にはたらく力 共有結合の物質 金属結合と金属	
7月	物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	物質の性質 (I) 酸と塩基の反応	物質量 化学反応式と物質量 酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応	
10月	酸化還元反応	塩 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元	中間考査
11月	総合問題演習	酸化還元反応の応用 実践演習	
12月	総合問題演習	実践演習	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	共通テストに向けた実践的な問題演習等	
2月	家庭学習	問題演習等	
3月	家庭学習	問題演習等	

<b>学習目標</b>	粒子の結合を理解する。 無機化合物と有機化合物の違いと性質を理解する。 高分子化合物の性質と特性を理解する。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原理や法則を理解しているか。</li> <li>・物質量の概念を元に、反応における量的関係を数的処理できるか。</li> <li>・実験において器具の扱い、操作、測定、観察ができるか。</li> <li>・実験における現象を既習の内容から考察できるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	授業の理解を確認するために定期考査を重視します。その他に提出物等も参考にします。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価電子数等を理解する必要があります。化合物の名称と化学式を理解する必要があります。</li> <li>・化学の計算は、代入と比例計算が主になります。副教材等を利用して各自演習を行って下さい。</li> <li>・実験を行います。結果の整理や考察する力を発揮して下さい。</li> <li>・教科書レベルにとどまらない内容を行います。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 飽和炭化水素 不飽和炭化水素	有機化合物の特徴と分類について理解する。 構造や異性体について理解する。 各種反応や性質について理解する。	
5月	アルコールと関連化合物 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸	官能基の特性や反応性、判別について理解する。	アルコールと関連化合物 の実験 中間考査
6月	エステルと油脂 芳香族炭化水素 芳香族炭化水素 フェノール類 芳香族カルボン酸	芳香族化合物の性質について理解する。	芳香族化合物の性質の 実験
7月	芳香族アミンとアゾ化合物 有機化合物の分離		期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	天然高分子化合物 天然高分子化合物	天然高分子化合物の性質及び生体の関連について理解する。	タンパク質の実験
10月	合成高分子化合物 高分子化合物の性質	合成高分子化合物の性質及び生活の関連について理解する。	中間考査
11月	問題演習	入試に向けた問題演習等。	
12月	問題演習	入試に向けた問題演習等。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	共通テストに向けた問題演習等	
2月	家庭学習	問題演習等	
3月	家庭学習	問題演習等	

学習目標	化学を深く理解するために、問題演習を行う。
評価の観点	物質の構成について正しく理解しているか。 物質の状態・変化について正しく理解しているか。 無機物質について正しく理解しているか。 有機化合物の分類と分析について正しく理解しているか。
評価の方法	授業の理解を確認するために定期考査を重視します。
履修に当たっての留意事項	・問題演習は、より深い化学の理解をするために共通テストレベルから難関大学2次試験レベルまでを実施します。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	物質の構成粒子 物質量と化学反応式	問題演習	
5月	化学結合と結晶 物質の三態・気体の法則	問題演習	中間考査
6月	溶液 化学反応とエネルギー	問題演習	
7月	反応の速さと化学平衡	問題演習	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	反応の速さと化学平衡 酸と塩基の反応	問題演習	
10月	酸化・還元と電池・電気分解 脂肪族化合物 芳香族化合物	問題演習	中間考査
11月	有機化合物の構造と性質・反応 無機物質の性質・反応	問題演習	
12月	無機物質の性質・反応	問題演習	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習等	
2月	家庭学習	問題演習等	
3月	家庭学習	問題演習等	

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>・遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対しての興味・関心を高める。</li> <li>・既習内容についての復習をしながら、共通テストを意識した問題演習を行う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本的な用語の理解ができているか。</li> <li>・演習を通して、基本的な生物現象を科学的に理解する方法を習得しているか。</li> <li>・積極的に演習に取り組んでいるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、授業態度 等
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名称や語句を羅列的に覚えるのではなく、生物現象を体系的に理解していく必要がある。</li> <li>・身近な生物や生物現象について、日頃から学んだこととの関連を深く考察する態度が重要である。</li> <li>・復習は、副教材等を使って積極的に行うようにする。</li> <li>・物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎のうち2科目を選択するものとする。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の構造と、それが各種の有機物を含んでいることを理解する。</li> <li>・細胞内では酵素によって分解や合成などの代謝が行われることや、ATPを利用したエネルギー変換を伴うことを理解する。</li> <li>・光合成と呼吸で有機物にエネルギーが蓄えられることを理解する。</li> <li>・葉緑体とミトコンドリアが原核生物に由来することを理解する。</li> </ul>	
5月	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝子の本体がDNAであることを確認する。</li> <li>・DNAの二重らせん構造、塩基間の相補性について理解する。</li> <li>・DNAの構造が遺伝情報を担える特徴を持っていることを理解する。</li> <li>・DNAの塩基配列が遺伝情報であることを理解する。</li> <li>・体細胞分裂の過程について染色体の動きを追いながら理解する。</li> </ul>	中間考査
6月	2章 遺伝情報とタンパク質 3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩基の配列を正確に複製する方法について理解する。</li> <li>・タンパク質合成に際して、DNAの塩基配列がアミノ酸配列に置き換えられることを理解する。</li> <li>・血液の組成とはたらきについて理解する。</li> <li>・肝臓と腎臓の機能について理解する。</li> </ul>	
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律神経系の分布とはたらきを理解する。</li> <li>・内分泌腺からのホルモンの分泌と標的細胞での受容について理解する。</li> <li>・ホルモン分泌量の調節は、フィードバック調節であることを理解する。</li> </ul>	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	2章 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血糖値が、自律神経やホルモンにより保たれることを理解する。</li> <li>・病原体などの異物を、免疫細胞で排除するしくみを理解する。</li> <li>・体液性免疫のしくみと、抗体により抗原抗体反応を理解する。</li> <li>・免疫システムの応用として、予防接種と血清療法について理解する。</li> <li>・エイズ、アレルギーなどの作用機序について理解する。</li> </ul>	
10月	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上の様々な植生が、長期的には変化することを理解する。</li> <li>・森林生態系の植生が変化する遷移の過程を理解する。</li> <li>・気温と降水量の違いで異なるバイオームが成立することを理解する。</li> <li>・植物を中心とした世界と日本のバイオームについて理解し、標高に応じたバイオームの変化についても理解する。</li> </ul>	中間考査
11月	2章 生態系と生物の多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系において物質が循環すること、及びそれに伴ってエネルギーが循環することを理解する。</li> <li>・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。</li> </ul>	
12月	問題演習		期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。 2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。 3 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。 4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。
<b>評価の観点</b>	・生物現象の概念や法則を、科学的に探求する方法を正しく習得しているか。 ・身近な生物現象に対する思考力、判断力、表現力を身につけているか。 ・「探究活動」を通じて、課題の設定や仮説の立案、実験の工夫、問題解決を行えるか。 ・実験器具やデータの取り扱い、結果の分析などを正しく行うことが出来るか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、授業への参加態度 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・生物では、より高度で発展的な内容を扱うので、1年次の「生物基礎」の学習内容をしっかり理解した上で履修することが望ましい。 ・授業に積極的に参加すること。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化の仕組み	・細胞の進化を地球環境の変化と関連付けて理解する。 ・突然変異と生物の形質の変化との関係を見いだして理解する。 ・遺伝子頻度が変化する要因を見いだして理解する。	
5月	3章 生物の系統と進化 2編 生命現象と物質 1章 細胞と分子 2章 代謝	・生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。 ・細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解する。 ・呼吸や光合成をエネルギーの流れと関連付けて理解する。	中間考査
6月	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現 2章 発生と遺伝子発現	・DNAの複製の仕組みや遺伝子発現の仕組みを理解する。 ・転写の調節をそれに関わるタンパク質と関連付けて理解する。 ・発生の過程における分化を遺伝子発現の調節と関連付けて理解する。	
7月	3章 遺伝子を扱う技術	・遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	4編 生物の環境応答 1章 動物の反応と行動	・外界の刺激を受容し神経系を介して反応する仕組みを理解する。 ・動物の行動を神経系の働きと関連付けて理解する。	
10月	2章 植物の環境応答 5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	・植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解する。 ・個体群が維持される仕組みや個体間の関係性を見いだして理解する。	中間考査
11月	2章 生態系 入試問題演習	・生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連付けて理解する	
12月	入試問題演習		期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年理系選択

(学)総合理科[生物]

2

<b>学習目標</b>	<p>1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。</p> <p>2 「生物」の授業進度にあわせつつ、関連を図りながら、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。</p> <p>3 身近な生物現象について、科学的に探究し理解する態度を養う。</p> <p>4 共通テスト、私大一般入試試験、国公立二次試験など、幅広いレベルの問題演習を行い、各単元の理解をさらに深める。</p>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物現象の概念や法則を、科学的に探究する方法を正しく習得しているか。</li> <li>・身近な生物現象に対する思考力、判断力、表現力を身につけているか。</li> <li>・問題演習を通して実践的な学力が身についたか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物、授業中の課題、授業への参加態度 他</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物および生物基礎の範囲を体系的に理解できるよう、復習と問題演習を行う。</li> <li>・問題演習を通して実践的な学力を身につけるだけでなく、生物学への興味関心を高める。</li> <li>・実験を行うときは、実験プリント等の提出があるので、実験内容についてきちんと理解すること。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	生物基礎 1編 生物の特徴 生物基礎 2編 遺伝子とそのはたらき 生物基礎 3編 生物の体内環境の維持 生物基礎 4編 生物の多様性と生態系	問題演習 問題演習 問題演習 問題演習	
5月	生物 1編 生物の進化	問題演習	
6月	生物 2編 生命現象と物質	問題演習	
7月	生物 3編 遺伝情報の発現と発生	問題演習	

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	生物 3編 遺伝情報の発現と発生	問題演習	
10月	生物4編 生物の環境応答	問題演習	
11月	生物 5編 生態と環境	問題演習	
12月	生物基礎・生物 全範囲	問題演習	

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	問題演習	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固体地球、宇宙、気象現象について、基本的な概念や原理・法則を理解する。</li> <li>・地球環境、自然災害など日常生活や社会に関わるテーマを通して、地球科学に対する興味・関心を高める。</li> <li>・宇宙や地球物理、生命の歴史などのテーマを通して地球科学に対する知識を深める。</li> <li>・大学入学共通テストに向け演習を行う</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固体地球、宇宙、気象の基本的概念や科学的に探究する方法を習得しているか。</li> <li>・実験・実習を通して、基本的な地学的現象を科学的に理解する方法を習得しているか。</li> <li>・「探究活動」を通し、仮説の設定、実験の工夫、結果の分析、考察等ができているか。</li> <li>・実験器具の取り扱いやデータの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、実験レポート、授業中の小テスト、授業への参加態度他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地学は理科のあらゆる分野と体系的に結びついているので、これまでに学んだ理科の他分野についても必要に応じて復習する</li> <li>・復習は、副教材等を使って積極的に行うようにする。</li> <li>・名称や語句、数値等を覚えるのみではなく、その仕組みについて理解していくことが重要である。</li> <li>・2年次に学習した内容を確認し、演習問題を数多く行う予定である。</li> <li>・物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎のうち2科目を選択するものとする。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造	・地球の形はどうなっているのか、また、地球の内部はどのような物質からなり、どのような構造になっているかを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次に学習した内容を復習し、大学入学共通テストに向けた演習問題を実施する。</li> <li>・中間考査（5月）</li> <li>・期末考査（7月）</li> </ul>
	第2章 プレートの運動	・地震や火山活動が活発な地域は世界全体では限られているが、日本はなぜ地震や火山活動が活発なのかを学習する。	
5月	第3章 地震と地殻変動	・プレートの運動によって地下に蓄積したひずみは、急激な断層のずれによって解放される。このような変動のメカニズムについて学習する。	
	第4章 火山	・日本は世界有数の火山国である。火山活動、およびマグマが冷却固化してきた火成岩、変成作用と変成岩について学習する。	
6月	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成	・砂や泥などの砕屑粒子は、流水などによって運搬され、地形的に低くなった所に堆積し、地層となる。地層が形成される過程としくみについて学習する。	
	第2章 古生物の変遷と地球環境	・地球環境は、地球内部の活動、古生物のはたらきなどによって変化してきた。地球環境を理解し、守るために、その変化の歴史としくみを学習する。	
7月	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支	・大気現象を起こす太陽放射エネルギーを、地球のどこで受け取り、また、受け取ったエネルギーをもとに雲や雨はどのように形成されるのかを学習する。	

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第2章 大気と海水の運動	・大気や海洋の大規模な運動のしくみや、それらが地球上での熱や水の移動にはたす役割を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次に学習した内容を復習し、大学入学共通テストに向けた演習問題を実施する。</li> <li>・中間考査（10月）</li> <li>・期末考査（12月）</li> </ul>
	第4編 地球の環境 第1章 地球環境の科学	・自然環境は、人間社会が巨大化するとともに地球規模で変化している。自然環境のしくみや環境と人間のつながりについて学習する。	
10月	第2章 日本の自然環境	・日本の自然環境の特徴と自然災害について学習する。	
	序編 惑星としての地球 第1章 太陽系の天体	・太陽系の天体とその特徴について学習する。	
11月	第2章 太陽系の誕生と地球の変化	・太陽系はどのようにして誕生したのか、また地球がどのような過程を経て現在に至ったかについて学習する。	
	第5編 宇宙の構成 第1章 太陽と恒星	・太陽のすがたやエネルギー源、太陽活動のようすなどについて学習する。	
12月	第2章 宇宙のすがた	・宇宙には銀河が無数にあり、宇宙は約138億年前にビッグバンで始まった。現在までにわかっている宇宙の構造と進化について学習する。	

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	共通テストレベル演習	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球、天文、海洋、気象など我々をとりまく環境と現象に興味を持ち、探究する態度を持つ。</li> <li>地学の基礎的理論と概念を理解、習得する。</li> <li>地学基礎で学んだ事柄に加え、新たに学ぶ内容全般で定量的に数値処理できる力を養う。</li> <li>地学に関する知識を習得し、共通テスト、大学2次試験の対策を行う。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地学の概念や法則を理解できているかどうか。</li> <li>習得した知識を活用して論理的な考察を行うことができるかどうか。</li> <li>「探究活動」を通し、仮説の設定、実験の工夫、結果の分析、考察等ができていないか。</li> <li>実験器具の取り扱いやデータの処理を適切に行えるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、実験レポート、授業中の小テスト、授業への参加態度他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地学は理科のあらゆる分野と体系的に結びついているので、これまでに学んだ理科の他分野についても必要に応じて復習する</li> <li>復習は、副教材等を使って積極的に行うようにする。</li> <li>名称や語句、数値等を覚えるのみではなく、その仕組みについて理解していくことが重要である。</li> <li>2年次に選択必修「地学基礎」を履修した生徒のみ選択可能</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1部 個体地球の外観と活動 第1章 地球の外観 第2章 プレートテクトニクス	重力の観測、地震波の観測、地殻熱流量の観測、地磁気の観測などから、地球内部の様子がわかることを学ぶ。 種々の地学現象をプレートの生成や移動で統一的理解しようとするプレートテクトニクスについて学び、プレートテクトニクスとマントルの動きについて理解する。	
5月	第2章 プレートテクトニクス 第3章 地球の活動 第2部 地球の歴史 第1章 地上の変化と地層	地震や地殻変動、火山の噴火や火成岩の形成などのさまざまな地球の活動を、プレートの運動と関連させて学ぶ。 地層がどのように積み重なり、どのように広がって分布しているかを表す、地質図について学ぶ。また、造山運動による地質構造や変成岩の形成、地層から情報を読み取り地質年代を組み立てることを学ぶ。	中間考査
6月	第2部 地球の歴史 第1章 地表の変化と地層 第2章 地球・生命・環境の歴史	生命活動の場である地球表層の地殻や大気・海洋と、生物が、46億年に及ぶ地球史の中でどのように変化してきたかを学ぶ。	
7月	第2部 地球の歴史 第3章 私たちの日本列島	日本に産する岩石や地層の記録から、日本列島の起源や成長の歴史について学ぶ。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 大気の運動 第3章 海洋と海水の運動	大気中の水が気象に果たしている役割をとらえ、雨や雲の形成について学ぶ。また、地球全体のエネルギー収支について学ぶ。 風の吹き方と大気の大循環について学び、世界と日本の気候に結びつけて理解する。 地球環境の形成や維持に大きな役割を果たしている海洋の構造と、海流や深層循環などの海洋の循環、津波や潮汐などの海水の運動について学ぶ。	
10月	第4章 気候変動と地球環境 第4部 宇宙の構造 第1章 太陽系の天体	エルニーニョ現象などの自然な気候変動と、気候変動を引き起こす可能性がある人間の活動について、地球表層の物質の循環・輸送と関連づけて学ぶ。 太陽系の天体の運動と特徴について学ぶ。また、太陽系の中で唯一の恒星である太陽について学ぶ。	中間考査
11月	第1章 太陽系の天体 第2章 恒星の性質と進化 第3章 銀河と宇宙	遠く離れた恒星の性質について、恒星からの光を調べることで明らかにされてきたことを学ぶ。	
12月	第3章 銀河と宇宙	恒星と星間物質の大集団である銀河系や遠くの銀河などの天体、宇宙の構造や膨張について学ぶ。また、それが天体観測技術の発達によって次第に可能になっていったことを学ぶ。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	共通テストレベル演習、2次対策演習	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球、天文、海洋、気象など我々を取りまく環境と現象に興味を持ち、探究する態度を持つ。</li> <li>地学の基礎的理論と概念を理解、習得する。</li> <li>地学基礎で学んだ事柄に加え、新たに学ぶ内容全般で定量的に数値処理できる力を養う。</li> <li>実験を通して、各種の計測器具を正しく扱い、地球科学を理解する。</li> <li>地学に関する知識を習得する。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地学の概念や法則を理解できているかどうか。</li> <li>習得した知識を活用して論理的な考察を行うことができるかどうか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、課題・実験レポート、授業に取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地学は理科のあらゆる分野と体系的に結びついているので、これまでに学んだ理科の他分野についても必要に応じて復習する</li> <li>共通テスト理科2科目受験のうちの1つで「地学」受験や二次試験で「地学」を利用する場合、教科担当と相談の上、履修可能とする。</li> <li>多くの国立大学の地学系学科等で入試利用は可能であるが、希望する大学で利用できるかどうかを確認すること。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	地球の概観 重力、地磁気 地震波と地球の内部、熱 地球の熱 プレートテクトニクス プレートとマントルの動き	演習	
5月	プレートテクトニクス 地球表面の変化 地球の活動 地震地殻変動	演習	中間考査
6月	地球の活動 火山と火成岩 地表の変化と地層 地形、堆積岩、堆積構造 地質図と地質の解釈 地質時代の組み立て	演習	
7月	地球の進化	演習	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	日本列島 日本の地質 日本列島の地史 大気 大気の構造 天気図と天気、雲の発生と降水 エネルギー収支 エネルギー輸送	演習	
10月	大気の運動 風に加わる力 大気の大循環 低気圧と高気圧 日本の四季 海洋 海洋の構造 海水の運動（波と海流） 地球環境 気候変動、大気と海洋の相互作用 物質の循環、人間の活動	演習	中間考査
11月	宇宙の構造 太陽系 恒星の性質 銀河系と宇宙 銀河系、宇宙の進化	演習	
12月	演習	演習	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	演習	2次演習	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

1年必修

体 育

<b>学習目標</b>	<p>1. 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。</p> <p>2. 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p> <p>3. 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、スポーツとの関わり方や豊かなスポーツライフを設計し、実践していく方法を身に付ける。</p>
<b>評価の観点</b>	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」三つの観点、及び出欠状況に基づいて評価された各学期と、各領域（各運動・理論）の成績を総合して学年の学習成績とする。
<b>評価の方法</b>	実技テスト、提出物、授業への参加態度、出欠状況他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装は学校指定の体操着を着用する。</li> <li>・授業はチャイムと同時に開始することを原則とするので、活動場所への移動は休み時間内に完了しておくこと。</li> <li>・見学者は授業前に担当者に申し出て指示を受けること。</li> <li>・貴重品の管理をしっかり行うこと。</li> <li>・体調管理は各自の責任にて行い、万が一不良な状況に陥った場合は、速やかに担当者に報告すること。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○体づくり運動 ○体育理論	柔軟性を高めるストレッチ、調整力を高める運動、持久力を高める運動、筋力を高める運動、瞬発力を高める運動、総合的に体力を高める運動を組み合わせながら行う。 ・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って、からだほぐしをしたり体力を高めたりする。またこれらの運動を生活の中で実践することができるようにする。 1 人間にとって動くとは何か 2 スポーツの始まりと変遷	
5月	○陸上競技 (中距離走) ・1500m走	1 500m走計測を行う。 ・インターバルトレーニングなどをおとして、自己の能力を高める。 ・自己の能力に応じたペース配分をし、限界に挑戦する。	柔道を行う 後ろ受け身(長座、蹲踞立位、2人組) 横受け身(仰向け、蹲踞、立位、2人組) 《固め技》けさ固め/横四方固め/上四方固め/※逃れ方
6月	○水泳 ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	三泳法(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ)を行う。 ・自己の能力に応じて、クロール、平泳ぎ、背泳ぎの技能を高め、速く泳いだり、続けて長く泳ぐことができるようにする。 ・水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習や競泳ができるようにする。 ・7.5m個人メドレーの測定を行う。	膝車 体落とし 大腰 ※崩しと体さばき かかり練習 自由練習 技能テスト
7月			

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○体育理論 柔道	1 スポーツ文化の楽しみ方 2 オリンピックと国際理解 マット運動 ・自己の能力に応じ技能を高め技が円滑にできるようにする。	柔道を行う
10月	○器械運動 (マット運動)	・互いに協力し、補助したりして練習ができるようにする。 ・器具を点検し安全に留意して練習や発表ができるようにする。	・自己の能力に応じて技能を高め相手の動きに対応した攻防を展開し、練習や試合ができるようにする。 ・伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重して練習や試合ができるようにする。 ・禁じ技を用いない等、安全に留意し練習ができるようにする。
11月			
12月			

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○体育理論 柔道 ○球技 (サッカー)	1 スポーツと経済 2 ドーピングとスポーツ理論 サッカー ・チームの課題や自己の能力に応じてサッカーの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。 ・チームにおける自己の役割を自覚して、責任を果たし協力して練習やゲームができるようにする。	柔道を行う ☆「自他共栄」「精力善用」 ☆安全のキーワード ・全力は7割 ・取はひき手を離さない ・受けはつり手を離さない ・乱取り練習 技能テスト
2月		・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。	
3月			

## 1年必修

## 保健

## 1

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人生活・社会生活における健康・安全に関する総合的な理解を通して、健康の大切さを認識する。</li> <li>生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、生活行動や環境を改善していく資質や能力の基礎を養う。</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢社会への対応など、複雑多岐にわたる健康問題について自らに引き寄せ、主体的に取り組んでいるか。</li> <li>現代における健康の成立条件について理解し、自分たちがすべきことを理解し他者と意見交換しているか。</li> </ul>
評価の方法	定期考査、提出物、授業への参加態度他
履修に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃より保健分野で扱う項目に対し興味・関心を持ち、ニュース・新聞記事等に目を向けること。</li> <li>他教科で学習した内容をしっかり理解すると同時に、保健分野との関連性を意識すること。</li> </ul>

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○生涯を通じる健康 脳の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>欲求と大脳の働き</li> <li>さまざまな欲求</li> <li>欲求不満と適応機制</li> </ul>	
5月	心身の相関とストレス ストレスへの対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身相関のしくみとストレス</li> <li>ストレスの影響と心の健康</li> <li>原因への対処</li> <li>とらえ方を変えることによる対処</li> </ul>	
6月	心の健康と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>気分転換やリラクゼーションなどによる対処</li> <li>信頼できる人や専門家への相談</li> <li>自己実現と心の健康との関係</li> <li>自己実現の道すじと達成</li> </ul>	
7月			期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○生涯を通じる健康 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>思春期における体の変化と性機能の成熟</li> <li>思春期における心の変化と健康課題</li> </ul>	
10月	性意識と性行動の選択 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>性意識の変化と異性の尊重</li> <li>性に関する情報と性行動の選択</li> <li>結婚・婚姻状況と健康</li> <li>夫婦関係、親子関係と健康</li> </ul>	
11月	妊娠出産と健康 家族計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>受精・妊娠・出産</li> <li>母子の健康のために</li> <li>家族計画の意義</li> <li>避妊法の選択と人工妊娠中絶</li> </ul>	
12月			期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	加齢と健康 高齢者のための社会的とりくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>加齢による心身の変化</li> <li>中高年期を健やかに過ごすために</li> <li>高齢者を取り巻く状況</li> <li>高齢者を支える社会の取り組み</li> </ul>	
2月	○健康を支える環境づくり 保健制度とその活用 医療制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じて病気から人々の健康を守る保健行政</li> <li>健康の保持・増進のために活用できる保健サービス</li> <li>医療制度と医療保険</li> <li>医療機関の役割と適切な活用</li> </ul>	
3月			学年末考査

## 2年必修

## 体 育

2

<b>学習目標</b>	<p>1. 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。</p> <p>2. 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p> <p>3. 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、スポーツとの関わり方や豊かなスポーツライフを設計し、実践していく方法を身に付ける。</p>
<b>評価の観点</b>	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」三つの観点、及び出欠状況に基づいて評価された各学期と、各領域（各運動・理論）の成績を総合して学年の学習成績とする。
<b>評価の方法</b>	実技テスト、提出物、授業への参加態度、出欠状況他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装は学校指定の体操着を着用する。</li> <li>・授業はチャイムと同時に開始することを原則とするので、活動場所への移動は休み時間内に完了しておくこと。</li> <li>・見学者は授業前に担当者に申し出て指示を受けること。</li> <li>・貴重品の管理をしっかりと行うこと。</li> <li>・体調管理は各自の責任にて行い、万が一不良な状況に陥った場合は、速やかに担当者に報告すること。</li> </ul>

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○体づくり運動 ・集団行動 ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動	<p>集団行動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに協力して運動ができる姿勢を身に付ける。</li> </ul> <p>ラジオ体操・補強運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って、からだほぐしをしたり体力を高めたりする。</li> <li>またこれらの運動を生活の中で実践することができるようにする。</li> </ul> <p>1500m走計測を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に応じて記録を高めることができるようにする。</li> </ul>	
5月	○バレーボール	<p>バレーボールを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</li> </ul>	
6月			
7月			

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○バレーボール		
10月	○陸上競技	<p>走り高跳び（背面跳び）を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習場の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。</li> </ul>	
11月			
12月			

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○バスケットボール	<p>バスケットボールを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの課題や自己の能力に応じてバスケットボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。</li> <li>・チームにおける自己の役割を自覚して、責任を果たし協力して練習やゲームができるようにする。</li> <li>・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</li> </ul>	
2月			
3月			

2年必修

保健

1

<b>学習目標</b>	・ 個人生活・社会生活における健康・安全に関する総合的な理解を通して、健康の大切さを認識する。 ・ 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、生活行動や環境を改善していく資質や能力の基礎を養う。
<b>評価の観点</b>	・ 高齢社会への対応など、複雑多岐にわたる健康問題について自らに引き寄せ、主体的に取り組んでいるか。 ・ 現代における健康の成立条件について理解できているか。 ・ 安全な社会生活を実現するために、自分たちがすべきことを理解し他者と意見交換しているか。
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物、授業への参加態度他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・ 日頃より保健分野で扱う項目に対し興味・関心を持ち、ニュース・新聞記事等に目を向けること。 ・ 他教科で学習した内容をしっかり理解すると同時に、保健分野との関連性を意識すること。

## 【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○健康を支える環境づくり 様々な保健活動や対策	・ 地球規模の健康課題を解決する取り組み ・ 様々な機関・組織の活動	
5月	○現代社会と健康 現代における感染症の問題	・ 時代や地域で変化する感染症 ・ 現在、特に問題となっている感染症	
6月	感染症の予防	・ 感染症予防の三原則 ・ 現代の感染症の発生予防とまん延防止のための対策	
7月			期末考査

## 【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	生活習慣病の予防と回復	・ 生活習慣病とは ・ 生活習慣病の予防と回復のための取組	
10月	がんの予防と回復	・ がんの予防と治療 ・ がんに関する社会的な取り組み	
11月	性感染症・エイズとその予防	・ 性感染症・エイズとは ・ 性感染症・エイズを予防するための対策	
12月			期末考査

## 【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○安全な社会生活 事故の現状と発生要因  交通事故防止の取り組み  安全な社会の形成	・ 事故とその被害 ・ 事故の発生に関連する要因 ・ 交通事故防止のための取り組み ・ 交通事故を起こした場合の責任と補償 ・ 自他の安全を確保する行動 ・ 安全を確保する社会の取り組み	
2月	応急手当の意義と救急医療体制  心肺蘇生法	・ 応急手当の意義 ・ 救急医療体制の仕組み ・ 心肺蘇生法の意義 ・ 心肺蘇生法の行い方	
3月			学年末考査

3年必修

体 育

<b>学習目標</b>	<p>1. 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身につける。</p> <p>2. 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行方を身につける。</p> <p>3. 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、スポーツとの関わり方や豊かなスポーツライフを設計し、実践していく方法を身につける。</p>
<b>評価の観点</b>	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」三つの観点、及び出欠状況に基づいて評価された各学期と、各領域（各運動・理論）の成績を総合して学年の学習成績とする。
<b>評価の方法</b>	実技テスト、提出物、授業への参加態度、出欠状況他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装は学校指定の体操着を着用する。</li> <li>・授業はチャイムと同時に開始することを原則とするので、活動場所への移動は休み時間内に完了しておくこと。</li> <li>・見学者は授業前に担当者に申し出て指示を受けること。</li> <li>・貴重品の管理をしっかりと行うこと。</li> <li>・体調管理は各自の責任にて行い、万が一不良な状況に陥った場合は、速やかに担当者に報告すること。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○体づくり運動 ○教科内選択 ・集団行動 ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動	<p>集団行動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに協力して運動ができる姿勢を身につける</li> </ul> <p>ラジオ体操・補強運動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体に關心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題を持って、からだほぐしをしたり体力を高めたりする。またこれらの運動を生活の中で実践することができるようにする。</li> <li>1500m走計測を行う</li> <li>・自己の能力に応じて記録を高めることができるようにする。</li> </ul>	<p>希望選択調査に基づいて、教科内での選択体育を行う (教科内選択実施種目；サッカー、バドミントン、卓球、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培う観点を重視し、生徒の発達段階を考慮して運動を選択して、個に応じた運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする</li> <li>・自分の体に気を付け、体調を整えることができるようにすると共に、自ら進んで体力を高めることができるようにする。</li> </ul>
5月	○陸上競技	<p>3種競技（400m走、三段跳び、ジャベリックスローを行う）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができるようにする。</li> <li>・チームにおける自己の役割を自覚して、責任を果たし協力して練習やゲームができるようにする。</li> </ul> <p>・競技会の企画や運営ができるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題やチームの課題の解決を目指して、練習の仕方や試合の仕方を考えたり工夫したりできるようにする。</li> </ul>
6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習や競技ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会の企画や運営ができるようにする。また活動時には、健康・安全に留意して練習や試合ができるようにする。</li> </ul>
7月			

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○ソフトテニス	<p>ソフトテニス（雨天時；卓球）を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの課題や自己の能力に応じて、技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。</li> <li>・チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにする。</li> <li>・勝敗に対して公正な態度を取れるようにする。また練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。</li> </ul>	
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。競技会の企画や運営ができるようにする。</li> </ul>	
11月	○サッカー	<p>サッカーを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能を高め、チームの作戦を生かした攻防を展開して、ゲームができるようにする。</li> <li>・相手チームを尊重し、健康・安全に留意してゲームができるようにする。</li> </ul>	
12月			

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○サッカー	<p>サッカーを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能を高め、チームの作戦を生かした攻防を展開して、ゲームができるようにする。</li> <li>・相手チームを尊重し、健康・安全に留意してゲームができるようにする。</li> </ul>	
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の幅広い活動を通して、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける</li> <li>音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにし、音楽によって生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心、意欲、態度</li> <li>芸術的表現の工夫</li> <li>鑑賞の能力</li> </ul>
評価の方法	実技テスト      ・課題、感想レポート      ・授業態度      ・授業出席状況
履修に当たっての留意事項	

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>翼をください</li> <li>ひまわりの約束</li> <li>手拍子によるリズム練習</li> <li>コンコーネ練習曲第一番</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伸びやかに歌う</li> <li>伸びやかに歌う</li> <li>リズム練習をする</li> <li>伸びやかに歌う</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>♪ O sole mio</li> <li>風に吹かれて</li> <li>Imagine</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イタリアの名曲を歌う（原語）</li> <li>様々な国の音楽を知る</li> <li>様々な国の音楽を知る</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>アリラン</li> <li>夏の思い出</li> <li>歌のテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な国の音楽を知る</li> <li>2部合唱を楽しむ</li> <li>暗譜で歌う</li> </ul>	
7月			

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「カルメン」鑑賞</li> <li>オンブラマイフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペラを鑑賞する</li> <li>イタリアオペラアリアを歌う</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>野ばら（シューベルト）</li> <li>野ばら（ヴェルナー）</li> <li>茉莉花</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ歌曲を歌う（原語）</li> <li>ドイツ歌曲を歌う（原語）</li> <li>様々な国の音楽を知る</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>荒れ野に御使い</li> <li>Seasons of Love</li> <li>翼</li> <li>鑑賞</li> <li>校歌（合唱）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な国の音楽を知る</li> <li>ミュージカルナンバーを歌う（原語）</li> <li>日本の音楽を知る</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> <li>男声4部合唱を行う</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト</li> <li>♪ O Tannenbaum</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暗譜で歌う</li> <li>様々な国の音楽を知る</li> </ul>	

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>校歌（合唱）</li> <li>アニー・ローリー</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>男声4部合唱を行う</li> <li>二重唱</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二重唱で行う</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	

学習目標	美術の幅広い学習活動を展開し、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育て、生涯にわたり美術を楽しむ続けるための基礎を養う。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作意図に基づいて、表現に創意工夫ができたか。</li> <li>・美術的効果や理論を理解し、実践できたか。</li> <li>・テーマに応じた技法、技術を選択し活用できたか。</li> <li>・個性の表現の追求はできたか。</li> </ul>
評価の方法	・作品 授業に取り組む姿勢
履修に当たっての留意事項	

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	美術概説 石こうデッサン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術とは何か</li> <li>・ミロのヴィーナス、アグリッパ</li> <li>・鉛筆の使い方について</li> <li>・線の描き方、色の出し方</li> </ul>	
5月	石こうデッサン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描画、鑑賞</li> </ul>	・作品提出
6月	自画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描画</li> <li>・鉛筆、白パステルの使い方について</li> </ul>	
7月	自画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描画、鑑賞</li> </ul>	・作品提出

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	デザイン ・野菜・果物を使ったデザイン 「4分割」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜・果物のデッサン</li> </ul>	
10月	・野菜・果物を使ったデザイン 「4分割」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り絵</li> <li>・平面構成</li> </ul>	
11月	・野菜・果物を使ったデザイン 「4分割」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面構成</li> </ul>	
12月	・野菜・果物を使ったデザイン 「4分割」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> </ul>	・作品提出

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	彫刻 ・ペンシルケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・下描き</li> </ul>	
2月	・ペンシルケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彫り</li> <li>・彩色</li> </ul>	
3月	・ペンシルケース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> </ul>	・作品提出

1年必修選択 芸術

書道 I

2

<b>学習目標</b>	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解できたか。</li> <li>・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けたか。</li> <li>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫できたか。</li> <li>・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができたか。</li> <li>・主体的に書の幅広い活動に取り組むことができたか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	制作した作品及び課題、小テスト、自己評価カード、授業へ取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○書へのいざない ○漢字の書の学習 ～楷書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写と書道の違いについて</li> <li>・書道の分野について</li> <li>・基本的な用具・用材とその扱い方について</li> <li>・楷書の歴史と書法について</li> <li>・「九成宮醴泉銘」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習内容と評価について</li> <li>・執筆法と姿勢について</li> <li>・書体の変遷について</li> <li>・唐代の時代背景について</li> </ul>
5月	○漢字の書の学習 ～楷書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「九成宮醴泉銘」の鑑賞と臨書</li> <li>・「孔子廟堂碑」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「九成宮醴泉銘」との書風の比較</li> </ul>
6月	○漢字の書の学習 ～行書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の歴史と書法について</li> <li>・「蘭亭序」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・王羲之について</li> </ul>
7月	○漢字の書の学習 ～行書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「風信帖」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の時代背景について</li> </ul>

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の歴史と書法について</li> <li>・基本的な用筆法と運筆法について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆法と姿勢について</li> </ul>
10月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「蓬萊切」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の時代背景について</li> </ul>
11月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高野切第三種」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安時代の時代背景について</li> </ul>
12月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高野切第三種」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な書式について</li> </ul>

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○篆刻の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆刻の歴史について</li> <li>・用具・用材とその扱い方について</li> <li>・姓名印の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印の歴史について</li> </ul>
2月	○漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和について</li> </ul>
3月	○漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和について</li> </ul>

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に諸活動に取り組み、曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深める</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</li> <li>生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心、意欲、態度</li> <li>芸術的表現の工夫</li> <li>鑑賞の能力</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	・実技テスト      ・課題、感想レポート      ・授業態度      ・授業出席状況
<b>履修に当たっての留意事項</b>	

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習曲</li> <li>上を向いて歩こう</li> <li>斉太郎節</li> <li>カタリ・カタリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次で習った曲を復習</li> <li>伸びやかに歌う</li> <li>日本の音楽について知る</li> <li>イタリアカンツォーネで表現について学ぶ</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい五月に</li> <li>マライカ</li> <li>やさしさに包まれたなら</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ歌曲を歌う（原語）</li> <li>さまざまな国の音楽を知る</li> <li>表現の幅を広げながら、2部合唱する</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>島へ</li> <li>鑑賞</li> <li>歌のテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の音楽について知る</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> <li>暗譜で歌う</li> </ul>	
7月			

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「オペラ座の怪人」鑑賞</li> <li>「オペラ座の怪人」重唱</li> <li>アロハ・オエ</li> <li>ていんさぐぬ花</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージカルを鑑賞する</li> <li>表現の幅を広げながら、2部合唱する</li> <li>表現の幅を広げながら、2部合唱する</li> <li>表現の幅を広げながら、2部合唱する</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛の讃歌</li> <li>女心の歌</li> <li>手拍子によるリズム練習</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな国の音楽を知る</li> <li>イタリアオペラの曲に親しむ</li> <li>アンサンブルに取り組む</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>イバネマの娘</li> <li>刈干切歌</li> <li>歌のテスト</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな国の音楽を知る</li> <li>日本の音楽について知る</li> <li>暗譜で歌う</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベートーヴェン作曲 交響曲第9番を鑑賞する</li> </ul>	

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>初恋</li> <li>Sesons of Love</li> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の幅を広げながら、歌唱法を工夫する</li> <li>表現の幅を広げながら、2部合唱する</li> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌のテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暗譜で歌う</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな音楽を鑑賞する</li> </ul>	

<b>学習目標</b>	美術Ⅰの学習を踏まえて、美へのあこがれ、自己の夢、心豊かな生活などの実現を目指し、美術への関心を高める。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作意図に基づいて、表現及び創意工夫ができたか。</li> <li>・1年次での学習を踏まえ、美術的効果や理論を理解し、応用できたか。</li> <li>・テーマ及び素材に応じた技法、技術を選択し活用できたか。</li> <li>・個性の表現の追求はできたか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	・作品 授業に取り組む姿勢
<b>履修に当たっての留意事項</b>	美術Ⅱでは、美術Ⅰの学習を踏まえてさらに学習内容を発展させていきます。美術への幅広い興味や関心を広げて、描く、作る、彫るなどのさまざまな創作活動を展開することによって、創ることの喜びと楽しさを味わいながら、個性としての感性を磨くとともに、自己の表現能力を高めていきます。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	彫塑 ・石粉粘土による立体作品	・アイデアスケッチ、制作計画を立てる。 ・芯作り、成形	
5月	・石粉粘土による立体作品	・成形	
6月	・石粉粘土による立体作品	・着色	
7月	・石粉粘土による立体作品	・着色、鑑賞	・作品提出

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	デザイン ・ティッシュボックスデザイン	・アイデアスケッチ、制作計画を立てる。 ・下描き	
10月	・ティッシュボックスデザイン	・彩色	
11月	・ティッシュボックスデザイン	・彩色	
12月	・ティッシュボックスデザイン	・鑑賞	・作品提出

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	絵画 ・スクラッチボードによる風景画	・下描き	
2月	・スクラッチボードによる風景画	・彫り	
3月	・スクラッチボードによる風景画	・鑑賞	・作品提出

<b>学習目標</b>	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質能力を育成する。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めることができたか。</li> <li>・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けたか。</li> <li>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫できたか。</li> <li>・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えることができたか。</li> <li>・主体的に書の創造的な諸活動に取り組むことができたか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	制作した作品及び課題、自己評価カード、授業へ取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○漢字の書の学習 ～篆書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆書の歴史と書法について</li> <li>・「泰山刻石」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の歴史について</li> <li>・小篆について</li> <li>・秦代について</li> </ul>
5月	○漢字の書の学習 ～篆書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「石鼓文」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国時代について</li> </ul>
6月	○漢字の書の学習 ～隷書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隷書の歴史と書法について</li> <li>・「曹全碑」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後漢時代について</li> </ul>
7月	○漢字の書の学習 ～草書の学習～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草書の歴史と書法について</li> <li>・「書譜」の鑑賞と臨書</li> </ul>	

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高野切第一種」の鑑賞と臨書</li> </ul>	
10月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「寸松庵色紙」の鑑賞と臨書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三色紙について</li> </ul>
11月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散らし書き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な書式について</li> </ul>
12月	○仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散らし書き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印の歴史について</li> </ul>

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	○篆刻の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姓名印の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印の歴史について</li> </ul>
2月	○漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和について</li> </ul>
3月	○漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことばを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和について</li> </ul>

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・協働的に諸活動に取り組み、曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深める</li> <li>音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したりできるようにする</li> <li>生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心、意欲、態度</li> <li>芸術的表現の工夫</li> <li>鑑賞の能力</li> <li>プレゼンテーション能力</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	・実技テスト      ・発表      ・課題、レポート      ・授業態度      ・授業出席状況
<b>履修に当たっての留意事項</b>	1、2年次の芸術にかかわらず、選択可能。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱（年間を通じて実施）</li> <li>テーマ別個人研究（年間通じて）</li> <li>キーボード「コードの基本」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年次で歌ってきた曲も含め、様々な曲を歌う</li> <li>それぞれの興味関心をもとに、研究し各自発表する</li> <li>簡単な曲のコードを弾く</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>手拍子によるリズム練習</li> <li>キーボード「コードで弾き歌い」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンサンブルを取り入れながら行う</li> <li>簡単な曲の弾き歌いをする</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌のテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自選択した曲を歌う</li> </ul>	
7月			

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナル曲の作曲</li> <li>重唱曲を歌う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メロディーを創作する（グループ活動）</li> <li>アンサンブルを楽しみながら歌う</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナル曲の作詞</li> <li>重唱曲を歌う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作したメロディーに歌詞を付ける（グループ活動）</li> <li>アンサンブルを楽しみながら歌う</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナル曲の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで表現方法を工夫して発表する</li> </ul>	
12月			

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	家庭学習		
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	美へのあこがれ、自己の夢、心豊かな生活などの実現を目指し、美術への関心を高める。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作意図に基づいて、表現及び創意工夫ができたか。</li> <li>・美術的効果や理論を理解し、応用できたか。</li> <li>・テーマ及び素材に応じた技法、技術を選択し活用できたか。</li> <li>・個性の表現の追求はできたか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	・作品 レポート 授業に取り組む姿勢
<b>履修に当たっての留意事項</b>	1、2年次の芸術にかかわらず、選択可能。 美大芸大、建築学科、工学デザイン学科等を志望する者は選択しておくことが望ましい。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	デザイン ・平面構成「立方体」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインの基本について</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・下描き</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面構成「立方体」</li> <li>・古典模写</li> <li>・鳥獣戯画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩色、鑑賞</li> <li>・鳥獣戯画模写</li> </ul>	・作品提出
6月	・鳥獣戯画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・額デザイン・アイデアスケッチ</li> <li>・下描き</li> <li>・彩色</li> </ul>	
7月	・鳥獣戯画	・彩色、鑑賞	・作品提出

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	デザイン ・平面構成「数字」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・下描き</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面構成「数字」</li> <li>・絵画</li> <li>・ステンドグラス的表現</li> <li>・ブッシュステンド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩色、鑑賞</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・下描き</li> </ul>	・作品提出
11月	・ステンドグラス的表現 ブッシュステンド	・様々な装飾技法を工夫して制作	
12月	・ステンドグラス的表現 ブッシュステンド	・鑑賞	・作品提出

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	家庭学習		
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

3年選択芸術

実用の書

2

<b>学習目標</b>	実用の書の学習を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や用途に即した表現形式を理解できたか。</li> <li>・生活や社会における書の知識や技能を身に付けることができたか。</li> <li>・実用の書の伝統と文化を尊重する態度を養うことができたか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	制作した作品及び課題、自己評価カード、授業へ取り組む姿勢 他
<b>履修に当たっての留意事項</b>	1、2年次の芸術にかかわらず、選択可能

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	○実用の書について ○	生活の中の様々な書について	・日常生活における書の目的や用途について
5月	○硬筆の学習	・硬筆用具の種類とその扱い方について	
6月	○硬筆の学習	・硬筆用具の種類とその扱い方について	
7月	○毛筆による表現について	・日常生活における毛筆表現について	・小筆の使い方について

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	○生活を彩る書について	・表札の制作について	・刻字の用具・用材について
10月	○生活を彩る書について	・陶書について	
11月	○生活を彩る書について	・色紙の制作	
12月	○表装・表具の学習	・書作品の表装・表具について	・表装・表具の歴史について

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	家庭学習		
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校で学習した基礎的な英語力を定着させ、更に発展させコミュニケーション能力を養う。</li> <li>・ 音読・暗唱を通して英語の基礎力を定着させ、速読・多読を通して真の読解力を身につける。</li> <li>・ 予・復習の習慣を確立し、自学自習の姿勢を養う。</li> <li>・ 英語学習を通じて国際的な視野を養い、自己発信力を育む。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文を読んだり、聞いたりして、必要情報の獲得や話し手の気持ち・考えの理解ができるか。</li> <li>・ 正しい発音・強勢・イントネーションが身につく、意志伝達のための語彙力・文法の知識は十分身につけているか。</li> <li>・ 自分の気持ち・考えを英語で表現したり発信したりすることができるか。</li> <li>・ 意欲を持って授業に取り組んでいるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査、確認テスト、課題等の提出、授業への取り組み姿勢等を総合的に判断して評価する。</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習をして授業に臨み、復習を通して基礎力を定着させる。課題には積極的な姿勢で取り組むこと。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習内容・到達目標		備考
4月	導入 Lesson 1 (Scidmore's Cherry Trees)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語 I の授業について、予復習の仕方、辞書の引き方について指導する。</li> <li>* 英語の 5 文型</li> <li>* 受動態</li> <li>* to不定詞</li> </ul>	(1 時間) (5 時間)
5月	Lesson 2 (Christian the Lion) Lesson 3 (Bye Bye Plastics)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 現在完了</li> <li>* 現在完了進行形</li> <li>* 分詞の限定用法</li> <li>* 関係代名詞</li> <li>* 使役動詞</li> </ul>	(6 時間) 中間考査 (10 時間)
6月	Further Reading 1	* SDG s と若者の関わり方を学ぶ	第一回実力考査 (4 時間)
7月	Communication in Practice 1	* CEFR の尺度に基づいたコミュニケーション活動	期末考査 (4 時間)

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	Lesson 4 (Twice Bombed, Twice Survived)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 過去完了形</li> <li>* 知覚動詞</li> </ul>	(6 時間) 第二回実力考査
10月	Lesson 5 (Nobody's Perfect)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係代名詞</li> <li>* 関係副詞</li> </ul>	(7 時間) 中間考査
11月	Lesson 6 (The Power of Words)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 関係代名詞の非限定用法</li> <li>* 分詞構文</li> </ul>	(7 時間)
12月	Communication in Practice 2	* CEFR の尺度に基づいたコミュニケーション活動	期末考査 (4 時間)

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	Lesson 7 (Serendipity)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 形式目的語の it</li> <li>* be動詞の補語になる that節</li> </ul>	(6 時間)
2月	Lesson 8 (Playing the Enemy)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 仮定法過去</li> <li>* 仮定法過去完了</li> <li>* 過去完了進行形</li> </ul>	(6 時間)
3月	Communication in Practice 3	* CEFR の尺度に基づいたコミュニケーション活動	学年末考査

1年必修

論理・表現 I

2

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で学習した基礎的な英語力を定着させ、更に発展させコミュニケーション能力を養う。</li> <li>・音読・暗唱を通して英語の基礎力を定着させ、速読・多読を通して真の読解力を身につける。</li> <li>・予・復習の習慣を確立し、自学自習の姿勢を養う。</li> <li>・英語学習を通じて国際的な視野を養い、自己発信力を育む。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を読んだり、聞いたりして、必要情報の獲得や話し手の気持ち・考えの理解ができるか。</li> <li>・正しい発音・強勢・イントネーションが身につく、意志伝達のための語彙力・文法の知識は十分身につけているか。</li> <li>・自分の気持ち・考えを英語で表現したり発信したりすることができるか。</li> <li>・意欲を持って授業に取り組んでいるか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、確認テスト、授業に取り組む姿勢等を総合的に判断して評価する。</li> </ul>
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習をして授業に臨み、復習を通して基礎力を定着させる。課題には積極的な姿勢で取り組むこと。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	Lesson 1	文の種類（肯定文・否定文・さまざまな疑問文・命令文を適切に作り、それに応答することができる。感嘆文で驚きや感動を表すことができる。）	(3時間)
	Lesson 2	文型と動詞（5つの文型とThere is構文の構造を理解し、単文を正確に作るができる。また、紛らわしい自動詞と他動詞の使い分けができる。）	(4時間)
5月	ASSISTANT 1	文と文をつなぐ方法を学ぶ	(2時間) 中間考査
	Lesson 3	時制（基本時制の概念をイメージとして把握し、伝えたいことを適切な判断・進行形で発話できる。）	(4時間)
6月	Lesson 4	完了形（現在・過去・未来完了形の概念をイメージで把握し、現在形や過去形と区別できる。それぞれの用法と共に使われる語句を理解し、適切に文を作れる。）	(4時間)
	Lesson 5	助動詞（助動詞のそれぞれの意味や用法を学び、適切に使い分けて話者の気持ちや判断を表すことができる。）	(5時間)
7月			期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	Lesson 6	受動態（受動態のさまざまな文の作り方を学び、必要に応じて使うことができる。感情表現など、日本語と英語の違いに気をつけて表現する。）	(4時間)
	ASSISTANT 2 / 3	会話の組み立て方、及びパラグラフの構成を学ぶ	(2時間)
10月	Lesson 7	不定詞（不定詞のさまざまな用法を学び、意味上のS+Vを含む文を作ることができる。）	(5時間) 中間考査
	Lesson 8	動名詞（動名詞のさまざまな用法を学び、動名詞句を用いて多様な文を作ることができる。）	(4時間)
11月	Lesson 9	分詞（名詞を修飾する用法、補語になる用法を使うことができる。分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。）	(4時間)
	ASSISTANT 4 / 5	スピーチ、及びプレゼンテーションの基本を身に付け入る	(2時間)
12月	Lesson 10	関係詞（関係詞を用いた複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係代名詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。）	期末考査 (5時間)

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	Lesson 11	比較（複数のものを比較することで、物事の状態をわかりやすく伝えることができる。）	(4時間)
2月	Lesson 12	仮定法（仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こり得ないことを述べるができる。）	(4時間)
	ASSISTANT 6 / 7	ディベート、及びディスカッションの基本を身につける	(2時間)
3月	1年間の復習	1年間の総復習	学年末考査

<b>学習目標 使用教科書 ELEMENT II 副教材等</b>	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</li> <li>・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</li> <li>・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	・定期考査・確認テスト・課題等の提出・スピーチやプレゼンテーションなどの発表・授業への取り組む姿勢を総合的に判断して評価する
<b>履修に 当たっての 留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習を行うこと</li> <li>・理解したうえで音読を行い、言語材料を取り込むこと</li> <li>・課題を期日までに仕上げ、提出すること</li> <li>・積極的に参加すること</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習内容・到達目標		備考
4月	Lesson 1 The Culture Map (630語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*形式目的語it</li> <li>*be said to do等</li> <li>*when -ing等の省略表現</li> </ul>	(6時限)
	Lesson2 Stay Hungry, Stay Foolish (616語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*複合関係詞</li> <li>*you believe等の挿入表現</li> <li>*be動詞+to不定詞</li> </ul>	(6時限)
5月	Lesson 3 How did Pink Become "Girls Color" in America?(621語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*with 0 -ing</li> <li>*the 比較級+the 比較級</li> </ul>	(中間考査) (7時限)
6月	Lesson 4 Life in a Jar (580語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*同格の接続詞that</li> <li>*付帯状況のwith</li> <li>*さまざまな分詞構文</li> </ul>	(第1回実力テスト) (7時限)
7月	FR 1 The True Story of the Bear behind Winnie-the-Pooh (827語)	(読み物「本当のWinnie-the-Pooh」)	(期末考査) (4時限)

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	Lesson 5 Predictably Irrational (646語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*itを用いた強調構文</li> <li>*助動詞 have 過去分詞</li> <li>*not A but Bの構文</li> </ul>	(7時限) (第2回実力テスト)
	Lesson 6 A Long Way Home (700語)	*否定語の倒置	(8時限)
10月	Communication in Practice 2	*関係副詞の非制限用法 AIやロボットの活用についてグループで話し合う	(8時限) (中間考査)
	Lesson 7 Putting iPS Cells into Practice (929語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*that節をとる名詞</li> <li>*未来進行形</li> </ul>	(8時限)
11月	FR 2 Miss More Thought Otherwise (1022語)	(読み物「ムーアさんの考えは違っていた」)	(第3回実力テスト) (8時限)
12月	Japan's High-Context Culture Computer Technology	<ul style="list-style-type: none"> <li>(速読教材「日本のハイコンテクストな文化」)</li> <li>(速読教材「コンピューターテクノロジーの功罪」)</li> </ul>	(期末考査) (5時限)

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	Lesson 8 How We Got to Now with Glass (605語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*whatを用いた強調</li> <li>*複合関係副詞</li> </ul>	(9時限)
	FR3 Mufflon - The Dog of Florence (1056語)	(読み物「フィレンツェの犬、ムフロン」)	(9時限)
2月	Communication in Practice 3	宇宙でのサバイバルに必要なものをチームで話し合う。	(5時限)
3月			(学年末考査)

<p><b>学習目標</b></p>	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。                  ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。                  ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。                  エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p>
<p><b>評価の観点</b></p>	<p>ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。                  イ 外国語表現の能力 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。                  ウ 外国語理解の能力 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。                  エ 言語や文化についての知識・理解 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、背景にある文化を理解している。</p>
<p><b>評価の方法</b></p>	<p>・定期テスト、確認テスト、提出物、スピーチやプレゼンテーションなどの発表、授業に取り組む姿勢等を総合的に判断して評価する。</p>
<p><b>履修に当たっての留意事項</b></p>	<p>・予習をして授業に臨み、復習を通して基礎力を定着させる。課題には積極的な姿勢で取り組むこと。</p>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	Lesson 1 What is your future goal?	・将来の目標について書かれた文章を読み、適切な主語の使い方を理解する。 ・適切な主語を用いて適切な文を組み立てる。	(4時限)
	Lesson 2 What school events do you have?	・学校生活について書かれた文章を読んで、適切な動詞の使い方を理解する。 ・自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いて文を組み立てる。	(4時限)
5月	Activity 1 Interview	設定された目的・場面・状況で即興のインタビューを行う。	(1時間) (中間考査)
	Lesson 3 Who is the best athlete?	・スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解する。 ・現在、過去、未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。	(4時限)
6月	Lesson 4 Is social media safe?	・ソーシャルメディアについて書かれた文章を読んで、様々な助動詞の概念と文の構造を理解する。 ・義務、必要、推量を表すために適切な助動詞を用いる。	(2時限)
	7月		(期末考査)

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	・エネルギーの使用に関して書かれた文章を読んで、名詞を修飾する表現の使い方を理解する。 ・形容詞、分詞、前置詞句や不定詞による名詞の修飾を伴った文章を書く。	(4時限)
	Lesson 6 What are some culture differences?	・異文化理解の重要性について書かれた文章を読んで、関係詞の使い方を学ぶ。 ・関係代名詞や関係副詞を用いた文構造を理解し、文を組み立てる。	(4時限)
10月	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?	・外国語としての英語について書かれた文章を読んで、不定詞や分詞の副詞用法を学ぶ。 ・不定詞や分詞の副詞用法を用いて、語句や文に情報を付け加えながら文を組み立てる。	(4時限)
	Lesson 8 Is Japan open enough?	・日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、話法に関して理解する。 ・直接話法や間接話法を用いて適切な文を組み立てる。	(4時限)
12月	Activity 2 Negotiation	設定された異なる立場の主張を理解し、互いに交渉しながら会話を進める。	(1時間) (期末考査)

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	Lesson 10 How might AI affect our lives?	・AIと共存する方法について書かれた文章を読んで、数量を表す表現を理解する。 ・数量や割合を表す表現、またその変化を表す表現を使って文章を組み立てる。	(4時限)
	Lesson 11 What is a healthy life?	・健康やストレスについて書かれた文章を読んで、比較を表す表現を理解する。 ・原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。	(4時限)
2月	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	・商品の販売について書かれた文章を読んで、否定を表す表現を理解する。 ・部分否定や準否定など、否定を表す表現を用いて文を組み立てる。	(4時間)
	3月		(学年末考査)

<b>学習目標 使用教科書 ELEMENT II 副教材等</b>	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</li> <li>・英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</li> <li>・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</li> <li>・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	・定期考査・確認テスト・課題等の提出・スピーチやプレゼンテーションなどの発表・授業への取り組み姿勢を総合的に判断して評価する
<b>履修に 当たっての 留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習を必ず行うこと。</li> <li>・理解したうえで音読を行い、言語材料を取り込むこと</li> <li>・課題を期日までに仕上げ、提出すること</li> <li>・積極的に参加すること</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	Lesson 1 Numbers Don't Lie: Which is Eco-Friendly? (論説文)	*統計・環境 数字はうそをつかない どれが環境に優しいのか？	(6時限)
	Lesson 2 Environmental or Orangutans?	*環境・自然 自然保護がオランウータンを減少させる？	(6時限)
5月	Lesson 3 Sleepng	*健康・科学 睡眠	(6時限)
	Lesson 4 The Digital-Era Brain: Damaged or Improved?	*人間・科学 デジタル時代の脳：悪化しているか向上しているか？	(中間考査) (7時限)
6月	Lesson 5 Emji - The Language of the Online World	*多様性 絵文字～オンライン世界の言語～	(8時限) (第1回実力テスト)
	Lesson 6 A Class from Stanford University	*経済・エッセイ 5ドルと2時間で何ができるか？	(7時限)
7月		*新課程入試に備えて、ユメタン単語練習・長文読解問題集などを随時学習	(期末考査)

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	Lesson 7 Not All Eggs Are Created Equal	*自然の奇跡 全ての卵は等しく造られているわけではない	(7時限)
	Lesson 8 The Present and Future of Food Tech	*持続可能な発展 食物科学の現在と未来	(第2回実力テスト) (6時限)
10月	Lesson 9 Praying Hands	*人間愛・家族 デューラーの「祈りの手」秘話	(6時限) (中間考査)
	Lesson 10 All the Good Things	*人間愛・学校 人生を支えた学校時代の思い出	(8時限)
11月	Communication Explorer1～4	*リーディングスキルと発信活動に役立つスキルの解説と演習	(第3回実力テスト) (8時限)
12月	Communication Explorer5～8	*リーディングスキルと発信活動に役立つスキルの解説と演習	(期末考査) (5時限)

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	*入試に備えて、講座ごとに学習	
2月	家庭学習	家庭学習	
3月	家庭学習	家庭学習	

<b>学習目標</b>	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ア 与えられた条件に合わせて、伝えたい内容を整理して論理的に書く、又は話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。
<b>評価の観点</b>	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すこと。 イ 外国語表現の能力 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。 ウ 外国語理解の能力 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うこと。 エ 言語や文化についての知識・理解 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、背景にある文化を理解している。
<b>評価の方法</b>	・定期テスト、確認テスト、提出物、スピーチやプレゼンテーションなどの発表、授業に取り組む姿勢等を総合的に判断して評価する。
<b>履修に当たっての留意事項</b>	・予習をして授業に臨み、復習を通して基礎力を定着させる。課題には積極的な姿勢で取り組むこと。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	・議題「友情と改善」 ・複数パラグラフの作成(2パラグラフ) ・議題「紙の辞書か電子辞書か」 ・複数パラグラフの作成 (2パラグラフ) ・議題「性格を変えられるか？」 ・スピーチ	(3時限) (3時限) (3時限)
5月	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	・議題「意思決定」 ・スピーチ ・議題「オンライン診察」 ・プレゼンテーション ・議題「健康的な生活」 ・プレゼンテーション	(3時限) (3時限) (3時限) (中間考査)
6月	Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	・議題「健康的な生活」 ・ディベート ・議題「コミュニケーションのスタイル」 ・ディベート ・議題「ソーシャルメディアの是非」 ・ディスカッション ・議題「ソーシャルメディアの使用法」 ・ディスカッション	(3時限) (3時限) (3時限) (3時限)
7月		※4技能の入試問題演習、リスニング演習を随時学習	(期末考査)

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13	・議題「終身雇用と転職」 ・複数パラグラフの作成(3パラグラフ) ・議題「社会の多様性」 ・複数パラグラフの作成 (3パラグラフ) ・議題「電子決済」 ・スピーチ	(3時限) (3時限) (3時限)
10月	Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16	・議題「所得格差」 ・スピーチ ・議題「地球温暖化」 ・プレゼンテーション ・議題「プラスチックごみ」 ・プレゼンテーション	(3時限) (3時限) (3時限) (中間考査)
11月	Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19	・議題「機械翻訳の進歩」 ・ディベート ・議題「農業の未来」 ・ディベート ・議題「SDGs」 ・ディスカッション	(3時限) (3時限) (3時限)
12月	Lesson 20	・議題「世界の学校教育」 ・ディスカッション ※4技能の入試問題演習、リスニング演習を随時学習	(3時限) (期末考査)

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	選択講座	入試に備えて、講座ごとに学習	
2月	家庭学習	家庭学習	
3月	家庭学習	家庭学習	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義・評論文・エッセイなど、アカデミックな内容の英語を理解することができる。</li> <li>・多様なテーマの高度な英語に触れ、その内容を理解し批判的に捉えなおし、要旨をまとめることができる。</li> <li>・正確な理解の後、自分の意見や考えを発表し、他者の発表を聞き感想を述べることができる。</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な内容の英語を聞く、または英文を読み、必要な情報を得たり概要や要点をまとめることができるか。</li> <li>・正確な理解に基づいて、自分の意見や考えを発表し、他者の意見に英語で感想を述べることができるかどうか。</li> <li>・160w/m程度の速度で、1000語程度の長文読解ができるか。</li> </ul>
評価の方法	定期考査、課題レポート、授業に取り組む姿勢 他
履修に当たっての留意事項	意欲をもって取り組むこと。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	「絶滅種とDNA」(東京理科大) 「ジョギング」(兵庫医科大学)	地球環境 ・地球温暖化、資源不足、代替エネルギー開発、環境保護、野生生物保護への取り組み	
5月	「ああ、私のクッキーが」(佐賀大学) 「言語の変化」(神戸大学)	文化・人間 ・異文化コミュニケーション、個人主義文化と集団主義文化、民族・人種・宗教・性別等による差別問題	中間考査
6月	「視覚」(千葉大学) 「温暖化の証明」(関西大学)	自然・科学 ・動物行動学、動物と進化、動物と人間の比較、人の脳の進化・発達、科学技術の進歩と影響	
7月	「幸運な惑星」(大阪府立大学) 「検索エンジンと記憶」(学習院大学)	自然・科学 ・動物行動学、動物と進化、動物と人間の比較、人の脳の進化・発達、科学技術の進歩と影響	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	「科学界とチンパンジー社会」(九州大学) 「リパタリアン・パターナリズム」(北海道大学)	情報・科学技術 ・インターネットの利便性と危険性、コンピューターの発達による技術の進歩、スマートフォン・電子書籍などの発達と課題	
10月	「17世紀のSNS」(慶應義塾大学) 「米国の格差」(早稲田大学)	社会・経済 ・少子高齢化、弱まる人間関係、現代人としての生き方、世界と経済、企業の戦略	中間考査
11月	「COVID-19と行動変容」(大阪市立大学) 「AIと機械学習」(島根大学)	医療・健康 ・生活習慣病や間違ったダイエット等の体の健康、ストレスなどによる心の健康、再生医療等医療分野の先端技術	
12月	「写真のデジタル化」(京都大学) 「誤信のメカニズム」(東京大学)	倫理・哲学・歴史・地理 など	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	家庭学習	家庭学習	
2月	家庭学習	家庭学習	
3月	家庭学習	家庭学習	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション英語I、Ⅱで培った英語力をもとに、4技能を複合的に用いて総合的な力を一層伸ばす。</li> <li>・様々な角度からの題材を扱い、大学入試問題等も視野に入れながら、学際的な英語力を身につける。</li> <li>・英語力パラグラフ・ライティングの基礎的方法論を学ぶ。</li> </ul>
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルの高度な内容の英語を読み、概要を英語や日本語で簡潔に要約することができるか。</li> <li>・大学入試レベルの基礎的かつ発展的な文法・語法を理解し、運用できるか。</li> <li>・高度な英語の情報を正確に聞き取り、概要を英語や日本語で簡潔にまとめることができるか。</li> <li>・様々なトピックに対応してパラグラフを書き、または口頭で自分の意見や考えを正しい英語で論理的に表現できるか。</li> </ul>
評価の方法	課題レポート、パラグラフ・ライティング、サマリーライティング、演習問題、定期考査、授業に取り組む姿勢など
履修に当たっての留意事項	意欲をもって取り組むこと。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	ブレイン・ストーミング アウトライン作成 パラグラフの構成	文章を書く際に必要な基本的な知識を学ぶ。	
5月	パラグラフの展開方法	主題文、つなぎ語、時間軸、比較・対象、具体例、原因・理由・結果、意見など、基礎的なパラグラフ展開の方法を学ぶ。	中間考査
6月	複数パラグラフ展開 自由英作文	パラグラフを組み合わせ、論理的な文章展開をする基礎的な技術を学ぶ。  パラグラフライティングを用いて、与えられたテーマに関して、自分の意見などを表現する練習を行う。	
7月			期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	読解力の養成 センテンスリーディング リスニング	まとまった分量の英文を読み、内容を正確に把握する練習を行います。 会話、スピーチなどの音声聞き取る練習を行います。	
10月	パラグラフリーディング リスニング	論説文、エッセイなどを読み、内容を正確に把握する練習を行います。 会話、スピーチなどの音声聞き取る練習を行います。	中間考査
11月	文章の要約	英文を読み、日本語や英語で要約文を書く練習を行います。	
12月	自由英作文		期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	家庭学習	家庭学習	
2月	家庭学習	家庭学習	
3月	家庭学習	家庭学習	

<b>学習目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で文化的な生活を営むための基本的な知識と技術を身につける。</li> <li>生活をめぐる諸事象を科学的に捉えて、理解を深める態度を身につける。</li> <li>知識・技術を総合的に活用して問題解決できる能力を身につける。</li> <li>さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身につける。</li> </ul>
<b>評価の観点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的・基本的な知識と技術が身についているか。</li> <li>生活の中から問題から課題を設定し、解決策を構想しようとする態度が身についているか。</li> <li>諸事象を背景・原因・結果の関連として総合的に捉えることができ、問題解決のため方策を論理的に表現できるか。</li> <li>課題の解決に協働的、主体的に取り組むことができ、自分の家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしているか。</li> </ul>
<b>評価の方法</b>	定期考査、提出物（製作品・記述プリント・課題レポート・ワークプリント）、授業へ取り組む姿勢
<b>履修に当たっての留意事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活をめぐる諸事象に関心を持ち、疑問や改善意識を持って生活すること。</li> <li>日頃から生活に関わる報道や各種情報に関心を持ち、現状理解に努めること。</li> <li>生活的自立に向け、日常的に知識・技術の活用に努めること。</li> </ul>

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分・家族—多様化した社会に生きる—</li> <li>1社会の変化と家族</li> <li>2家族・人生・生き方と法律</li> <li>3持続可能な生活と仕事</li> <li>4多様な生き方を保証する社会へ</li> </ul>	オリエンテーション 社会と生き方の多様化 多様性の尊重と自立 家族モデルの変化 家族・人生・生き方に関する法律 だれもが自分らしく生きられる社会に 人間らしい働き方のために ライフコースの多様化と青年期 誰もが自分らしく生きられる社会に	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆衣生活 —選んで着る—</li> <li>1衣生活を見直す</li> <li>2衣服の機能と着装</li> <li>被服製作実習</li> </ul>	自分らしい衣生活 着方の工夫 衣服の機能 基礎縫い実習 ミシン基本操作習得 被服製作	被服製作実習
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>3衣服の材料と成り立ち</li> <li>4衣服の管理</li> </ul>	衣服に求められる性能 繊維 布の改善・加工と新しい素材 洗濯と洗剤 クリーニング 日常の手入れと保管	調理実習
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>5安心して衣服を着るために</li> <li>6いろいろな人が着る衣服</li> <li>7これからの衣服</li> </ul>	購入・取り扱い・着用中のトラブル 衣服表示 日常の手入れ ライフステージの変化と衣服 多様な衣服 衣服の寿命 持続可能な衣生活に向けて	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害に備える</li> <li>◆住生活 —人間らしく住む—</li> <li>1ライフスタイルと住まい</li> <li>2住環境の安全・安心</li> <li>3環境共生の今・昔</li> </ul>	自分の住む地域について確認する 災害に備える工夫 間取りと生活行為 ライフスタイルと住まい・住まい方 多様な「家族のかたち」と住まい さまざまな住まい方・共同の暮らし 健康と住まい 安全・安心の空間づくり 安全・安心のための取り組み 伝統的な住まい・まちの工夫 環境に配慮した現代の住まい・まち	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食生活 —楽しく安全に食べる—</li> <li>1食べることを通して</li> <li>2栄養と食品</li> <li>3栄養素のはたらきと食品の栄養</li> </ul>	食事の役割 和食文化 食生活の乱れが引き起こすリスク 食事摂取基準 食品群別摂取量のめやす 食事バランスガイド 炭水化物 脂質 たんぱく質 ミネラルとビタミン 各栄養素を多く含む食品	調理実習
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>4食品の選択</li> <li>5食品の取り扱い</li> <li>6食品の安全性</li> <li>7豊かな食生活の背景には</li> </ul>	食品表示 加工食品 食品添加物 新たな技術による食品 健康食品 食品の保存方法 食中毒の予防 食品の安全性をとりまく状況 食品添加物・農薬 食品を守るしくみ 日本の食料自給率 環境保全と食品	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>8食事をつくる</li> </ul>	献立の工夫 調理の基本	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子ども —子どもと生きる—</li> <li>1子どもの心とからだの発達</li> <li>2子どもの生活 3子どもと遊び</li> <li>4子どもの育つ環境と社会</li> <li>5子どもの権利と福祉</li> </ul>	子どもの発達を支えるもの 愛着関係の成立と発達 乳幼児期のからだと心 生活リズムの形成 子どもの生活習慣・食事・衣服・健康と安全・遊び環境 さまざまな子育て支援 日本の子育てが抱える課題 子ども観の変化と子どもの権利 子どもがすこやかに生まれ育つために	調理実習
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者・社会福祉—支えあい共に生きる—</li> <li>1 高齢社会の現状と課題</li> <li>2生活を支える社会保障制度</li> <li>◆消費・環境 —消費社会を生きる—</li> <li>1お金の管理とライフデザイン</li> </ul>	高齢者の尊厳と介護者支援 高齢者の心身の特徴と自立生活の支援 高齢者の安定を支える公的制度 地域社会で高齢者を支える 家計の管理 リスク・マネジメント 消費行動のグローバル化	課題レポート
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2意思決定と契約 購入方法の多様化</li> <li>3消費者問題・保護 消費者市民社会</li> <li>4持続可能な社会をめざして</li> </ul>	販売方法・支払方法の多様化 多重債務と自己破産 消費者被害の構造 問題となる商法 被害救済のための支援制度 日本の取り組み 企業の取り組み 自治体の取り組み	学年末考査

<b>学習目標</b>	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
<b>評価の観点</b>	「知識・技能」の評価…知識の習得や知識の概念的な理解、情報機器の操作の基本的な技術の習得ができているか。 「思考・判断・表現」の評価…習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 「主体的に学習に取り組む態度」…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。
<b>評価の方法</b>	考査、提出物、授業態度等
<b>履修に当たっての留意事項</b>	学習目標の具体化 ・座学により知識を習得し、実習を通じて「知識・技能の再確認」を行います。その積み重ねにより実感の伴った深い理解を積み重ねていきます。 ・互いの方法を比較・検討することにより、物の見方や考え方の幅を広げ、適切な判断ができるようになります。教え合い学び合う精神で臨んでください。 共通テストに「情報」導入 ・川越高校の生徒にとって、「情報」が入試科目になることはチャンスです。日頃、川越高校の生徒は問題の発見・解決のために物事を情報と結びつけ、情報技術を効果的に活用し、生徒研究発表会等で成果を発揮しています。意欲的に学習し、「情報」を受験における武器にしてください。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア	・何気なく使っている言葉である「情報」とは何かを理解する。 ・様々なメディアの特徴や、情報の適切な表現形式について理解する。 ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得する。 ・問題解決の目的や状況に応じて、適切な方法を選択することの重要性を考える。 ・問題解決の過程と結果について評価し、改善することの意義や重要性を理解する。	
5月	第2章 情報社会における法とセキュリティ	・情報社会でよりよく生きるために、情報モラルにもとづいた行動や、定められている法規・制度について理解する。 ・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解する。 ・著作権などの知的財産権の保護の必要性を理解させるとともに、そのために必要な法規及び個人の責任について理解する。 ・情報社会の問題点を踏まえ、情報セキュリティの重要性を認識させるとともに、ユーザ認証やアクセス制御などの技術について学び、セキュリティ対策の方法を理解する。	
6月	第3章 情報技術が社会に及ぼす影響	・人工知能やデジタルトランスフォーメーションなど、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解する。 ・情報格差、インターネット依存症、インターネット上のトラブルなどを学び、情報技術の適切な活用について理解する。 ・情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとデジタル情報の特徴を理解する。	
7月	第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第1章 情報のデジタル表現	・情報のデジタル化の基礎的な知識と技術として、ビットの概念、2進法による表現、文字、音、画像、動画のデジタル化の原理と表現方法を理解する。 ・デジタル情報のデータ圧縮の原理と具体例について理解する。	期末考査

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴	・コミュニケーション手段の発展について、古代からの技術的な進歩を概観し理解する。 ・コンピュータを使った通信の歴史も概観する。 ・情報伝達のメディアの性質を知り、情報をわかりやすく表現し効率的に伝達するために、適切な情報機器やメディアを選択し利用する方法を習得する。	
10月	第3章 情報デザイン 第4章 プレゼンテーション	・情報デザインについて、情報を抽象化・構造化・可視化する方法を習得し、情報を伝える目的や受け手の状況をふまえた適切な表現方法を選択できるようにする。 ・ユーザビリティやアクセシビリティ、ユニバーサルデザイン等について、身近な具体例を挙げながら理解する。 ・コミュニケーション手段の1つとして用いられているプレゼンテーションについて、その基本、重要性、手法を理解する。 ・プレゼンテーションの注意点、プレゼンテーションソフトの上手な使い方も身につける。	
11月	第3編 コンピュータとプログラミング 第1章 コンピュータのしくみ 第2章 プログラミング	・コンピュータの基本的な構成を理解する。 ・OSやアプリケーションプログラムのちがいなど、ソフトウェアの基本的な内容を理解する。 ・コンピュータの内部における数の表現方法について理解する。 ・問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を習得する。 ・プログラミング言語の実行のしくみについて理解する。 ・簡単なプログラムの作成を通してアルゴリズムやプログラミングの基本を理解する。 ・コンピュータによる処理手順の自動実行の有用性を理解する。	
12月	第3章 モデル化とシミュレーション	・モデル化とシミュレーションの考え方や方法を理解させ、実際の問題解決に活用できるようにする。 ・モデルのちがいによってシミュレーションの結果や精度が異なる場合があることを理解する。	期末考査

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	第4編 情報通信ネットワークとデータの活用 第1章 ネットワークのしくみ	・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルについて理解する。 ・通信の信頼性を確保するための方法について理解する。 ・IPアドレス、ドメイン名、URLとDNSによるインターネットでのウェブ閲覧、電子メール、情報の暗号化の原理やしくみを理解する。	
2月	第2章 データベース 第3章 データの分析	・データベースの概念を理解させ、データベース管理システムの機能やデータの損失を防ぐしくみについて理解する。 ・データベースが活用されている情報システムについて、その種類や特徴を理解させるとともに、それらが社会生活に果たす役割と影響を理解する。 ・データを分析する前に必要となる、データの形式に関する知識やデータの収集方法、データの種類について理解する。 ・数学的なデータ分析の基礎を理解し、表計算ソフトウェアなどを使って簡単な数学的データ処理や分析を行う。	
3月			学年末考査

<b>学習目標</b>	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会の発展に主体的に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 多様なコミュニケーションの特性、情報システム、データサイエンス、コンテンツの制作と発信などについて理解を深めるとともに、目的に応じて情報技術を活用する技能を習得するようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて、情報の収集・整理・分析・表現、モデル化、設計、実装、評価及び改善を行う力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、法規・情報モラル・情報セキュリティに配慮しながら、他者と協働してよりよい情報社会の実現に参画しようとする態度を養う。
<b>評価の観点</b>	「知識・技能」の評価…情報Ⅱで扱う内容（情報社会の進展、コミュニケーションとコンテンツ、データサイエンス、情報システムとプログラミング等）について理解し、目的に応じて情報機器やソフトウェアを活用する技能を身につけているか。 「思考・判断・表現」の評価…習得した「知識・技能」を活用して課題を分析し、適切な方法を選択して問題解決を進め、結果を評価・改善し、根拠をもって表現できるか。 「主体的に学習に取り組む態度」の評価…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組む、自ら学習を調整しようとしているか。また、協働的な学習において適切に役割を果たしているか。
<b>評価の方法</b>	考查、実習課題、レポート、発表、提出物、授業態度等
<b>履修に当たっての留意事項</b>	学習目標の具体化 「情報Ⅱ」は、情報Ⅰの内容を土台として、より発展的に学ぶ科目です。座学で知識を習得し、実習・制作・分析・発表を通じて「知識・技能の再確認」と「活用」を行います。 データ分析やプログラミングでは、結果だけでなく、目的設定・方法の選択・検証・改善の過程を重視します。試行錯誤を大切にしてください。 グループ活動では、互いの方法を比較・検討することにより、物の見方や考え方の幅を広げ、より適切な判断ができるようになります。教え合い学び合う姿勢で臨んでください。 3年理系選択科目として ・大学進学後の学習や研究活動を見据え、データの扱い方、論理的な説明、レポート作成、発表の質を高めることを目標にします。 ・数学・理科・探究活動とも関連が深い内容を扱います。既習内容を積極的に結び付けて学習してください。

【1学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
4月	情報Ⅱ ガイダンス／ 情報社会の進展と情報技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報Ⅱ」の学習内容、評価方法、学習の進め方を理解する。</li> <li>情報Ⅰで学んだ内容（情報モラル、データ活用、アルゴリズム等）を確認し、情報Ⅱでの発展的な学習とのつながりを理解する。</li> <li>AI、IoT、クラウド、データ活用等の発展する情報技術と、それらが社会・産業・生活に与える影響を理解する。</li> <li>情報技術の活用に伴う利便性と課題（倫理・セキュリティ・公平性等）を多面的に捉える。</li> </ul>	
5月	コミュニケーションとコンテンツ (情報デザイン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字、画像、音声、動画等のメディアの特性を理解し、目的や受け手に応じた表現方法を選択できるようにする。</li> <li>情報を分かりやすく伝えるための情報デザイン（構造化、視覚化、表現の工夫）を理解する。</li> <li>ユーザビリティ、アクセシビリティ、ユニバーサルデザインの観点を取り入れたコンテンツ設計の考え方を身につける。</li> <li>伝達目的に応じたコンテンツ（スライド、ポスター、短い動画等）の企画・制作の基本を理解する。</li> </ul>	
6月	情報とデータサイエンス（基礎）	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの種類、尺度、収集方法、標本と母集団など、分析前に必要となる基礎的事項を理解する。</li> <li>表計算ソフトウェア等を用いて、データの整理、整形、集計を行う方法を習得する。</li> <li>適切なグラフを選択し、データを可視化して特徴を読み取る方法を理解する。</li> <li>平均値、中央値、分散などの基礎的な統計量の意味を理解し、データの傾向を説明できるようにする。</li> </ul>	
7月	情報とデータサイエンス（活用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの比較、相関の見方、予測の考え方など、データ分析の基礎的な手法を理解する。</li> <li>分析結果を鵜呑みにせず、データの偏りや限界、分析方法の妥当性を考える。</li> <li>目的に応じた分析結果のまとめ方（表現・報告）を理解し、簡単なレポートにまとめることができるようにする。</li> </ul>	期末考查

【2学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
9月	情報システムとプログラミング (情報システムの理解)	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な情報システム（予約、決済、学習支援、流通等）の構成要素と役割を理解する。</li> <li>情報システムにおけるデータの流れ、処理、保存、通信の仕組みを把握する。</li> <li>情報システムの利便性と、セキュリティ・信頼性・障害対応の重要性を理解する。</li> <li>課題解決の目的に応じて、必要な機能や処理を整理する基本的な考え方を身につける。</li> </ul>	
10月	情報システムとプログラミング (設計・実装)	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を分解し、入力・処理・出力の流れとして捉える方法を理解する。</li> <li>フローチャートや処理手順の記述を用いて、アルゴリズムを表現する方法を習得する。</li> <li>変数、条件分岐、繰り返し、関数等を用いたプログラムの基本を理解し、簡単なプログラムを作成できるようにする。</li> <li>読みやすさ、再利用性、保守性を意識したプログラム作成の姿勢を身につける。</li> </ul>	
11月	情報システムとプログラミング (検証・改善) / 探究準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト、デバッグ、例外への対応など、プログラムやシステムを改善する方法を理解する。</li> <li>目的に対して結果が適切かどうかを評価し、改善案を考えることができるようにする。</li> <li>情報Ⅱで学んだ内容を活用して、探究課題のテーマ設定（データ分析、システム試作、コンテンツ制作等）を行う。</li> <li>テーマの目的、方法、必要なデータ・資料、進め方を整理し、計画を立てる。</li> </ul>	
12月	情報と情報技術を活用した問題発見・ 解決の探究（中間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定した課題に対して、情報の収集、分析、設計、制作・実装を進める。</li> <li>進捗を記録し、途中段階の成果や課題を整理する。</li> <li>中間発表を通して他者の意見を取り入れ、方法や成果物を改善する。</li> <li>法規・情報モラル・セキュリティに配慮して探究活動を進める。</li> </ul>	期末考查

【3学期 指導計画】

	学習単元	学習内容・到達目標	備考
1月	情報と情報技術を活用した問題発見・ 解決の探究（実践・まとめ・発表）	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究課題に基づき、データ分析・プログラミング・コンテンツ制作等を行い、成果物を完成させる。</li> <li>結果を検証・改善し、手法の選択理由や結果の妥当性を説明できるようにする。</li> <li>探究の過程（目的・方法・結果・考察・改善）を整理し、レポート・発表資料にまとめる。</li> <li>論理的に発表し、相互評価を通して学びを深める。</li> </ul>	学年末考查
2月	家庭学習		
3月	家庭学習		